

3. 就学児童調査

(1) 子どもの生年月・兄弟姉妹の数

子どもの生年月から、生まれ年を年度で集計すると、平成13年度（1年生）約18%、平成12年度（2年生）約19%、平成11年度（3年生）約16%、平成10年度（4年生）約14%、平成9年度（5年生）約16%、平成8年度（6年生）約15%となっています。なお、これら以外の平成7年度、平成14～15年度については、回答ミスと考えられます。

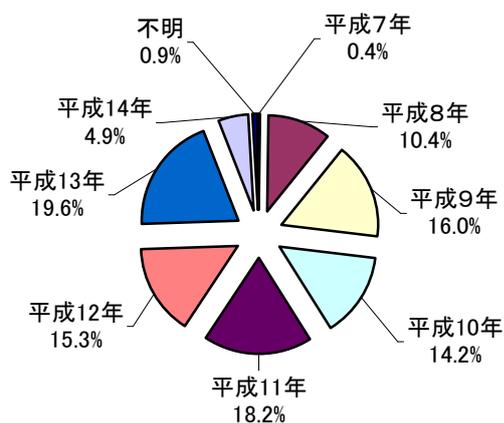
兄弟姉妹の数については、2人が約54%、3人が約23%、1人が約17%などとなっています。

調査対象となった就学児童については、第1子が約57%、第2子が約30%で第5子という人もみられます。

問1 お子さんの生まれ年

	人数	割合(%)
平成7年	2	0.4
平成8年	47	10.4
平成9年	72	16.0
平成10年	64	14.2
平成11年	82	18.2
平成12年	69	15.3
平成13年	88	19.6
平成14年	22	4.9
不明	4	0.9
合計	450	100.0

お子さんの生まれ年(総数450)

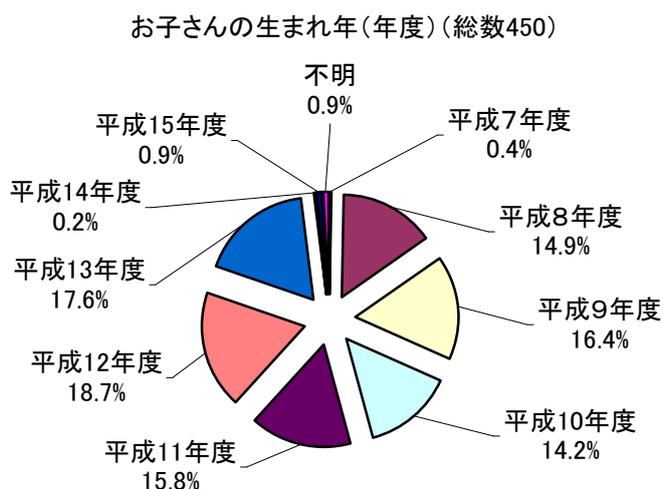


問1-② お子さんの生まれ月

人数	割合(%)	人数	割合(%)		
1月	38	8.4	8月	35	7.8
2月	46	10.2	9月	36	8.0
3月	36	8.0	10月	45	10.0
4月	37	8.2	11月	38	8.4
5月	33	7.3	12月	32	7.1
6月	35	7.8	不明	4	0.9
7月	35	7.8	合計	450	100.0

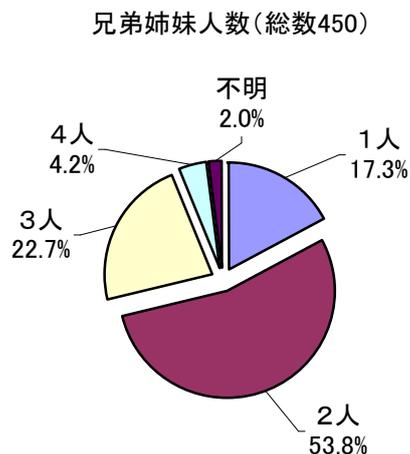
問1-③ お子さんの生まれ年(年度)

	人数	割合(%)
平成7年度	2	0.4
平成8年度	67	14.9
平成9年度	74	16.4
平成10年度	64	14.2
平成11年度	71	15.8
平成12年度	84	18.7
平成13年度	79	17.6
平成14年度	1	0.2
平成15年度	4	0.9
不明	4	0.9
合計	450	100.0



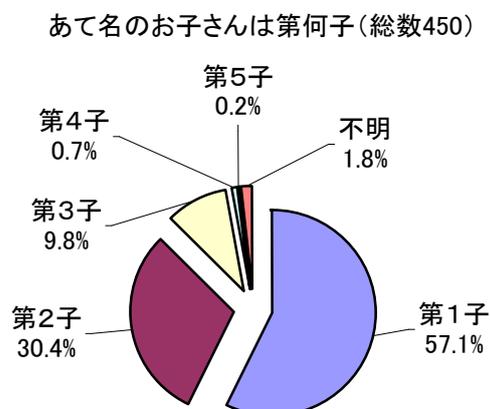
問1-④ 兄弟姉妹人数

	人数	割合(%)
1人	78	17.3
2人	242	53.8
3人	102	22.7
4人	19	4.2
不明	9	2.0
合計	450	100.0



問1-⑤ あて名のお子さんは第何子

	人数	割合(%)
第1子	257	57.1
第2子	137	30.4
第3子	44	9.8
第4子	3	0.7
第5子	1	0.2
不明	8	1.8
合計	450	100.0



(2) 子どもとの同居・近居の状況

子どもとの同居・近居の状況については、父母との同居が約87%を占めています。このほか、父子世帯が約2%、母子世帯が約8%で、就学前児童と比べて若干ひとり親世帯の比率が高くなっています。祖父や祖母との同居はそれぞれ約13%、約18%、祖父や祖母との近居はそれぞれ約36%、約38%で、就学前児童と同様、祖父母が身近な存在であることがわかります。

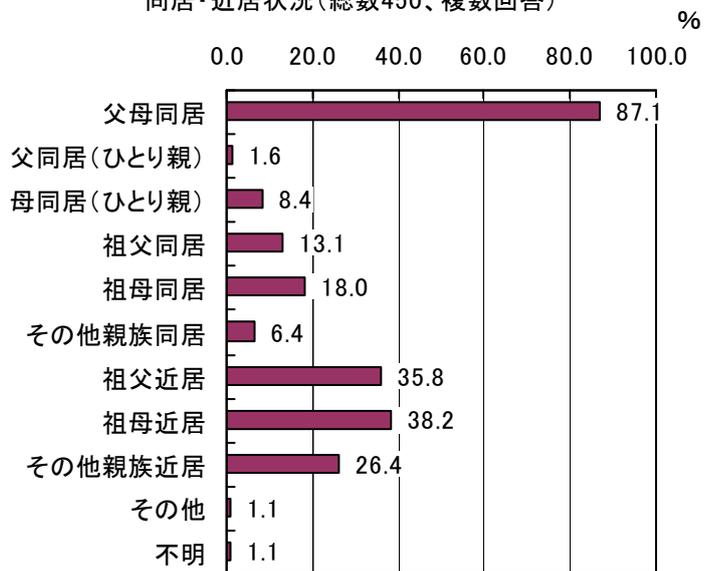
家族の人数は、4人家族が最も多く、約48%を占めています。

なお、アンケートの回答者は母親が約88%で最も多く、父親は約11%となっています。

問2-1 同居・近居状況(複数回答)

	人数	割合(%)
父母同居	392	87.1
父同居(ひとり親)	7	1.6
母同居(ひとり親)	38	8.4
祖父同居	59	13.1
祖母同居	81	18.0
その他親族同居	29	6.4
祖父近居	161	35.8
祖母近居	172	38.2
その他親族近居	119	26.4
その他	5	1.1
不明	5	1.1
合計	450	100.0

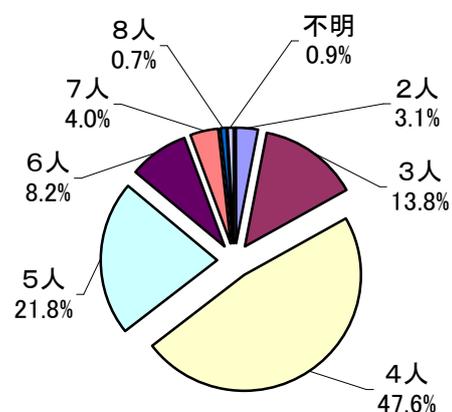
同居・近居状況(総数450、複数回答)



問2-1-② 同居家族全員の人数

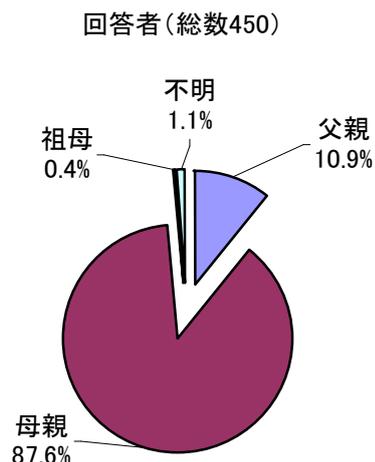
	人数	割合(%)
2人	14	3.1
3人	62	13.8
4人	214	47.6
5人	98	21.8
6人	37	8.2
7人	18	4.0
8人	3	0.7
不明	4	0.9
合計	450	100.0

同居家族全員の人数(総数450)



問2-2 回答者(単回答)

	人数	割合(%)
父親	49	10.9
母親	394	87.6
兄弟姉妹	0	0.0
祖父	0	0.0
祖母	2	0.4
その他	0	0.0
不明	5	1.1
合計	450	100.0



(3) 子どもを主に世話する人・手伝ってもらう人とその困難度

子どもを主に世話している人は、母親が約96%となっています。その他は祖父母が2%、父親が約1%となっています。

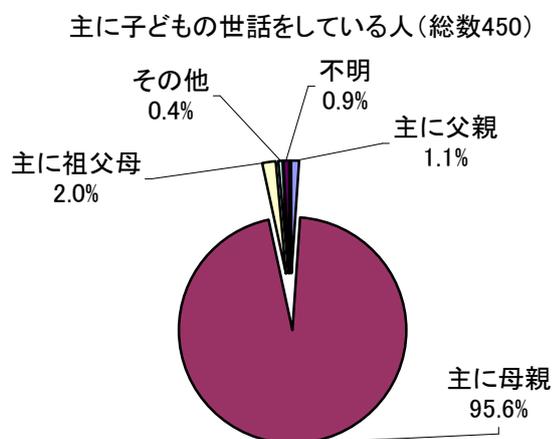
子育てを手伝ってくれる人については、緊急時等に祖父母に預かってもらえる人が60%弱で多くっており、日常的に祖父母に預かってもらえる人約28%とあわせると、約87%が祖父母等に世話になっています。このほか、緊急時に友人・知人に預かってもらえる人が約33%で、就学前児童と比較すると、友人・知人に預かってもらいやすくなっているといえます。

祖父母に預かってもらうことの困難度は、特に問題がない人が67%で多くっており、やはり就学前児童よりも預けやすい状況にあります。

友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題がない人は約57%で、半数を超えており、心苦しく感じる人は約36%で、やはり就学前児童よりも預けやすい状況となっています。

問3-1 主に子どもの世話をしている人(単回答)

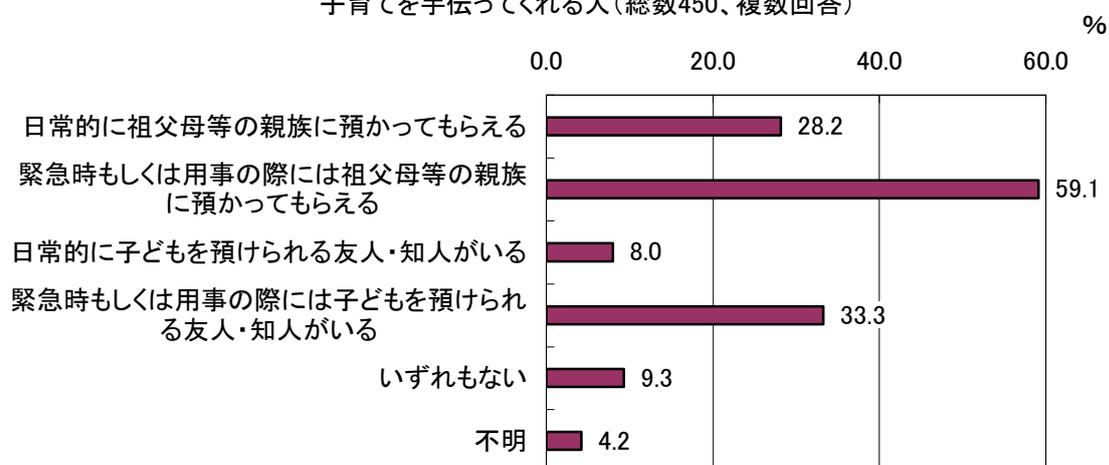
	人数	割合(%)
主に父親	5	1.1
主に母親	430	95.6
主に祖父母	9	2.0
その他	2	0.4
不明	4	0.9
合計	450	100.0



問3-2 子育てを手伝ってくれる人(複数回答)

	人数	割合(%)
日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる	127	28.2
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる	266	59.1
日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	36	8.0
緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる	150	33.3
いずれもない	42	9.3
不明	19	4.2
合計	450	100.0

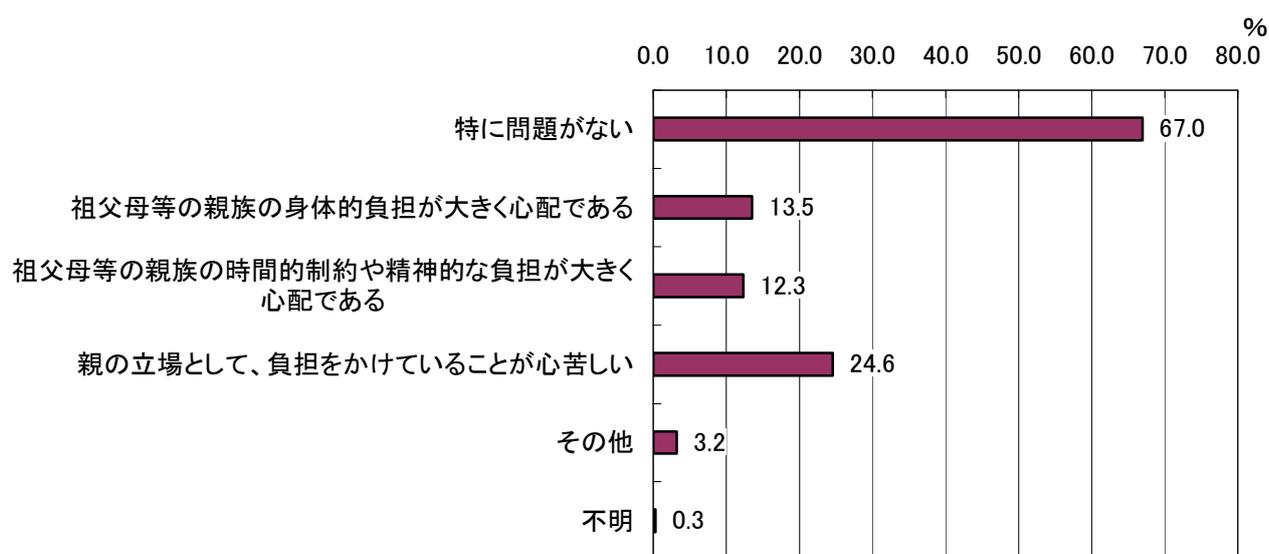
子育てを手伝ってくれる人(総数450、複数回答)



問3-3-① 祖父母等の親族に預かってもらえる場合の状況(複数回答)

	人数	割合(%)
特に問題がない	234	67.0
祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	47	13.5
祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	43	12.3
親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	86	24.6
その他	11	3.2
不明	1	0.3
合計	349	100.0

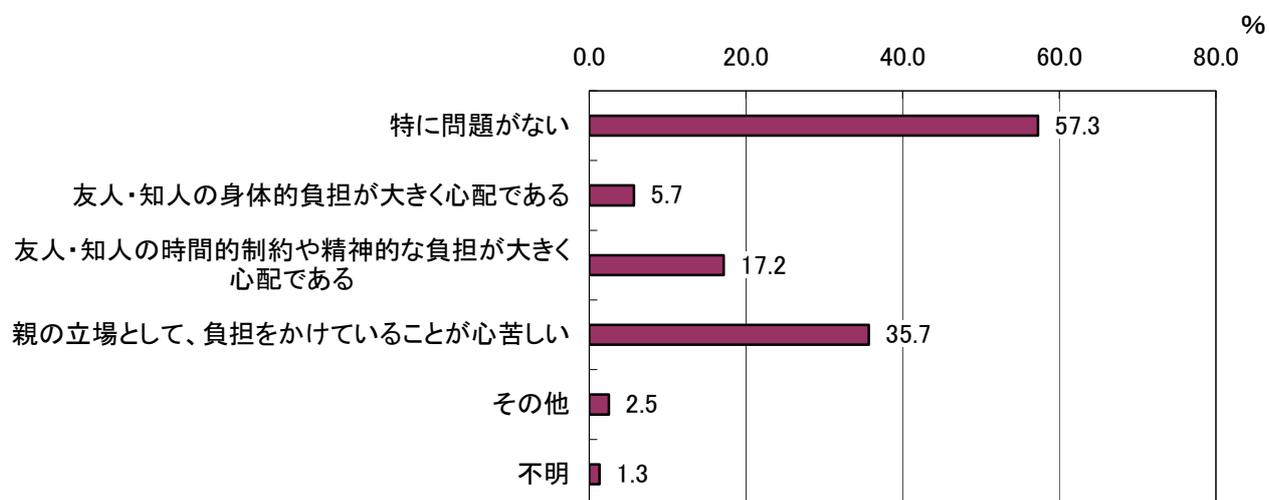
祖父母等の親族に預かってもらえる場合の状況(総数349、複数回答)



問3-3-② 友人・知人等に預かってもらえる場合の状況(複数回答)

	人数	割合 (%)
特に問題がない	90	57.3
友人・知人の身体的負担が大きく心配である	9	5.7
友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	27	17.2
親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	56	35.7
その他	4	2.5
不明	2	1.3
合計	157	100.0

友人・知人等に預かってもらえる場合の状況(総数157、複数回答)

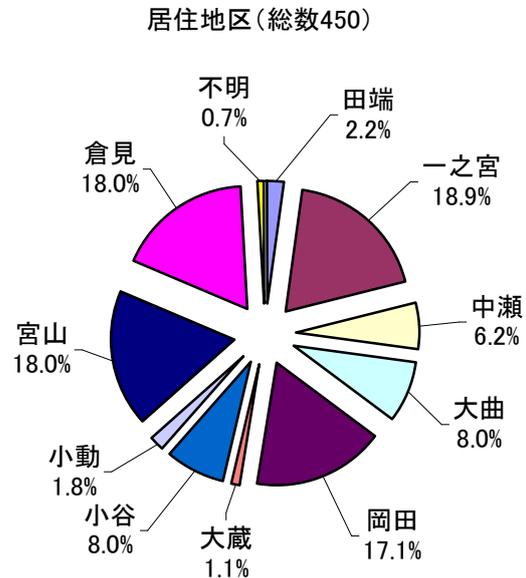


(4) 居住地域

居住地域については、一之宮地区、宮山地区、倉見地区、岡田地区などで比較的多くなっています。

問4 居住地域(単回答)

	人数	割合(%)
田端	10	2.2
一之宮	85	18.9
中瀬	28	6.2
大曲	36	8.0
岡田	77	17.1
大蔵	5	1.1
小谷	36	8.0
小動	8	1.8
宮山	81	18.0
倉見	81	18.0
不明	3	0.7
合計	450	100.0



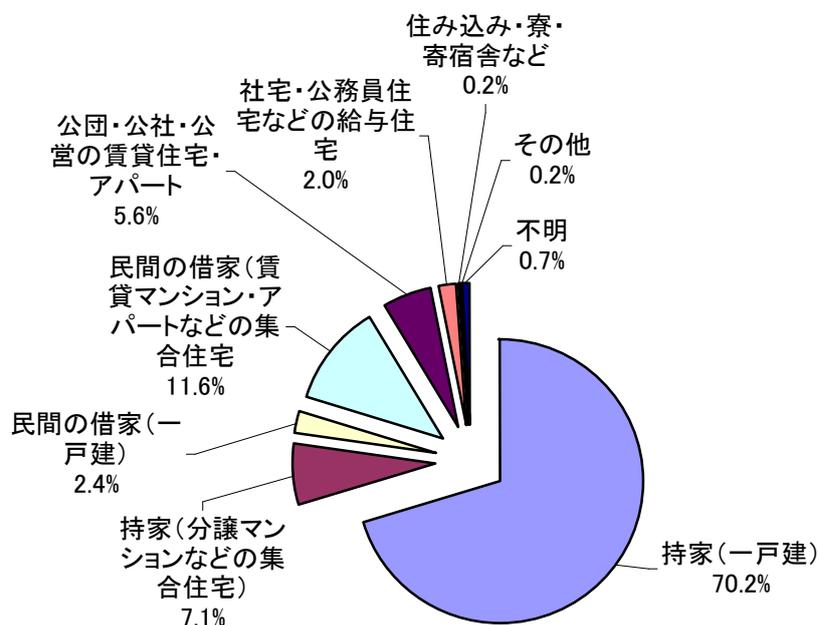
(5) 住まいの状況

住まいの状況については、一戸建の持ち家が約70%と多くなっています。このほかでは民間の賃貸マンションやアパートなどの集合住宅が約12%となっています。

問5 住まいの状況(単回答)

	人数	割合(%)
持家(一戸建)	316	70.2
持家(分譲マンションなどの集合住宅)	32	7.1
民間の借家(一戸建)	11	2.4
民間の借家(賃貸マンション・アパートなどの集合住宅)	52	11.6
公団・公社・公営の賃貸住宅・アパート	25	5.6
社宅・公務員住宅などの給与住宅	9	2.0
住み込み・寮・寄宿舎など	1	0.2
その他	1	0.2
不明	3	0.7
合計	450	100.0

住まいの状況(総数450)



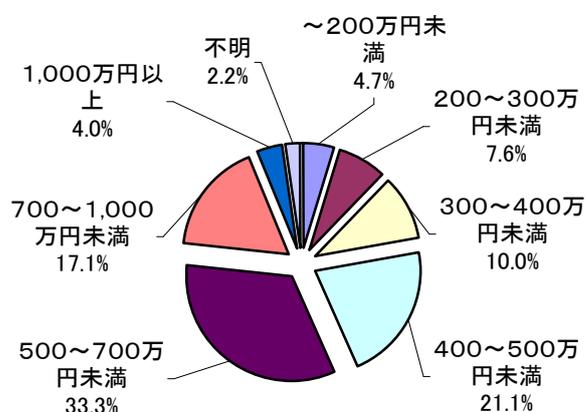
(6) 世帯の年収

世帯全体の年収については、500～700万円が約33%で最も多く、400～500万円、700～1,000万円、300～400万円などが10%台で続いています。

問6 世帯の年収(単回答)

	人数	割合 (%)
～200万円未満	21	4.7
200～300万円未満	34	7.6
300～400万円未満	45	10.0
400～500万円未満	95	21.1
500～700万円未満	150	33.3
700～1,000万円未満	77	17.1
1,000万円以上	18	4.0
不明	10	2.2
合計	450	100.0

世帯の年収(総数450)



(7)－① 父親の就労状況

常勤が約79%で、自営業などが約8%となっています。常勤率は就学前児童よりも低くなっています。

常勤の1週当たりの就労時間は、40～49時間が約30%で最も多くなっており、50～59時間や60～69時間なども比較的多くなっています。

常勤の帰宅時間は20時を中心に、18時～22時の間の帰宅が多くなっています。

パートタイム等の勤務については2例にとどまり、週3日と7日で、1日10時間、帰宅時間は16時と23時の例がみられます。なお、パートタイム等の人のフルタイムへの転換希望については、希望がありません。

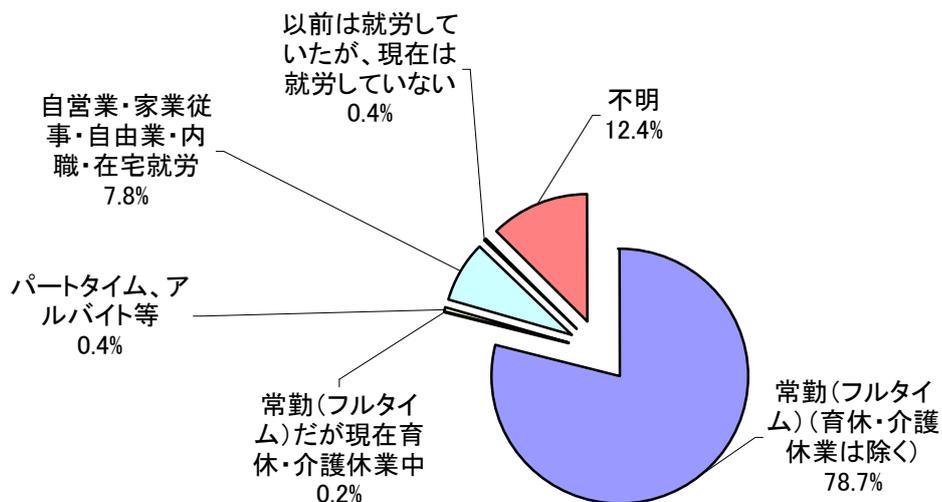
自営業等の場合の就労については、週6日が一般的で5日や7日もみられ、1日8時間やそれ以上が多くなっています。

なお、現在未就労の人の2例については、以前はフルタイムであったことがわかります。

問7－(1) 父親の就労の状況(単回答)

	人数	割合(%)
常勤(フルタイム)(育休・介護休業は除く)	354	78.7
常勤(フルタイム)だが現在育休・介護休業中	1	0.2
パートタイム、アルバイト等	2	0.4
自営業・家業従事・自由業・内職・在宅就労	35	7.8
以前は就労していたが、現在は就労していない	2	0.4
これまでに就労したことがない	0	0.0
不明	56	12.4
合計	450	100.0

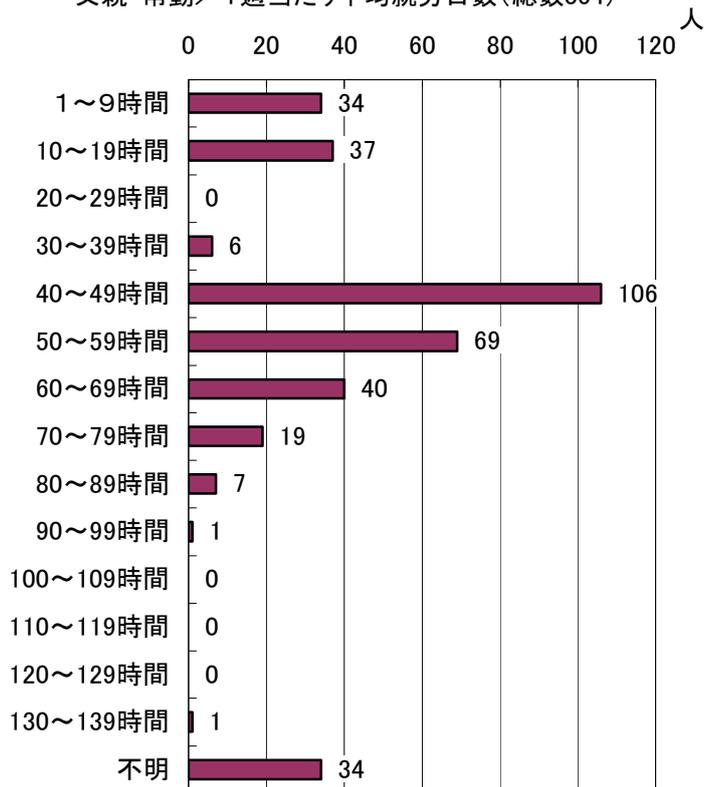
父親の就労の状況(総数450)



問7-(1)-② 父親・常勤／1週当たり平均就労時間

	人数	割合(%)
1～9時間	34	9.6
10～19時間	37	10.5
20～29時間	0	0.0
30～39時間	6	1.7
40～49時間	106	29.9
50～59時間	69	19.5
60～69時間	40	11.3
70～79時間	19	5.4
80～89時間	7	2.0
90～99時間	1	0.3
100～109時間	0	0.0
110～119時間	0	0.0
120～129時間	0	0.0
130～139時間	1	0.3
不明	34	9.6
合計	354	100.0

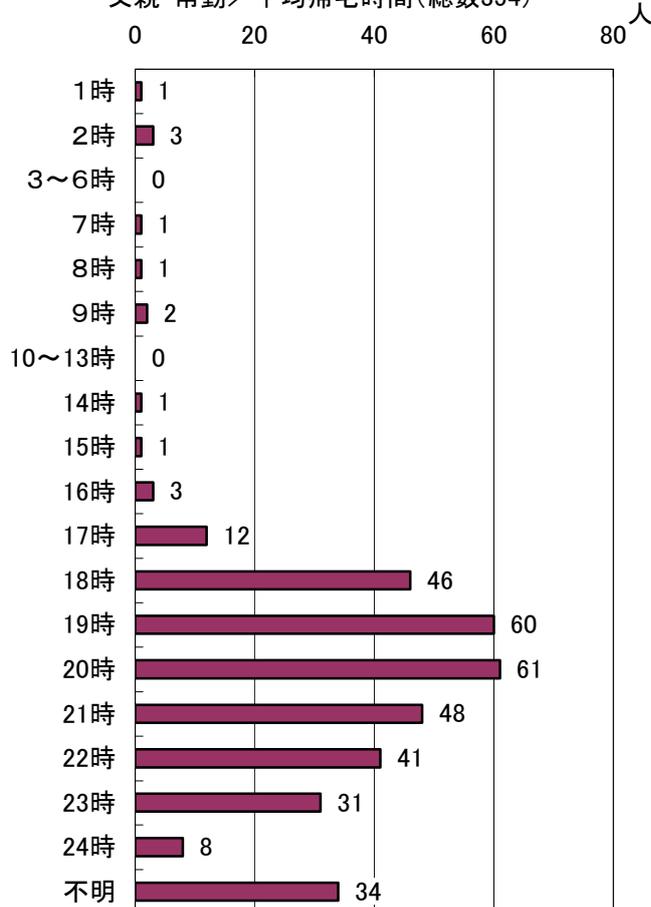
父親・常勤／1週当たり平均就労日数(総数354)



問7-(1)-③ 父親・常勤／平均帰宅時間

	人数	割合(%)
1時	1	0.3
2時	3	0.8
3～6時	0	0.0
7時	1	0.3
8時	1	0.3
9時	2	0.6
10～13時	0	0.0
14時	1	0.3
15時	1	0.3
16時	3	0.8
17時	12	3.4
18時	46	13.0
19時	60	16.9
20時	61	17.2
21時	48	13.6
22時	41	11.6
23時	31	8.8
24時	8	2.3
不明	34	9.6
合計	354	100.0

父親・常勤／平均帰宅時間(総数354)



問7-(1)-④ 父親・パート等／1週当たり
就労日数

	人数	割合(%)
3日	1	50.0
7日	1	50.0
合計	2	100.0

問7-(1)-⑤ 父親・パート等／1日当たり
就労時間

	人数	割合(%)
10時間	1	50.0
不明	1	50.0
合計	2	100.0

問7-(1)-⑥ 父親・パート等／平均帰宅時
間

	人数	割合(%)
16時	1	50.0
23時	1	50.0
合計	2	100.0

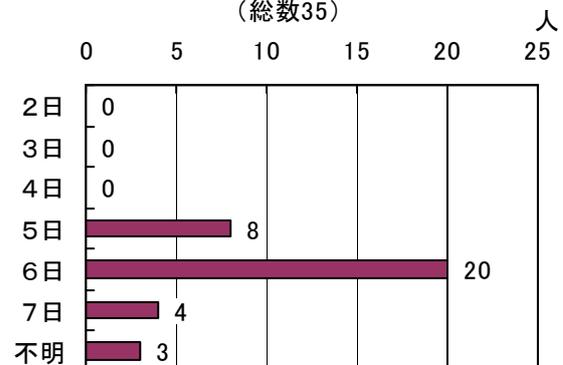
問7-(1)-⑦ 父親・パート等／フルタイムへの転
換希望(単回答)

	人数	割合(%)
希望がある	0	0.0
希望があるが予定はない	0	0.0
希望はない	2	100.0
不明	0	0.0
合計	2	100.0

問7-(1)-⑧ 父親・自営業等／1週当
たり就労日数

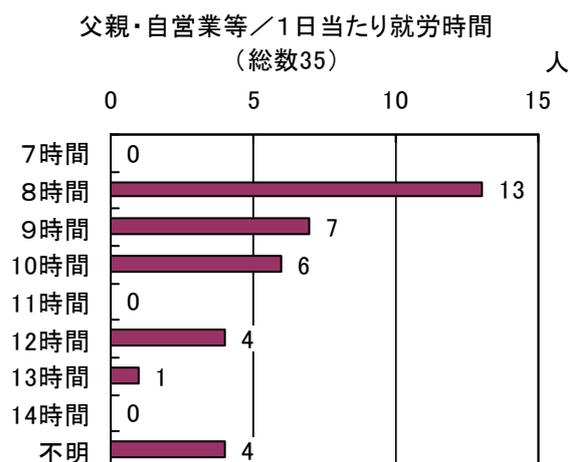
	人数	割合(%)
2日	0	0.0
3日	0	0.0
4日	0	0.0
5日	8	22.9
6日	20	57.1
7日	4	11.4
不明	3	8.6
合計	35	100.0

父親・自営業等／1週当たり就労日数
(総数35)



問7-(1)-⑨ 父親・自営業等／1日当たり就労時間

	人数	割合(%)
7時間	0	0.0
8時間	13	37.1
9時間	7	20.0
10時間	6	17.1
11時間	0	0.0
12時間	4	11.4
13時間	1	2.9
14時間	0	0.0
不明	4	11.4
合計	35	100.0



問7-(1)-⑩ 父親・現在未就労／以前の働き方

	人数	割合(%)
フルタイムによる就労	2	100.0
パートタイム・アルバイト等による就労	0	0.0
合計	2	100.0

(7)-② 母親の就労状況

パートタイム等が約37%を占めて最も多くなっています。このほか、以前就労していたが、現在は就労していない人が約29%で、常勤は約13%となります。就学前児童と比較して、母親の就労が進んでいることがわかります。

常勤の1週当たりの就労時間は父親と同じく40～49時間が最も多く、約49%を占めています。このほか、1～9時間という人も多くなっています。

常勤の帰宅時間は18時の約42%が最も多く、19時も約30%と多くなっています。

パートタイム等の勤務については、週5日が約37%で最も多く、4日約30%、3日約17%などが続き、1日4時間が多く、帰宅時間は17時～18時が多くなっています。

パートタイム等の人のフルタイムへの転換希望については、希望はない人が最も多く、希望はあるが予定がない人が続き、希望のある人は約10%にとどまります。

自営業の場合の就労については、週5日が最も多く、1日2～3時間が多くなっています。

現在未就労の人については、以前はフルタイムであった人が約48%、パートタイム等が約42%を占め、今後の就労希望については、(1年以上先で)子どもが大きくなったら働きたい人が約41%と多く、すぐにでも働きたい人も約32%と多くなっています。

就労希望のある人の働き方については、パートタイム等が約92%を占め、フルタイムは約7%程度にとどまります。

パートタイム等を希望する人の週当たりの就労日数は、3～4日が多くになっており、1日5時間程度の希望が多くなっています。

就労する希望がありながら、現在働いていない理由については、働きながら子育てできる適当な仕事がないからというものが約53%で最も多くなっています。

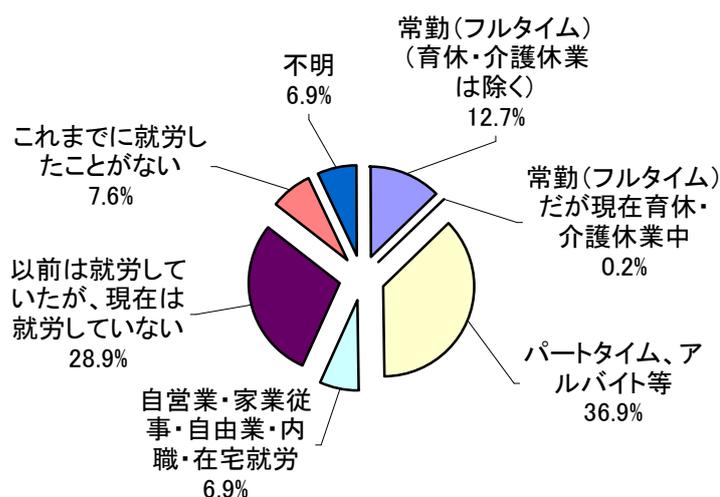
働きに出たい子どもの年齢は、小学校高学年となる10歳、小学1年生となる7歳などが比較的多くなっています。

総じて、就学前児童の場合よりも就労率や就労意欲は高くなっており、母親の社会参加は進んでいるといえます。

問7-(2) 母親の就労の状況(単回答)

	人数	割合(%)
常勤(フルタイム)(育休・介護休業は除く)	57	12.7
常勤(フルタイム)だが現在育休・介護休業中	1	0.2
パートタイム、アルバイト等	166	36.9
自営業・家業従事・自由業・内職・在宅就労	31	6.9
以前は就労していたが、現在は就労していない	130	28.9
これまでに就労したことがない	34	7.6
不明	31	6.9
合計	450	100.0

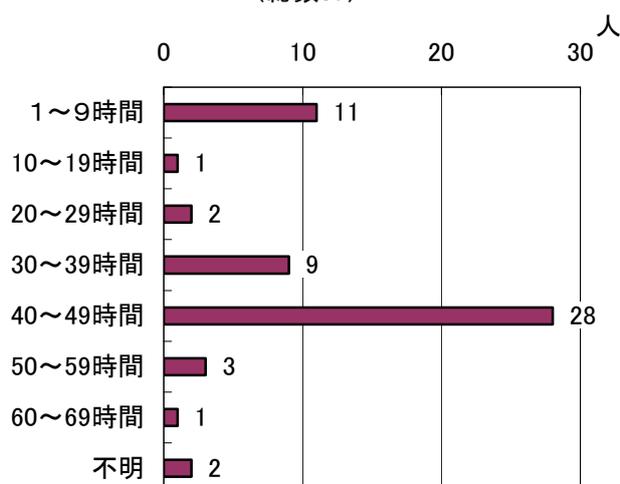
母親の就労の状況(総数450)



問7-(2)-② 母親・常勤／1週当たりの平均就労時間の平均就労時間

	人数	割合(%)
1～9時間	11	19.3
10～19時間	1	1.8
20～29時間	2	3.5
30～39時間	9	15.8
40～49時間	28	49.1
50～59時間	3	5.3
60～69時間	1	1.8
不明	2	3.5
合計	57	100.0

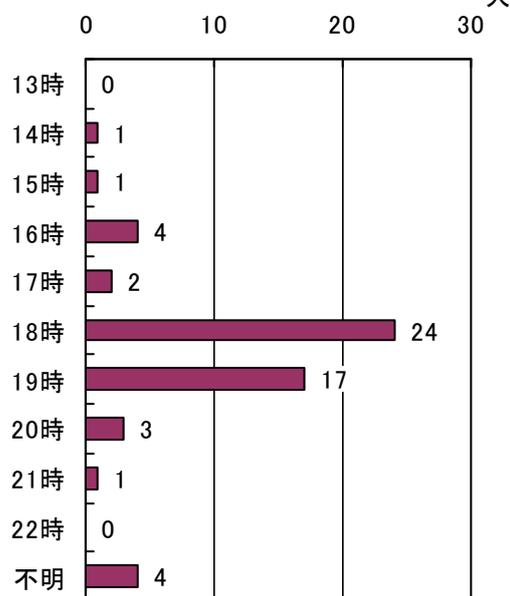
母親・常勤／1週当たりの平均就労時間(総数57)



問7-(2)-③ 母親・常勤／平均帰宅時間

	人数	割合(%)
13時	0	0.0
14時	1	1.8
15時	1	1.8
16時	4	7.0
17時	2	3.5
18時	24	42.1
19時	17	29.8
20時	3	5.3
21時	1	1.8
22時	0	0.0
不明	4	7.0
合計	57	100.0

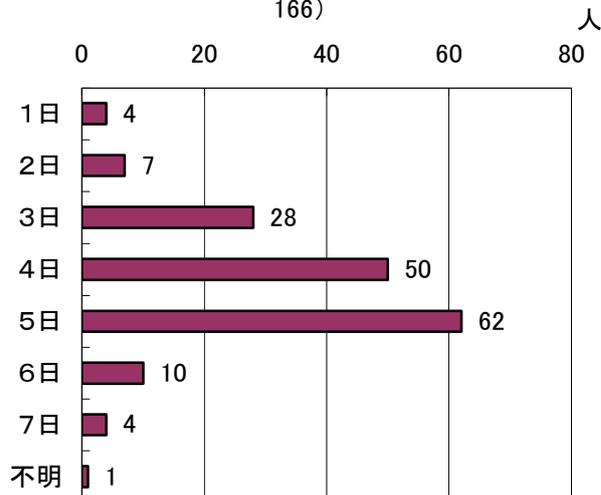
母親・常勤／平均帰宅時間(総数57)



問7-(2)-④ 母親・パート等／1週当たり就労日数

	人数	割合(%)
1日	4	2.4
2日	7	4.2
3日	28	16.9
4日	50	30.1
5日	62	37.3
6日	10	6.0
7日	4	2.4
不明	1	0.6
合計	166	100.0

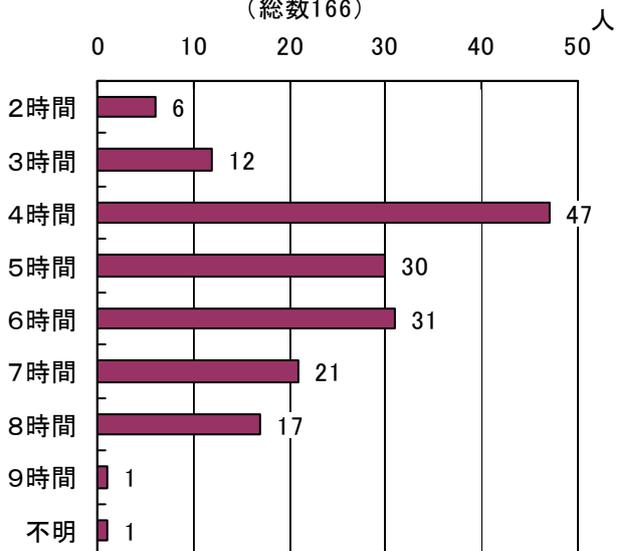
母親・パート等／1週当たり就労日数(総数166)



問7-(2)-⑤ 母親・パート等／1日当たり就労時間

	人数	割合(%)
2時間	6	3.6
3時間	12	7.2
4時間	47	28.3
5時間	30	18.1
6時間	31	18.7
7時間	21	12.7
8時間	17	10.2
9時間	1	0.6
不明	1	0.6
合計	166	100.0

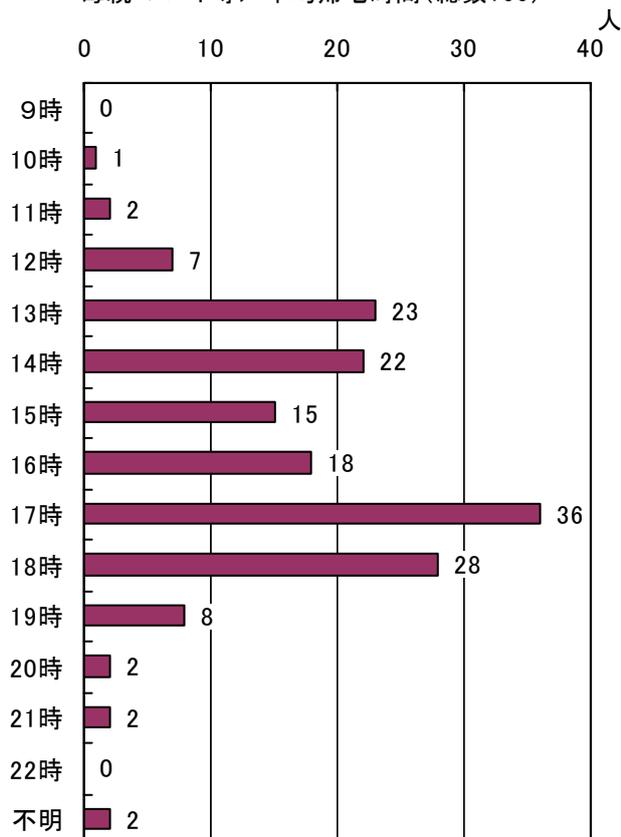
母親・パート等／1日当たり就労時間
(総数166)



問7-(2)-⑥ 母親・パート等／平均帰宅時間

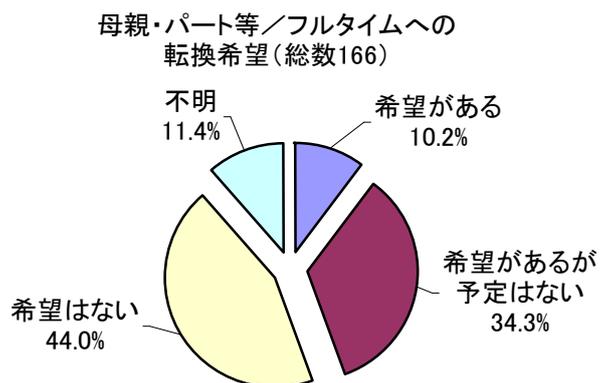
	人数	割合(%)
9時	0	0.0
10時	1	0.6
11時	2	1.2
12時	7	4.2
13時	23	13.9
14時	22	13.3
15時	15	9.0
16時	18	10.8
17時	36	21.7
18時	28	16.9
19時	8	4.8
20時	2	1.2
21時	2	1.2
22時	0	0.0
不明	2	1.2
合計	166	100.0

母親・パート等／平均帰宅時間(総数166)



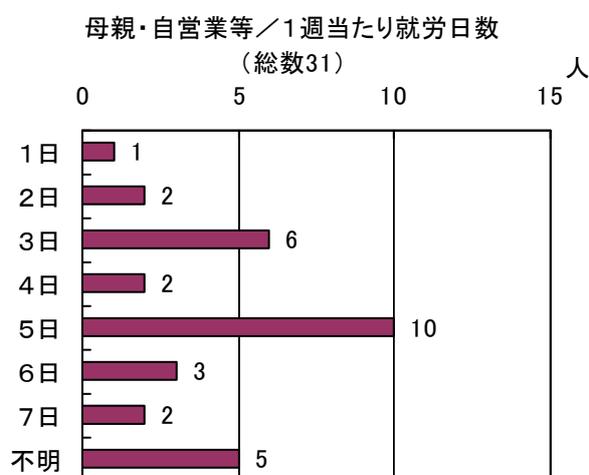
問7-(2)-⑦ 母親・パート等／フルタイムへの転換希望(単回答)

	人数	割合(%)
希望がある	17	10.2
希望があるが予定はない	57	34.3
希望はない	73	44.0
不明	19	11.4
合計	166	100.0



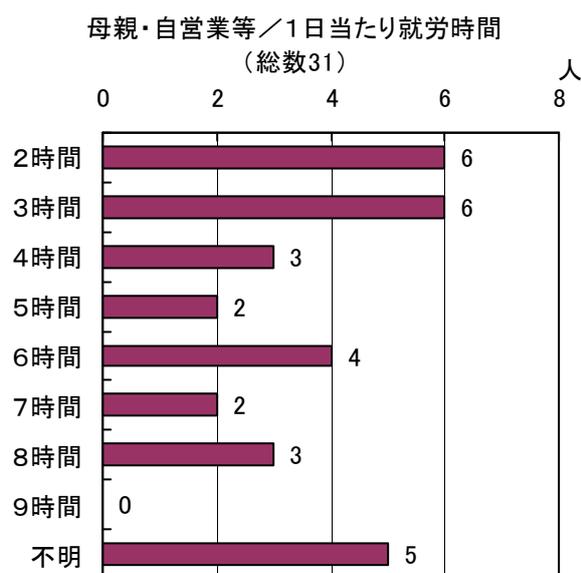
問7-(2)-⑧ 母親・自営業等／1週当たり就労日数

	人数	割合(%)
1日	1	3.2
2日	2	6.5
3日	6	19.4
4日	2	6.5
5日	10	32.3
6日	3	9.7
7日	2	6.5
不明	5	16.1
合計	31	100.0



問7-(2)-⑨ 母親・自営業等／1日当たり就労時間

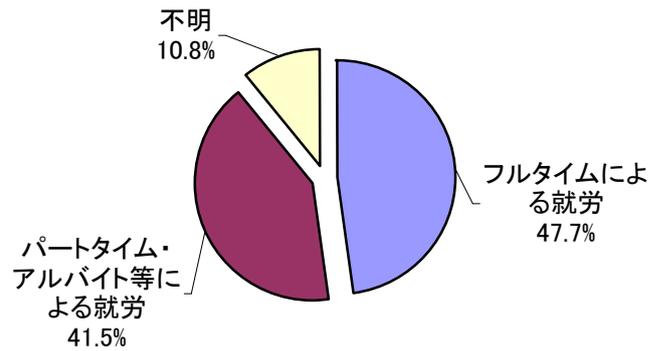
	人数	割合(%)
2時間	6	19.4
3時間	6	19.4
4時間	3	9.7
5時間	2	6.5
6時間	4	12.9
7時間	2	6.5
8時間	3	9.7
9時間	0	0.0
不明	5	16.1
合計	31	100.0



問7-(2)-⑩ 母親・現在未就労／以前の働き方(単回答)

	人数	割合(%)
フルタイムによる就労	62	47.7
パートタイム・アルバイト等による就労	54	41.5
不明	14	10.8
合計	130	100.0

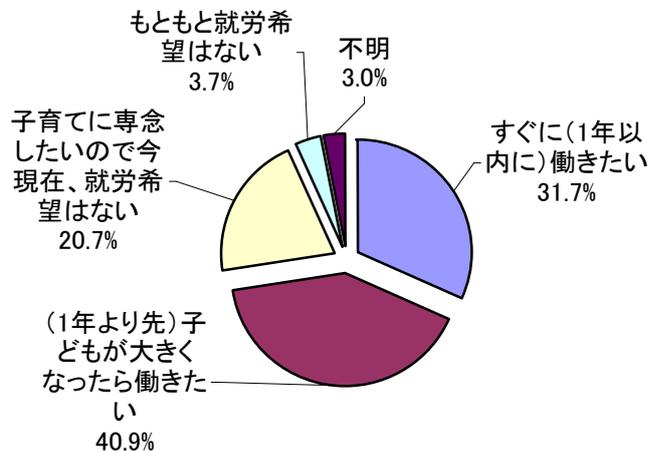
母親・現在未就労／以前の働き方(総数130)



問7-2-(ア) 「現在就労していない」または「就労したことがない」母親の就労希望(単回答)

	人数	割合(%)
すぐに(1年以内に)働きたい	52	31.7
(1年より先)子どもが大きくなったら働きたい	67	40.9
子育てに専念したいので今現在、就労希望はない	34	20.7
もともと就労希望はない	6	3.7
不明	5	3.0
合計	164	100.0

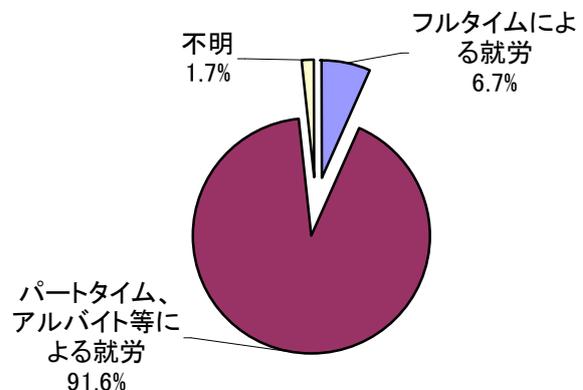
未就労の母親の就労希望(総数164)



問7-2-(イ) 就労希望がある母親の働き方の希望(単回答)

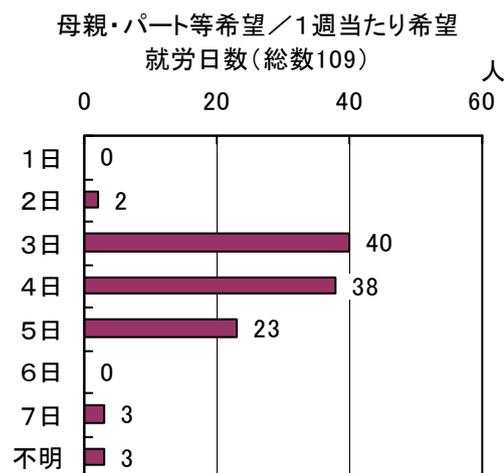
	人数	割合(%)
フルタイムによる就労	8	6.7
パートタイム、アルバイト等による就労	109	91.6
不明	2	1.7
合計	119	100.0

就労希望がある母親の働き方の希望(総数119)



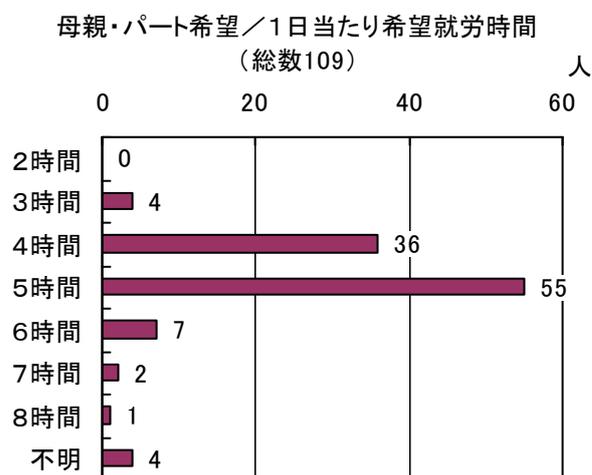
問7-(イ)-② 母親・パート等希望／1週当たり希望就労日数

	人数	割合(%)
1日	0	0.0
2日	2	1.8
3日	40	36.7
4日	38	34.9
5日	23	21.1
6日	0	0.0
7日	3	2.8
不明	3	2.8
合計	109	100.0



問7-(イ)-③ 母親・パート等希望／1日当たり希望就労時間

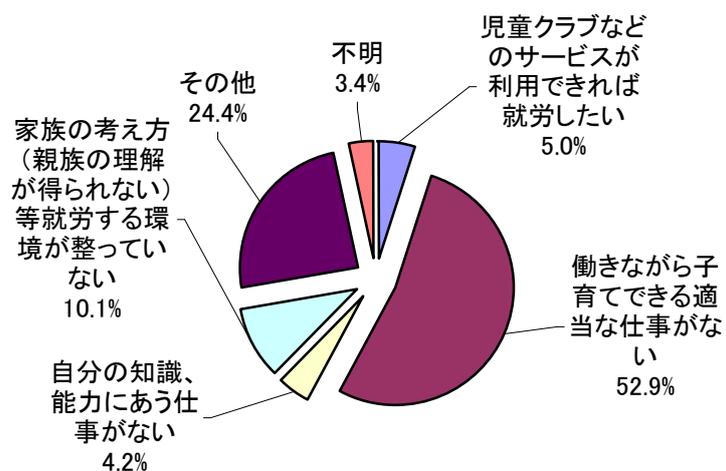
	人数	割合(%)
2時間	0	0.0
3時間	4	3.7
4時間	36	33.0
5時間	55	50.5
6時間	7	6.4
7時間	2	1.8
8時間	1	0.9
不明	4	3.7
合計	109	100.0



問7-3 母親／就労希望がありながら現在働いていない理由(単回答)

	人数	割合(%)
児童クラブなどのサービスが利用できれば就労したい	6	5.0
働きながら子育てできる適当な仕事がない	63	52.9
自分の知識、能力にあう仕事がない	5	4.2
家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない	12	10.1
その他	29	24.4
不明	4	3.4
合計	119	100.0

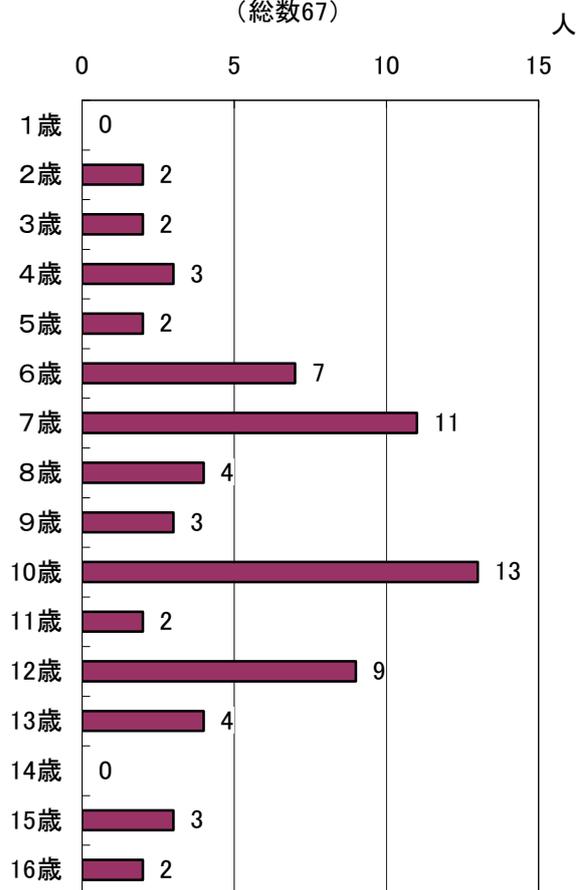
就労希望がありながら現在働いていない理由(総数119)



問7-4 子どもが何歳になったら働きたいか

	人数	割合(%)
1歳	0	0.0
2歳	2	3.0
3歳	2	3.0
4歳	3	4.5
5歳	2	3.0
6歳	7	10.4
7歳	11	16.4
8歳	4	6.0
9歳	3	4.5
10歳	13	19.4
11歳	2	3.0
12歳	9	13.4
13歳	4	6.0
14歳	0	0.0
15歳	3	4.5
16歳	2	3.0
合計	67	100.0

子どもが何歳になったら働きたいか
(総数67)



(8) 子育て生活の満足度

どちらかといえば満足している人が約42%、満足しているが約27%と多くなっており、就学前児童の場合と同様に、総じて高い満足度となっています。

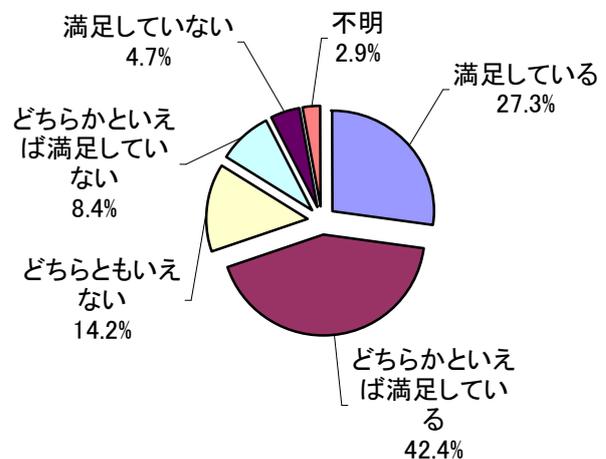
子育てをする喜びについては、子どもの成長が約79%で最も多く、子どもを持つ喜びを実感約57%、子育てを通じた自分の成長、子育てを通じて友人ができたこと、自分の親への感謝の念などが比較的多く、就学前児童の場合と同様の傾向を示しています。

「子どもを生み育てること」を社会が十分評価しているかどうかについては、そうは思わない約20%、どちらかといえばそう思わない約26%など、就学前児童の場合と同様、否定的な意見が多く、子育ての重要性が社会で共有されていない状況がうかがえます。

問8-1 子どもを育てている現在の生活に満足しているか(単回答)

	人数	割合(%)
満足している	123	27.3
どちらかといえば満足している	191	42.4
どちらともいえない	64	14.2
どちらかといえば満足していない	38	8.4
満足していない	21	4.7
不明	13	2.9
合計	450	100.0

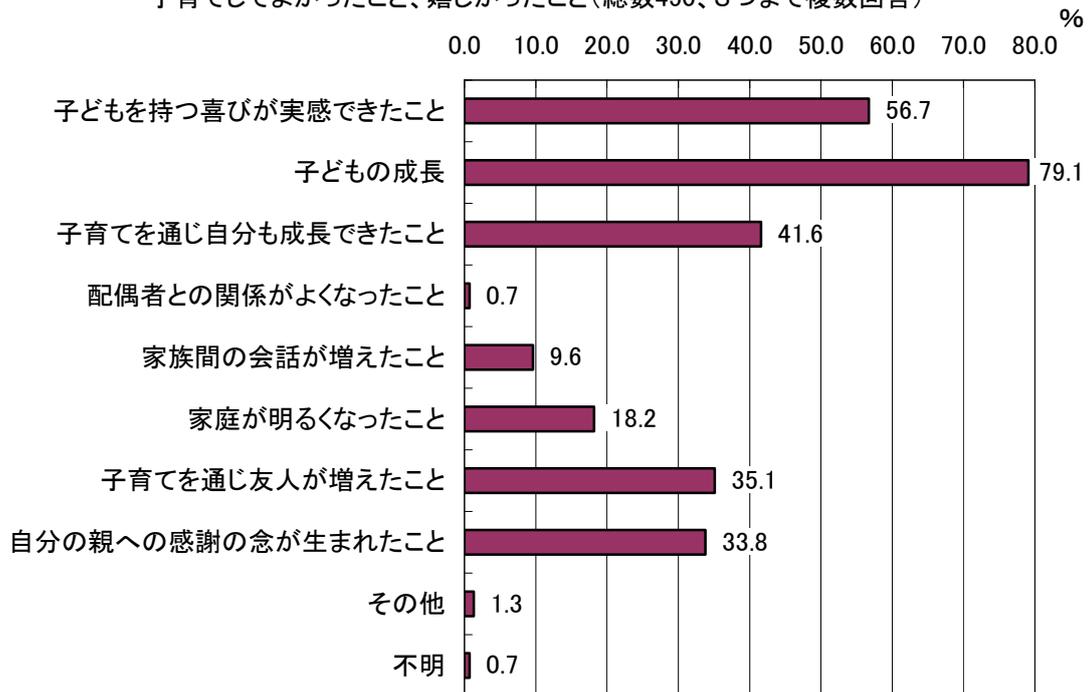
子どもを育てている現在の生活に満足しているか(総数450)



問8-2 子育てしてよかったこと、嬉しかったこと(3つまで複数回答)

	人数	割合(%)
子どもを持つ喜びが実感できたこと	255	56.7
子どもの成長	356	79.1
子育てを通じ自分も成長できたこと	187	41.6
配偶者との関係がよくなったこと	3	0.7
家族間の会話が増えたこと	43	9.6
家庭が明るくなったこと	82	18.2
子育てを通じ友人が増えたこと	158	35.1
自分の親への感謝の念が生まれたこと	152	33.8
その他	6	1.3
不明	3	0.7
合計	450	100.0

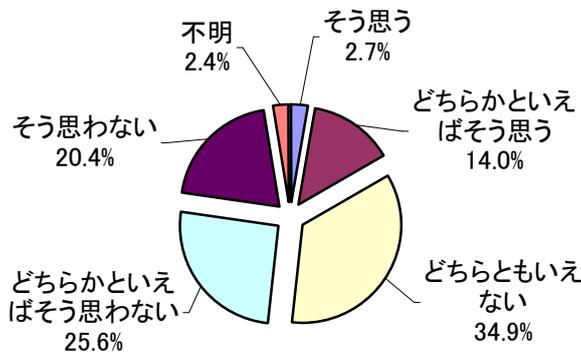
子育てしてよかったこと、嬉しかったこと(総数450、3つまで複数回答)



問8-3 「子どもを生み育てること」を今の社会は十分に評価しているか(単回答)

	人数	割合 (%)
そう思う	12	2.7
どちらかといえばそう思う	63	14.0
どちらともいえない	157	34.9
どちらかといえばそう思わない	115	25.6
そう思わない	92	20.4
不明	11	2.4
合計	450	100.0

子どもを育てることを今の社会は十分に評価しているか(総数450)

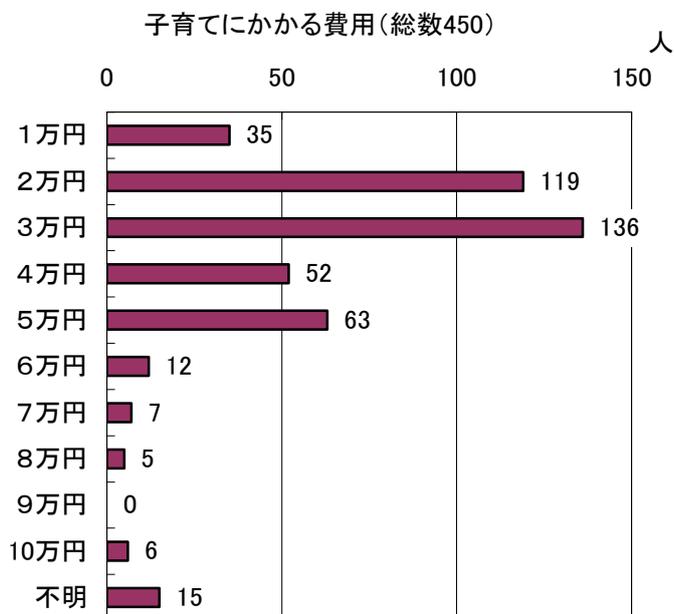


(9) 子育てにかかる費用

子育てにかかる費用については、1か月当たり3万円が最も多く、5万円という人も14%と比較的多くなっており、就学前児童と比較すると、子どもの成長に伴って費用が高くなっていることがわかります。

問9 子育てにかかる費用

	人数	割合(%)
1万円	35	7.8
2万円	119	26.4
3万円	136	30.2
4万円	52	11.6
5万円	63	14.0
6万円	12	2.7
7万円	7	1.6
8万円	5	1.1
9万円	0	0.0
10万円	6	1.3
不明	15	3.3
合計	450	100.0



(10) 理想的な子どもの数・現実的な子どもの数

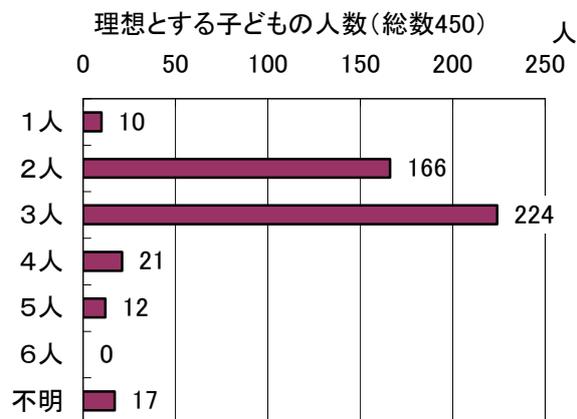
欲しいと思う理想的な子どもの数については、3人が約50%で最も多く、2人が約37%でこれに次いで多くなっています。

また、実際に持つつもりの子どもの数は2人が約55%で最も多く、3人がこれに次いでいます。

持つつもりの子どもの数が理想の子どもの数よりも少ない理由としては、子育てにお金がかかりすぎるという理由が圧倒的に多くを占めており、就学前児童の場合と同様、経済的な問題がなければ、子どもの数が2人から3人に拡大する可能性があるといえます。

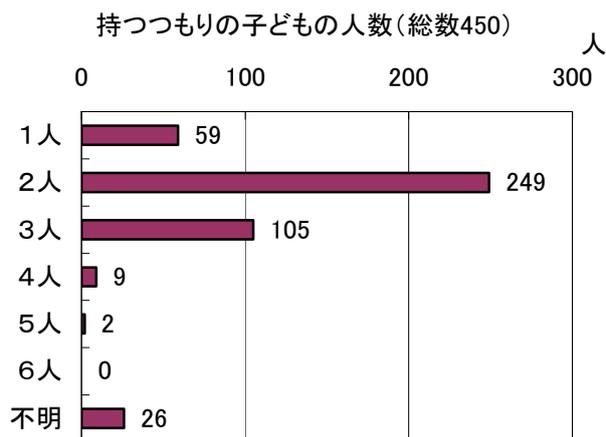
問 10-1 理想とする子どもの人数

	人数	割合(%)
1人	10	2.2
2人	166	36.9
3人	224	49.8
4人	21	4.7
5人	12	2.7
6人	0	0.0
不明	17	3.8
合計	450	100.0



問 10-1-② 持つつもりの子どもの人数

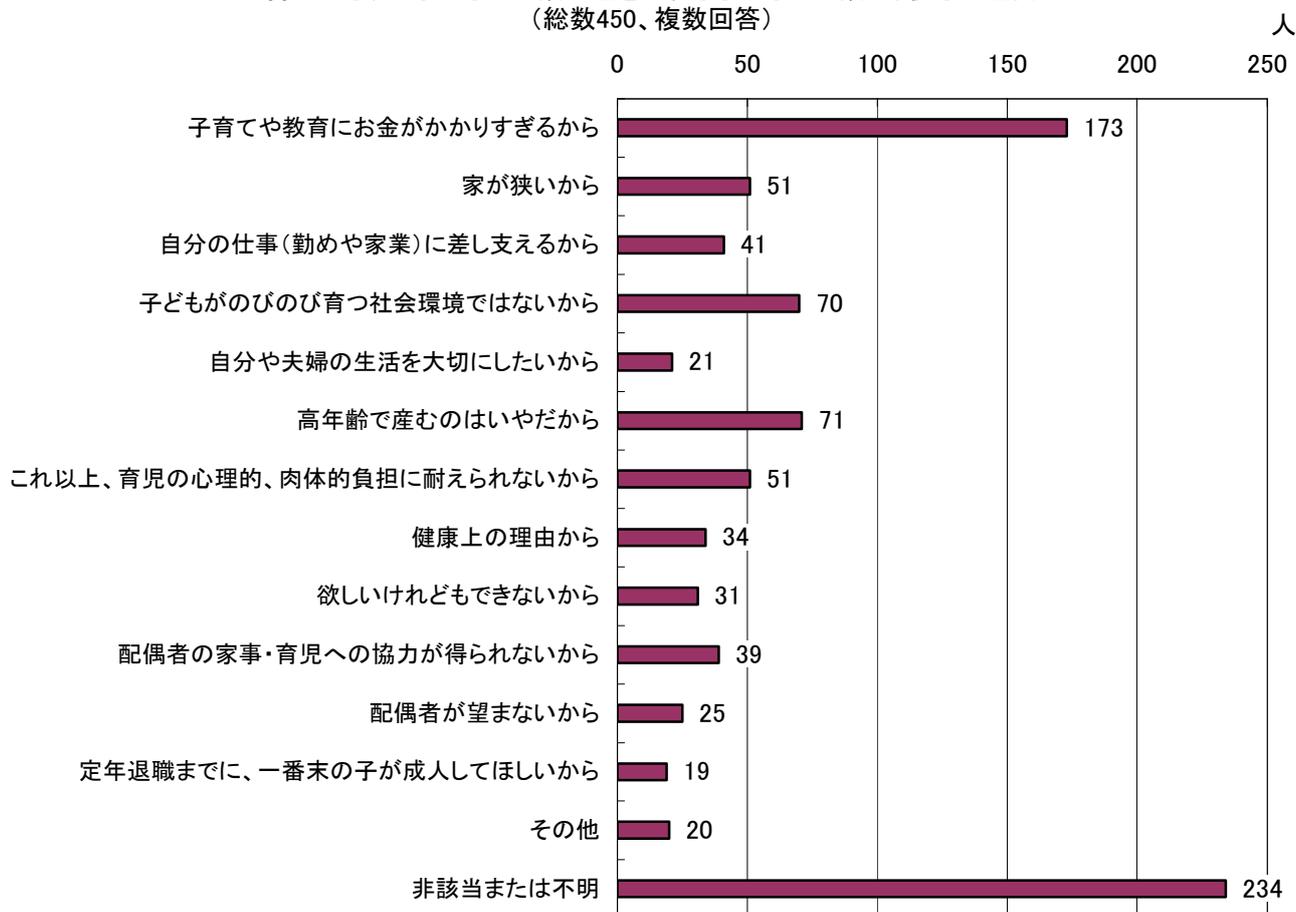
	人数	割合(%)
1人	59	13.1
2人	249	55.3
3人	105	23.3
4人	9	2.0
5人	2	0.4
6人	0	0.0
不明	26	5.8
合計	450	100.0



問 10-2 持つつもりの子どもの人数が理想とする子どもの人数より少ない理由(複数回答)

	人数	割合(%)
子育てや教育にお金がかかりすぎるから	173	38.4
家が狭いから	51	11.3
自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	41	9.1
子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	70	15.6
自分や夫婦の生活を大切にしたいから	21	4.7
高年齢で産むのはいやだから	71	15.8
これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	51	11.3
健康上の理由から	34	7.6
欲しいけれどもできないから	31	6.9
配偶者の家事・育児への協力が得られないから	39	8.7
配偶者が望まないから	25	5.6
定年退職までに、一番末の子が成人してほしいから	19	4.2
その他	20	4.4
非該当または不明	234	52.0
合計	450	100.0

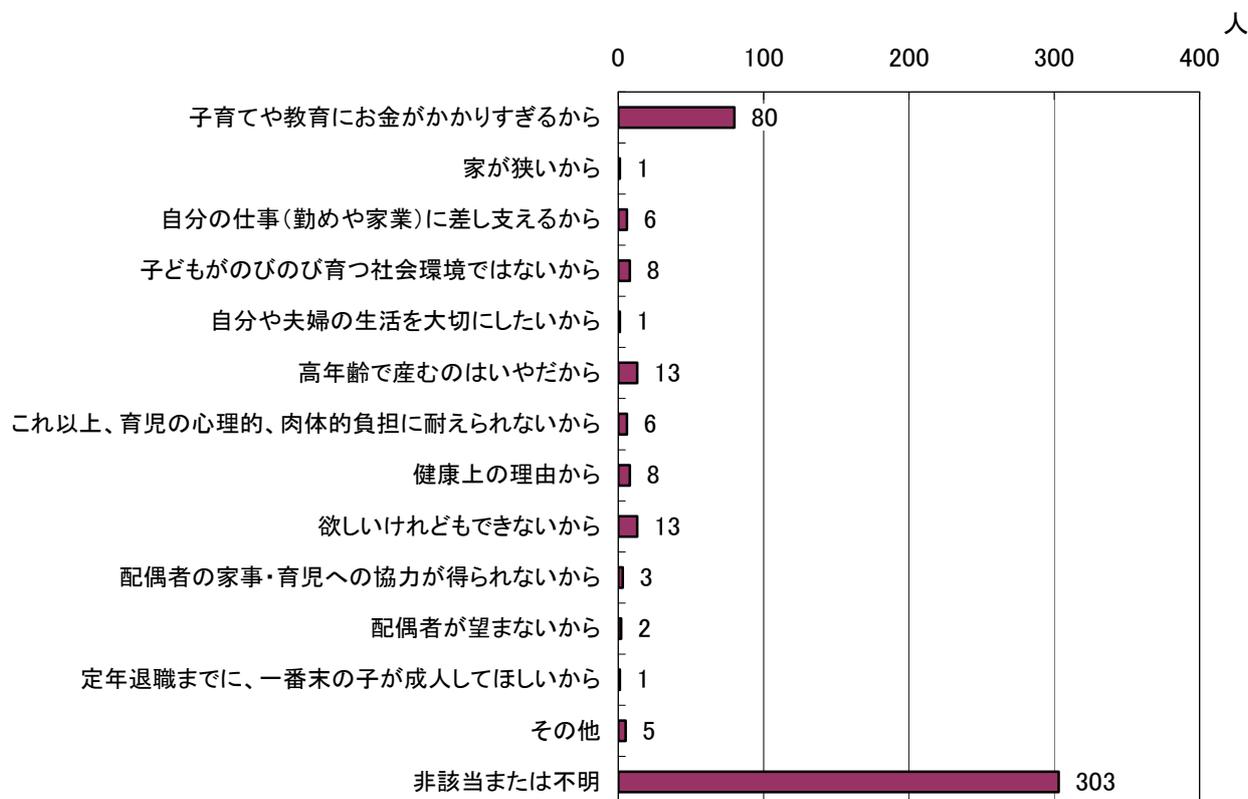
持つつもりの子どもの人数が理想とする子どもの人数より少ない理由
(総数450、複数回答)



問 10-2-② 持つつもりの子どもの人数が理想とする子どもの人数より少ない最大の理由(単回答)

	人数	割合(%)
子育てや教育にお金がかかりすぎるから	80	17.8
家が狭いから	1	0.2
自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	6	1.3
子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	8	1.8
自分や夫婦の生活を大切にしたいから	1	0.2
高年齢で産むのはいやだから	13	2.9
これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	6	1.3
健康上の理由から	8	1.8
欲しいけれどもできないから	13	2.9
配偶者の家事・育児への協力が得られないから	3	0.7
配偶者が望まないから	2	0.4
定年退職までに、一番末の子が成人してほしいから	1	0.2
その他	5	1.1
非該当または不明	303	67.3
合計	450	100.0

持つつもりの子どもの人数が理想とする子どもの人数より少ない最大の理由(総数450)



(11) テレビ・ビデオ、ゲームについて

1日にテレビ・ビデオを見る時間は、3時間が約30%、2時間が約29%と多くなっていますが、6時間という子どももみられます。

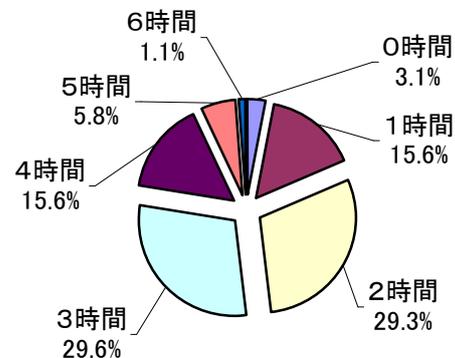
また、1日にテレビゲームやコンピュータゲームで遊ぶ時間は1時間が約56%で最も多く、2時間も約23%と多くなっています。

テレビ・ビデオやゲームの表現について、残虐性や暴力描写が気になるかどうかについては、気になると気にならないがほぼ拮抗しており、わずかに気になる人が多くなっています。

問 11-1 お子さんは1日に何時間ぐらい
テレビ・ビデオを見るか

	人数	割合(%)
0時間	14	3.1
1時間	70	15.6
2時間	132	29.3
3時間	133	29.6
4時間	70	15.6
5時間	26	5.8
6時間	5	1.1
合計	450	100.0

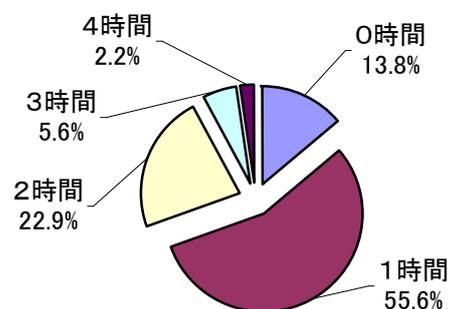
お子さんは1日に何時間ぐらい
テレビやビデオを見るか(総数450)



問 11-2 お子さんは1日に何時間ぐらい
テレビゲームやコンピュータゲームで遊
んでいるか

	人数	割合(%)
0時間	62	13.8
1時間	250	55.6
2時間	103	22.9
3時間	25	5.6
4時間	10	2.2
合計	450	100.0

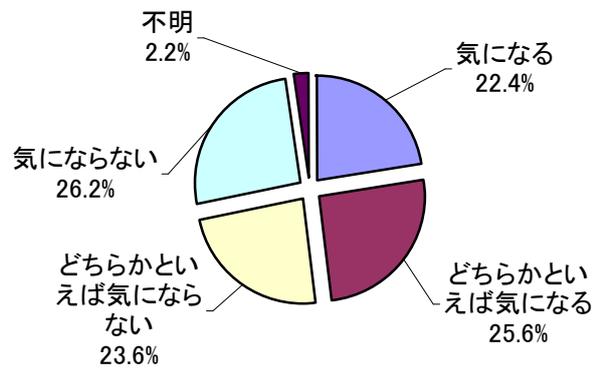
お子さんは1日に何時間ぐらい
テレビゲームやコンピュータゲームをするか(総数450)



問11-3 テレビ・ビデオやゲームについて残虐性や暴力描写が気になるか(単回答)

	人数	割合(%)
気になる	101	22.4
どちらかといえば気になる	115	25.6
どちらかといえば気にならない	106	23.6
気にならない	118	26.2
分からない(内容を知らない)	0	0.0
不明	10	2.2
合計	450	100.0

テレビやゲームで残虐性や暴力描写が気になるか(総数450)



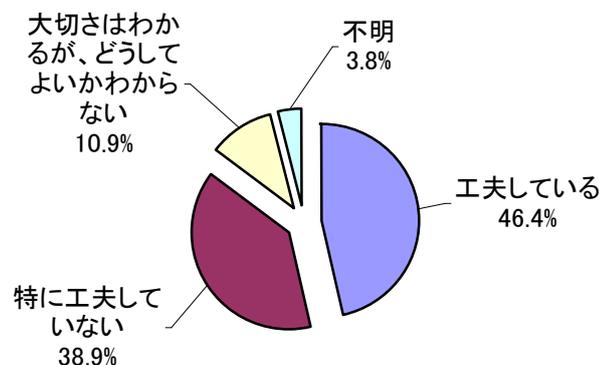
(12) 子どもに生命の大切さを教える工夫

子どもに生命の大切さを教える工夫をしている人は約46%と比較的多く、特に工夫していない人約39%を上回っています。どうしてよいかわからないという人が約11%と少ないことから、両親への働きかけや学習の場・機会の提供などが重要であるといえます。

問12 子どもに生命の大切さを教える工夫(単回答)

	人数	割合(%)
工夫している	209	46.4
特に工夫していない	175	38.9
大切さはわかるが、どうしてよいかわからない	49	10.9
不明	17	3.8
合計	450	100.0

子どもに命の大切さを教える工夫(総数450)



(13) かかりつけ医の有無、休日・夜間の医療機関

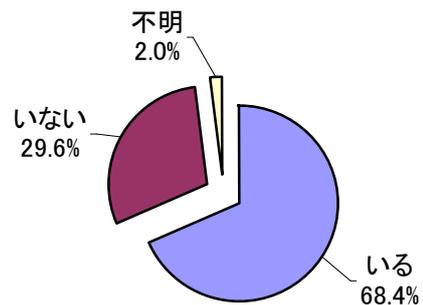
かかりつけ医については、約68%がいると答えています。就学前児童の場合より低くなっています。学年別のクロス集計をみても、学年が上になるほどかかりつけ医をもつ比率が低くなることから、子どもの成長との関連性が高いといえます。

休日・夜間対応の医療機関については、約85%の人が知っており、就学前児童の場合と同様に高い認知状況となっています。

問 13-1 かかりつけ医の有無(単回答)

	人数	割合(%)
いる	308	68.4
いない	133	29.6
不明	9	2.0
合計	450	100.0

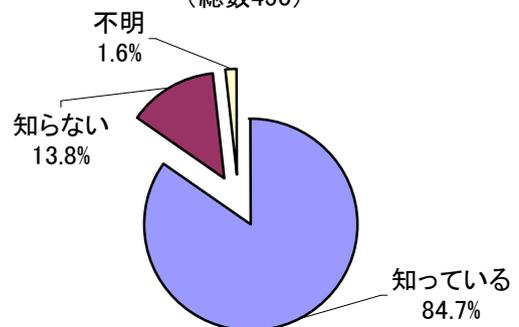
かかりつけ医の有無(総数450)



問 13-2 休日・夜間に子どもが受診できる医療機関を知っているか(単回答)

	人数	割合(%)
知っている	381	84.7
知らない	62	13.8
不明	7	1.6
合計	450	100.0

休日・夜間に子どもが受診できる医療機関を知っているか(総数450)



(14) 子どもだけの食事（個食）について

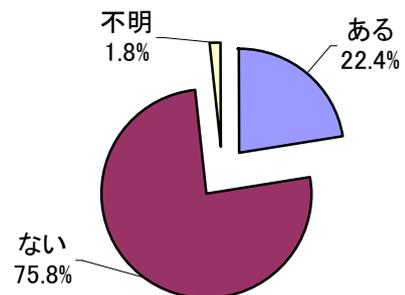
子どもだけで食事をとることについて、約 22%があるとしており、学年別にみると、学年が上がるほど、個食も増える傾向がみられます。

個食の月当たりの回数は 1～4 回が過半数で、総じて個食が日常化しているのではないことがわかりますが、30回以上（平均して 1日 1回以上）のように日常化しているケースもみられます。

問 14 子どもだけで食事をとること(単回答)

	人数	割合 (%)
ある	101	22.4
ない	341	75.8
不明	8	1.8
合計	450	100.0

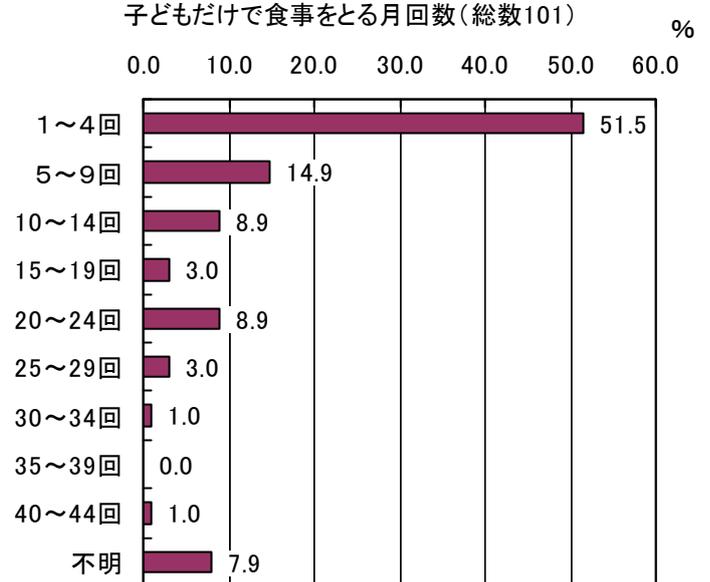
子どもだけで食事をとること(総数450)



問 14-② 子どもだけで食事をとる月回数

	人数	割合 (%)
1～4回	52	51.5
5～9回	15	14.9
10～14回	9	8.9
15～19回	3	3.0
20～24回	9	8.9
25～29回	3	3.0
30～34回	1	1.0
35～39回	0	0.0
40～44回	1	1.0
不明	8	7.9
合計	101	100.0

子どもだけで食事をとる月回数(総数101)

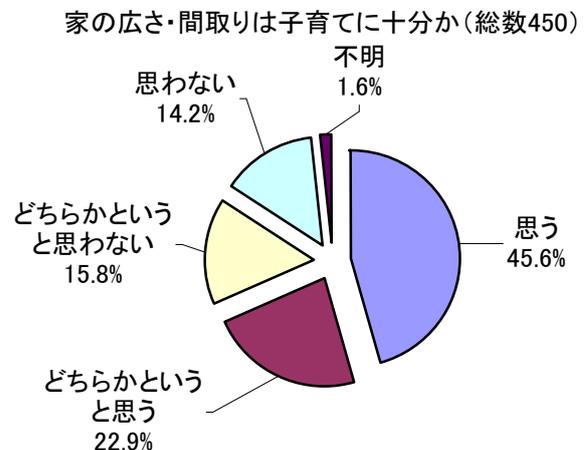


(15) 家の広さ・間取りについて

家の広さや間取りが子育てに十分かどうかについては、十分だと思うという声が約46%で最も多く、どちらかというと思うをあわせると、約69%が十分だと感じています。

問 15 家の広さ・間取りは子育てに十分か
(単回答)

	人数	割合(%)
思う	205	45.6
どちらかというと思う	103	22.9
どちらかというと思わない	71	15.8
思わない	64	14.2
不明	7	1.6
合計	450	100.0



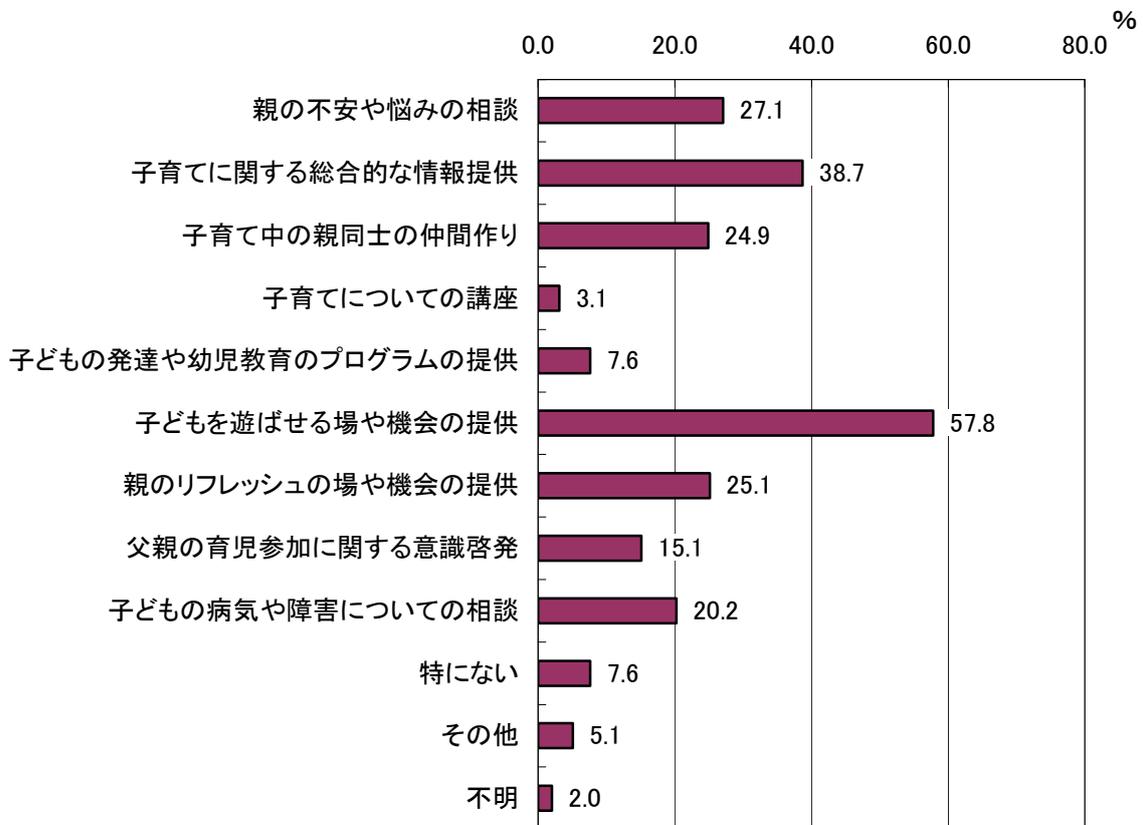
(16) 子育てを安心して楽しく行うために

子育てを安心して楽しく行うために必要なサービスは、子どもを遊ばせる場や機会の提供が最も多くなっています。このほか、子育てに関する総合的な情報提供、親の不安や悩みの相談、親のリフレッシュの場や機会の提供、子育て中の親同士の仲間づくりなどが比較的多く、ほぼ就学前児童の場合と同様の結果となっています。

問 16 子育てを安心して、楽しく行うため必要なサービス(3つまで複数回答)

	人数	割合(%)
親の不安や悩みの相談	122	27.1
子育てに関する総合的な情報提供	174	38.7
子育て中の親同士の仲間作り	112	24.9
子育てについての講座	14	3.1
子どもの発達や幼児教育のプログラムの提供	34	7.6
子どもを遊ばせる場や機会の提供	260	57.8
親のリフレッシュの場や機会の提供	113	25.1
父親の育児参加に関する意識啓発	68	15.1
子どもの病気や障害についての相談	91	20.2
特にない	34	7.6
その他	23	5.1
不明	9	2.0
合計	450	100.0

子育てを安心して、楽しく行うために必要なサービス(総数450、3つまで複数回答)



(17) - ① 一時預かりについて

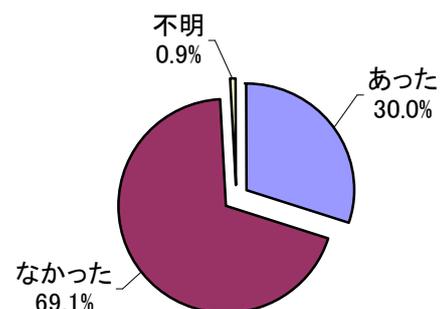
保護者の都合で、家族以外に子どもを一時的に預けた経験があるという人は、30%となっています。

預けた日数については、年に1～5日程度以内が最も多く、次に10日という人も多くなっています。理由別に預けた日数をみても、この傾向に大きな違いはみられません。

問 17-1 この1年間に保護者の都合で子どもを家族以外に預けたこと(単回答)

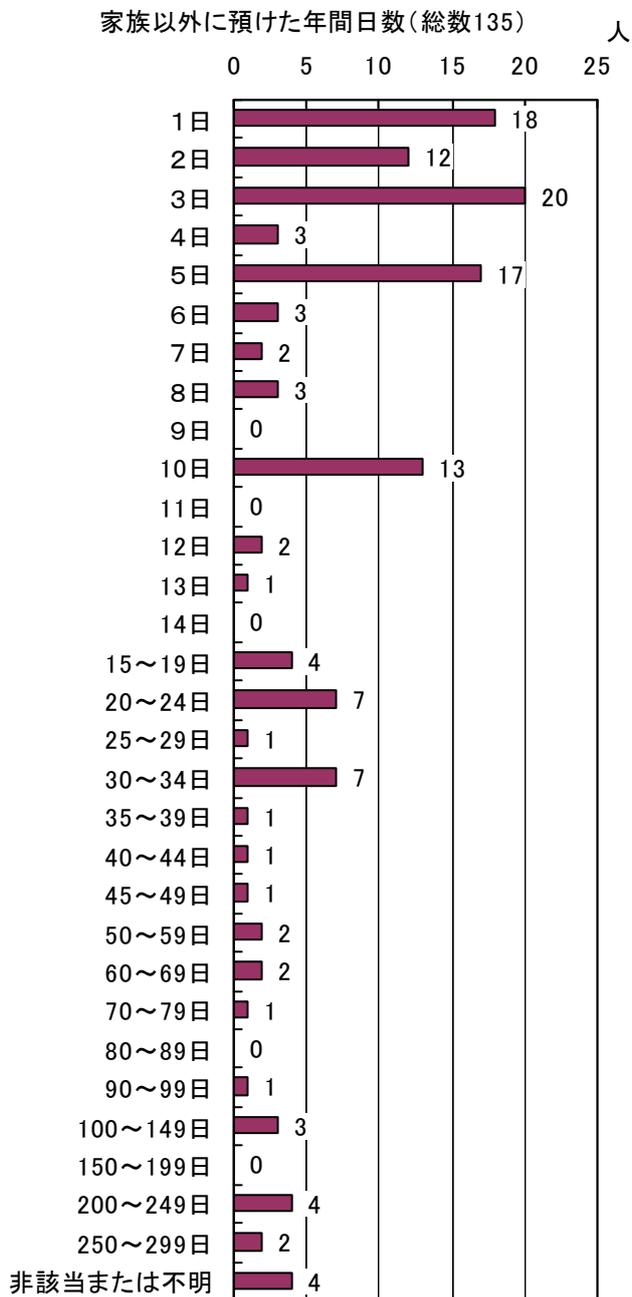
	人数	割合 (%)
あった	135	30.0
なかった	311	69.1
不明	4	0.9
合計	450	100.0

この1年間に保護者の都合で子どもを家族以外に預けたこと(総数450)



問 17-1-② 家族以外に預けた年間日数

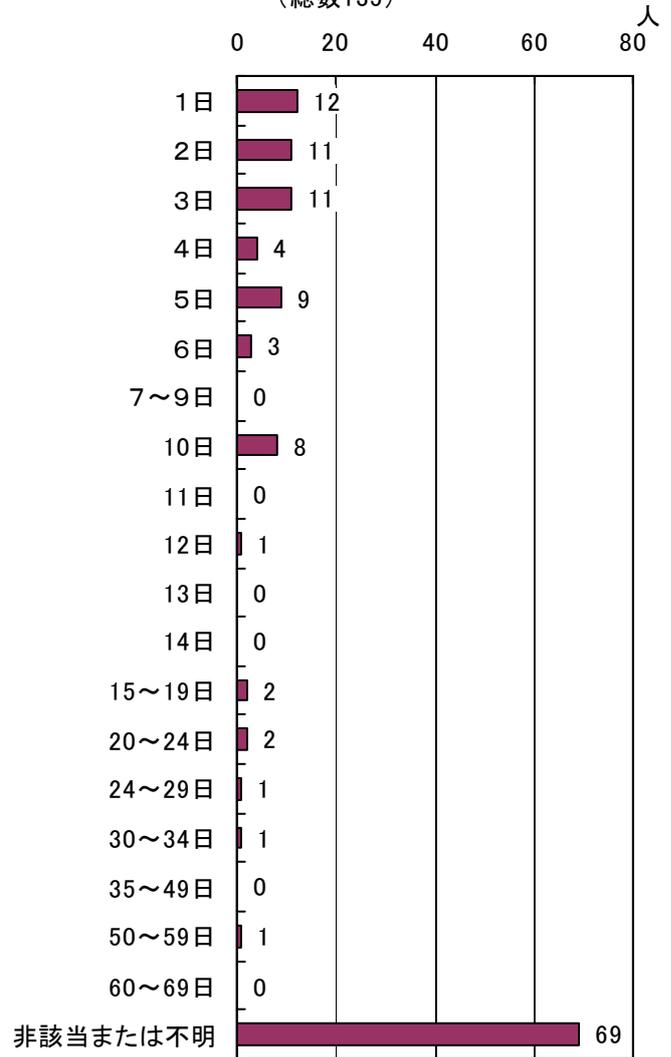
	人数	割合(%)
1日	18	13.3
2日	12	8.9
3日	20	14.8
4日	3	2.2
5日	17	12.6
6日	3	2.2
7日	2	1.5
8日	3	2.2
9日	0	0.0
10日	13	9.6
11日	0	0.0
12日	2	1.5
13日	1	0.7
14日	0	0.0
15～19日	4	3.0
20～24日	7	5.2
25～29日	1	0.7
30～34日	7	5.2
35～39日	1	0.7
40～44日	1	0.7
45～49日	1	0.7
50～59日	2	1.5
60～69日	2	1.5
70～79日	1	0.7
80～89日	0	0.0
90～99日	1	0.7
100～149日	3	2.2
150～199日	0	0.0
200～249日	4	3.0
250～299日	2	1.5
非該当または不明	4	3.0
合計	135	100.0



問 17-1-③ 私用(買物・習い事等)・リフレッシュ目的の日数

	人数	割合(%)
1日	12	8.9
2日	11	8.1
3日	11	8.1
4日	4	3.0
5日	9	6.7
6日	3	2.2
7～9日	0	0.0
10日	8	5.9
11日	0	0.0
12日	1	0.7
13日	0	0.0
14日	0	0.0
15～19日	2	1.5
20～24日	2	1.5
24～29日	1	0.7
30～34日	1	0.7
35～49日	0	0.0
50～59日	1	0.7
60～69日	0	0.0
非該当または不明	69	51.1
合計	135	100.0

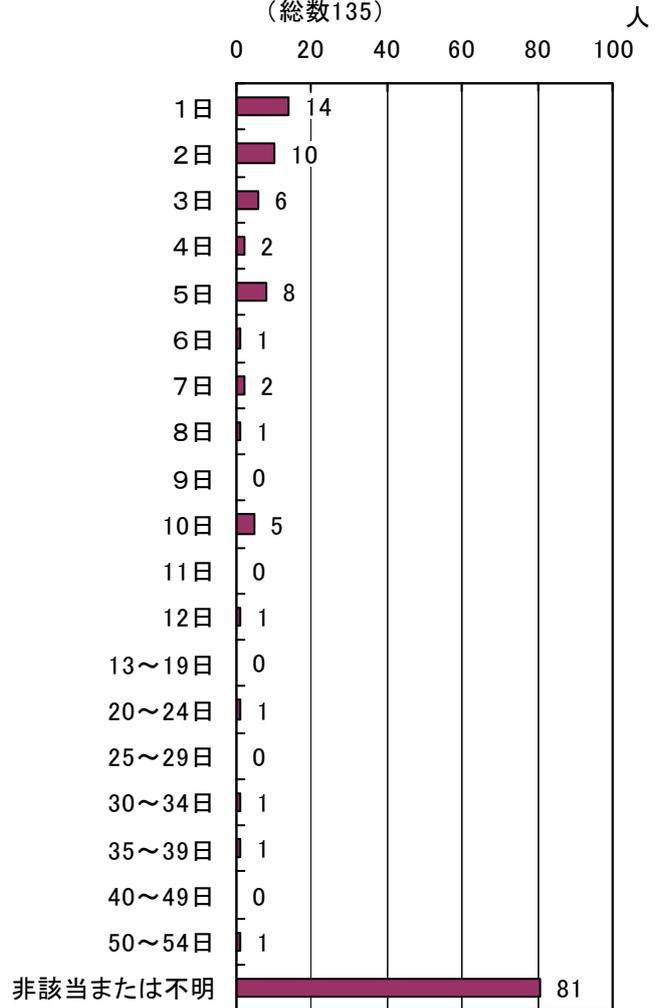
私用(買物・習い事等)・リフレッシュ目的の日数
(総数135)



問 17-1-④ 冠婚葬祭、保護者・家族の病
気の日数

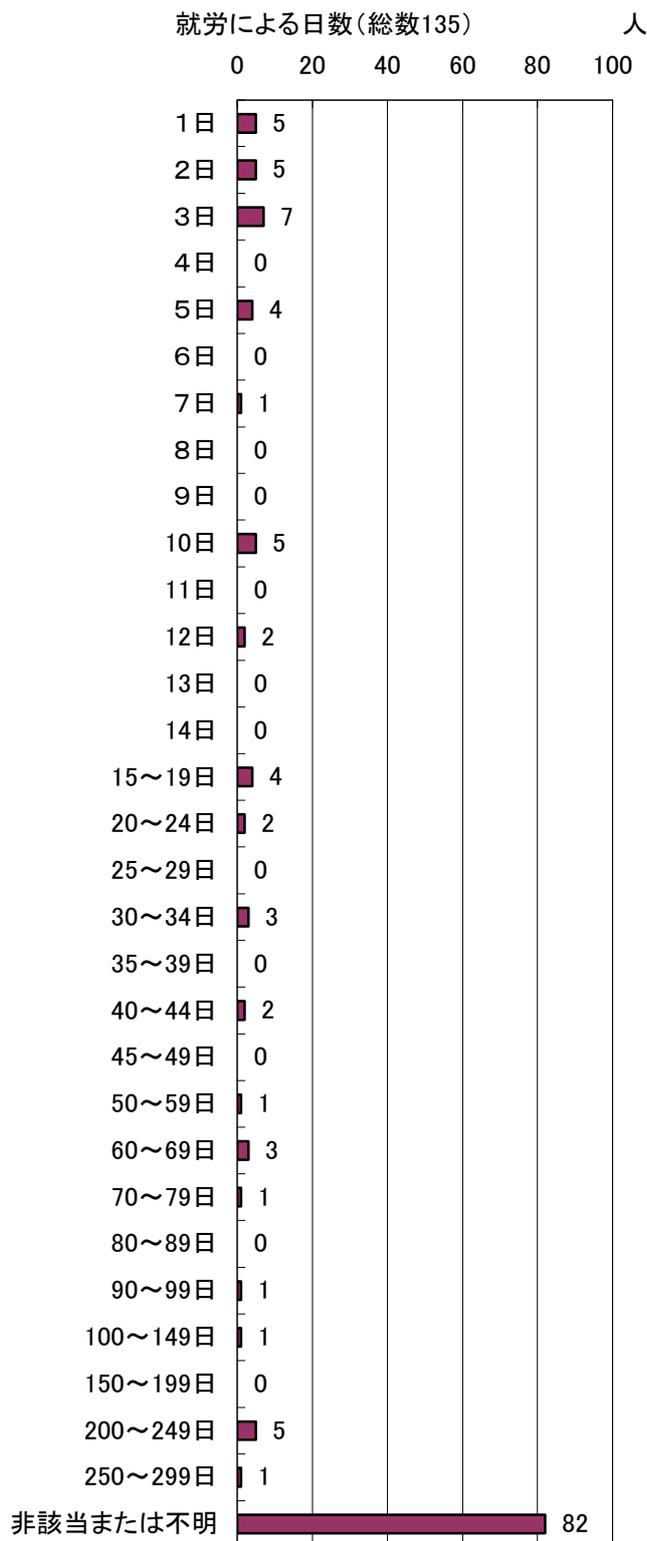
	人数	割合(%)
1日	14	10.4
2日	10	7.4
3日	6	4.4
4日	2	1.5
5日	8	5.9
6日	1	0.7
7日	2	1.5
8日	1	0.7
9日	0	0.0
10日	5	3.7
11日	0	0.0
12日	1	0.7
13～19日	0	0.0
20～24日	1	0.7
25～29日	0	0.0
30～34日	1	0.7
35～39日	1	0.7
40～49日	0	0.0
50～54日	1	0.7
非該当または不明	81	60.0
合計	135	100.0

冠婚葬祭、保護者・家族の病
気の日数
(総数135)



問 17-1-⑤ 就労による日数

	人数	割合(%)
1日	5	3.7
2日	5	3.7
3日	7	5.2
4日	0	0.0
5日	4	3.0
6日	0	0.0
7日	1	0.7
8日	0	0.0
9日	0	0.0
10日	5	3.7
11日	0	0.0
12日	2	1.5
13日	0	0.0
14日	0	0.0
15～19日	4	3.0
20～24日	2	1.5
25～29日	0	0.0
30～34日	3	2.2
35～39日	0	0.0
40～44日	2	1.5
45～49日	0	0.0
50～59日	1	0.7
60～69日	3	2.2
70～79日	1	0.7
80～89日	0	0.0
90～99日	1	0.7
100～149日	1	0.7
150～199日	0	0.0
200～249日	5	3.7
250～299日	1	0.7
非該当または不明	82	60.7
合計	135	100.0



(17)－② 泊まりがけの一時預かりについて

保護者の用事などで泊まりがけで子どもを預けた経験は、約17%の人で経験ありと答えています。

対処方法では、家族がみたり、親族・知人に預けたケースが71例で90%以上を占め、子どもを同行させたケースが8例、子どもだけで留守番させたケースが11例、認可外施設やベビーシッター等の保育サービスを利用したケースやその他の例はありません。

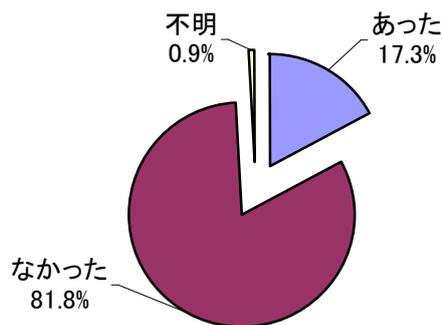
家族がみたり、親族・知人に預けた日数は3日や1日という限られた日数が多くなっていますが、10日という人も少なくありません。

家族がみたり、親族・知人に預けることの困難度については、特に困難ではないという人が60%程度を占め、どちらかというとなかなかという人は約23%となっています。

問 17-2 この1年間に保護者の用事などで子どもを保護者以外に泊まりがけで預けたこと(単回答)

	人数	割合(%)
あった	78	17.3
なかった	368	81.8
不明	4	0.9
合計	450	100.0

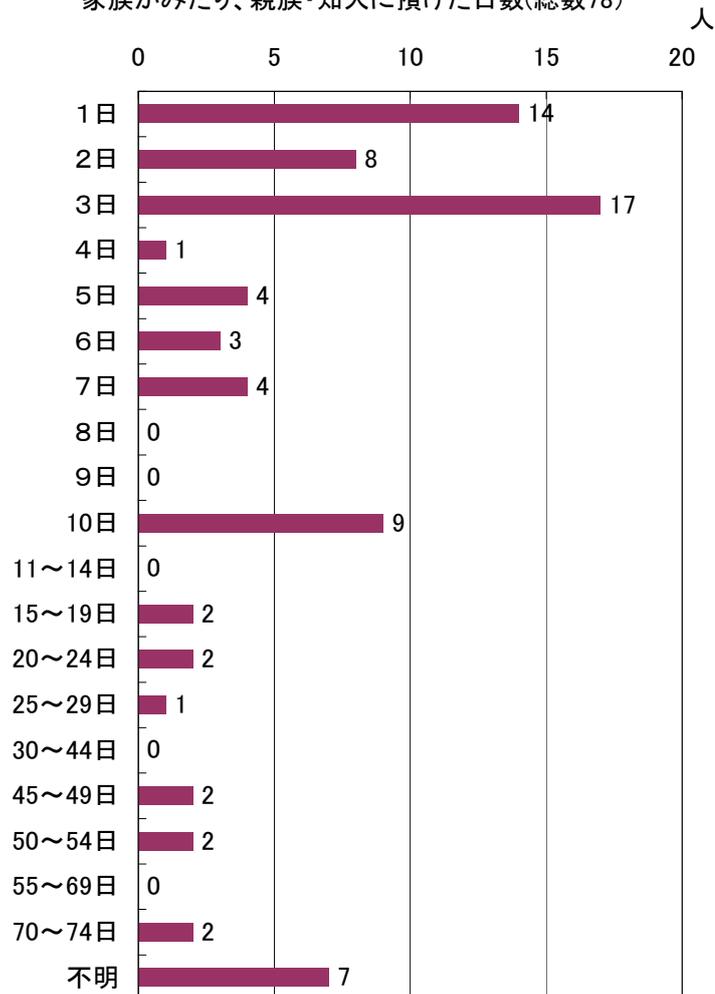
この1年間に保護者の用事などで子どもを保護者以外に泊まりがけで預けたこと(総数450)



問 17-② 家族がみたり、親族・知人に預けた日数

	人数	割合(%)
1日	14	17.9
2日	8	10.3
3日	17	21.8
4日	1	1.3
5日	4	5.1
6日	3	3.8
7日	4	5.1
8日	0	0.0
9日	0	0.0
10日	9	11.5
11～14日	0	0.0
15～19日	2	2.6
20～24日	2	2.6
25～29日	1	1.3
30～44日	0	0.0
45～49日	2	2.6
50～54日	2	2.6
55～69日	0	0.0
70～74日	2	2.6
不明	7	9.0
合計	78	100.0

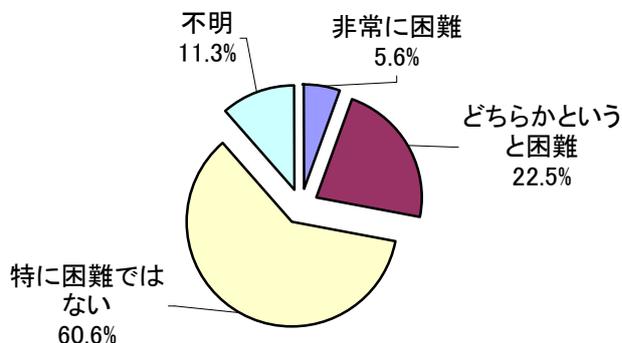
家族がみたり、親族・知人に預けた日数(総数78)



問 17-②-② 家族・親族・知人に預けた場合の困難度(単回答)

	人数	割合(%)
非常に困難	4	5.6
どちらかという困難	16	22.5
特に困難ではない	43	60.6
不明	8	11.3
合計	71	100.0

家族・親族・知人に預けた場合の困難度(総数71)



問 17-③ 子どもを同行させた日数

	人数	割合(%)
1日	5	6.4
2日	3	3.8
非該当または不明	70	89.7
合計	78	100.0

問 17-④ 子どもだけで留守番させた日数

	人数	割合(%)
1～4日	2	2.6
5～9日	1	1.3
10～19日	4	5.1
20～29日	1	1.3
30～59日	0	0.0
60～69日	1	1.3
70～79日	1	1.3
80～99日	0	0.0
100～109日	1	1.3
非該当または不明	67	85.9
合計	78	100.0

問 17-⑤ 保育サービス(認可外施設やベビーシッター等)を利用した日数

	人数	割合(%)
1日以上	0	0
非該当または不明	78	100.0
合計	78	100.0

問 17-⑥ その他の方法で対処した日数

	人数	割合(%)
1日以上	0	0
非該当または不明	78	100.0
合計	78	100.0

(18) 放課後や休日の過ごし方

平日の放課後、14時～16時の子どもの居場所は、まだ小学校にいる子どもが約43%、公園など屋外で遊んでいるが約20%と多くなっています。

16時～18時は、保護者や祖父母等と自宅にいるが約35%、学習塾や習い事が約26%と比較的多く、公園など屋外で遊んでいるも約12%と少なくありません。

18時～20時になると、保護者や祖父母等と自宅にいる子どもが約80%となります。

20時以降では、保護者や祖父母等と自宅にいる子どもが約87%となりますが、学習塾や習い事、自宅で、ひとりで過ごしている、自宅で子どもたちだけで過ごしているなどのケースもみられます。

土曜日については、朝起きて昼食までの間は、自宅にいるケースが約60%と多くなっています。

昼食後夕食までは、自宅が約38%、公園など屋外で遊んでいるが約24%と多くなっています。

夕食後は、自宅が約87%ですが、自宅で子どもたちだけで過ごしているケースなどもみられます。

休日については、朝起きて昼食までの間は、自宅が約68%と多くなっています。

昼食後夕食までは、自宅が約48%、公園など屋外で遊んでいるが約20%と多くなっています。

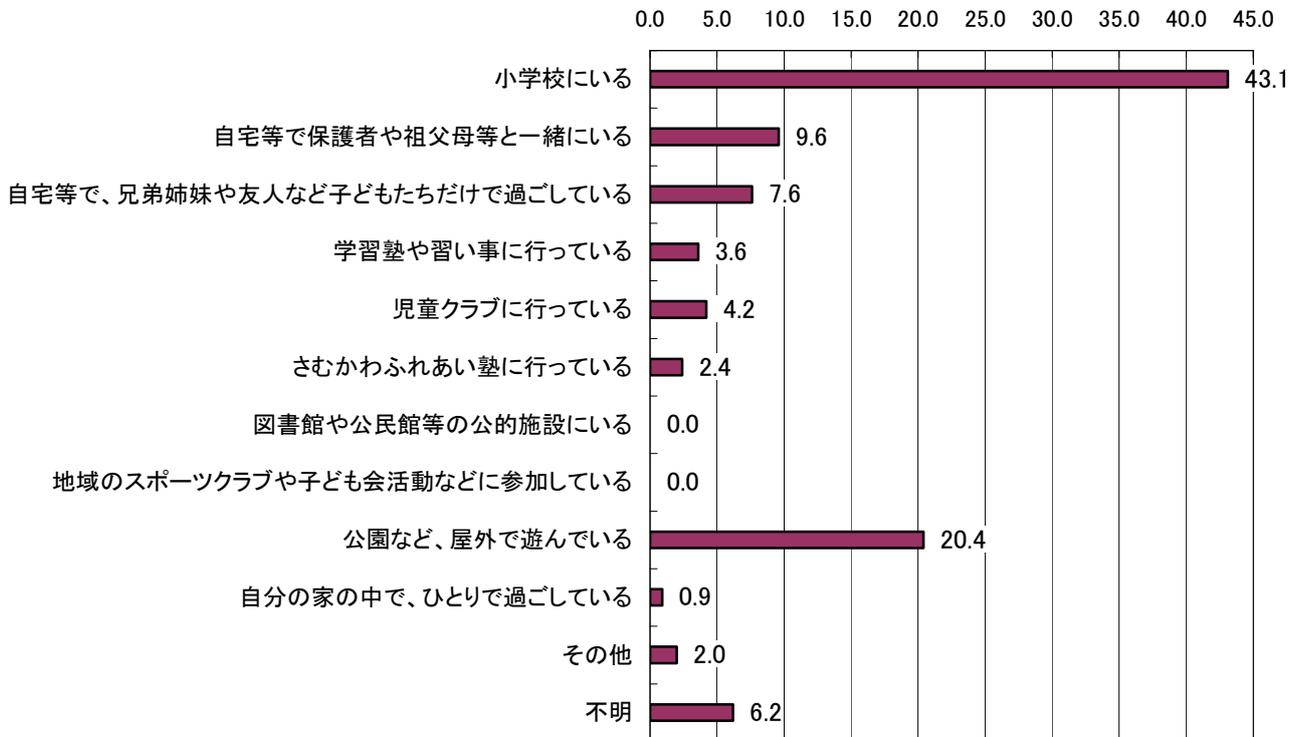
夕食後は、自宅が約88%ですが、やはり、自宅で子どもたちだけで過ごしているケースなどもみられます。

問 18-① 14時～16時の過ごし方(単回答)

	人数	割合(%)
小学校にいる	194	43.1
自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる	43	9.6
自宅等で、兄弟姉妹や友人など子どもたちだけで過ごしている	34	7.6
学習塾や習い事に行っている	16	3.6
児童クラブに行っている	19	4.2
さむかわふれあい塾に行っている	11	2.4
図書館や公民館等の公的施設にいる	0	0.0
地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している	0	0.0
公園など、屋外で遊んでいる	92	20.4
自分の家の中で、ひとりで過ごしている	4	0.9
その他	9	2.0
不明	28	6.2
合計	450	100.0

14時～16時の過ごし方(総数450)

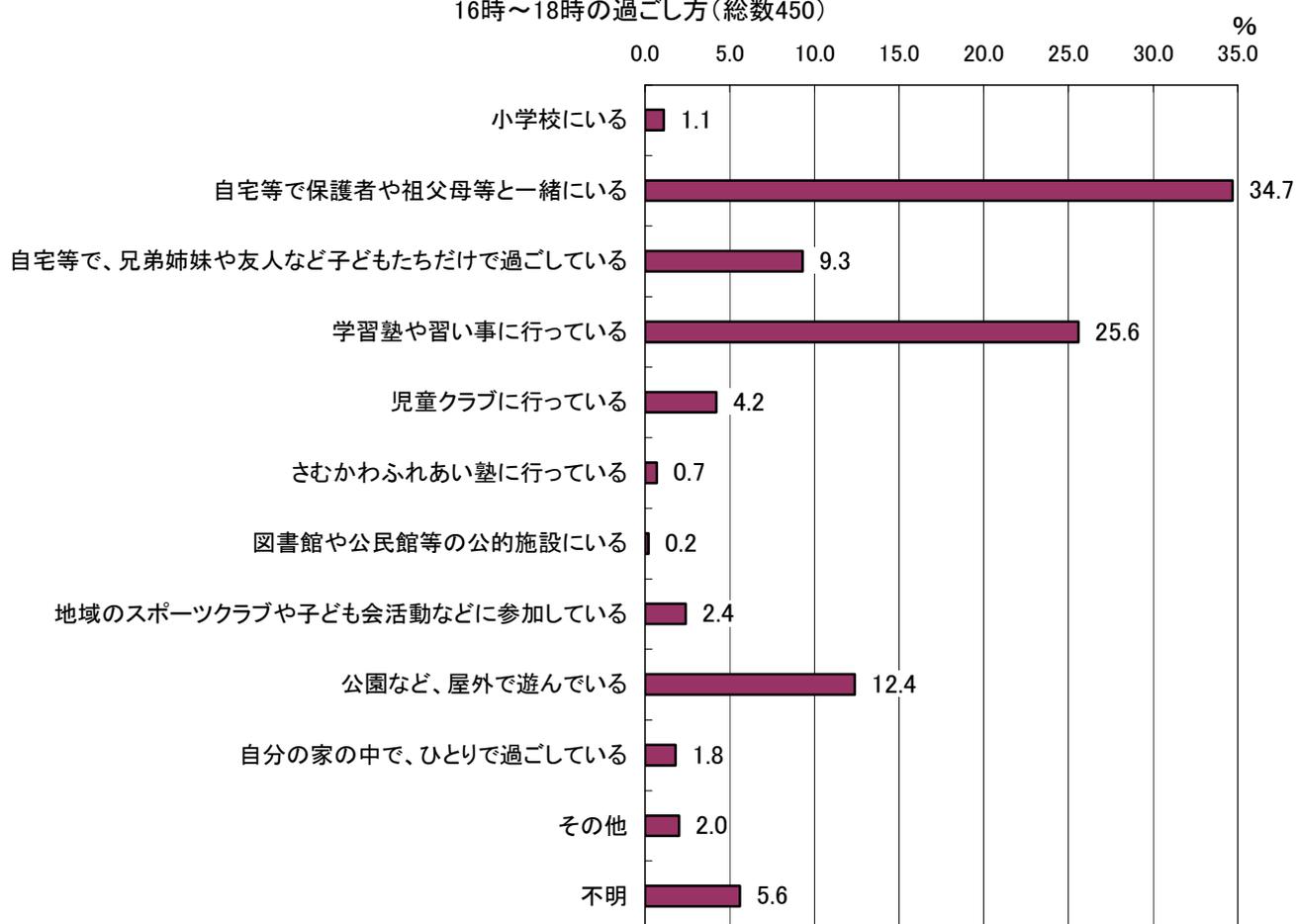
%



問 18-② 16時～18時の過ごし方(単回答)

	人数	割合(%)
小学校にいる	5	1.1
自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる	156	34.7
自宅等で、兄弟姉妹や友人など子どもたちだけで過ごしている	42	9.3
学習塾や習い事に行っている	115	25.6
児童クラブに行っている	19	4.2
さむかわふれあい塾に行っている	3	0.7
図書館や公民館等の公的施設にいる	1	0.2
地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している	11	2.4
公園など、屋外で遊んでいる	56	12.4
自分の家の中で、ひとりで過ごしている	8	1.8
その他	9	2.0
不明	25	5.6
合計	450	100.0

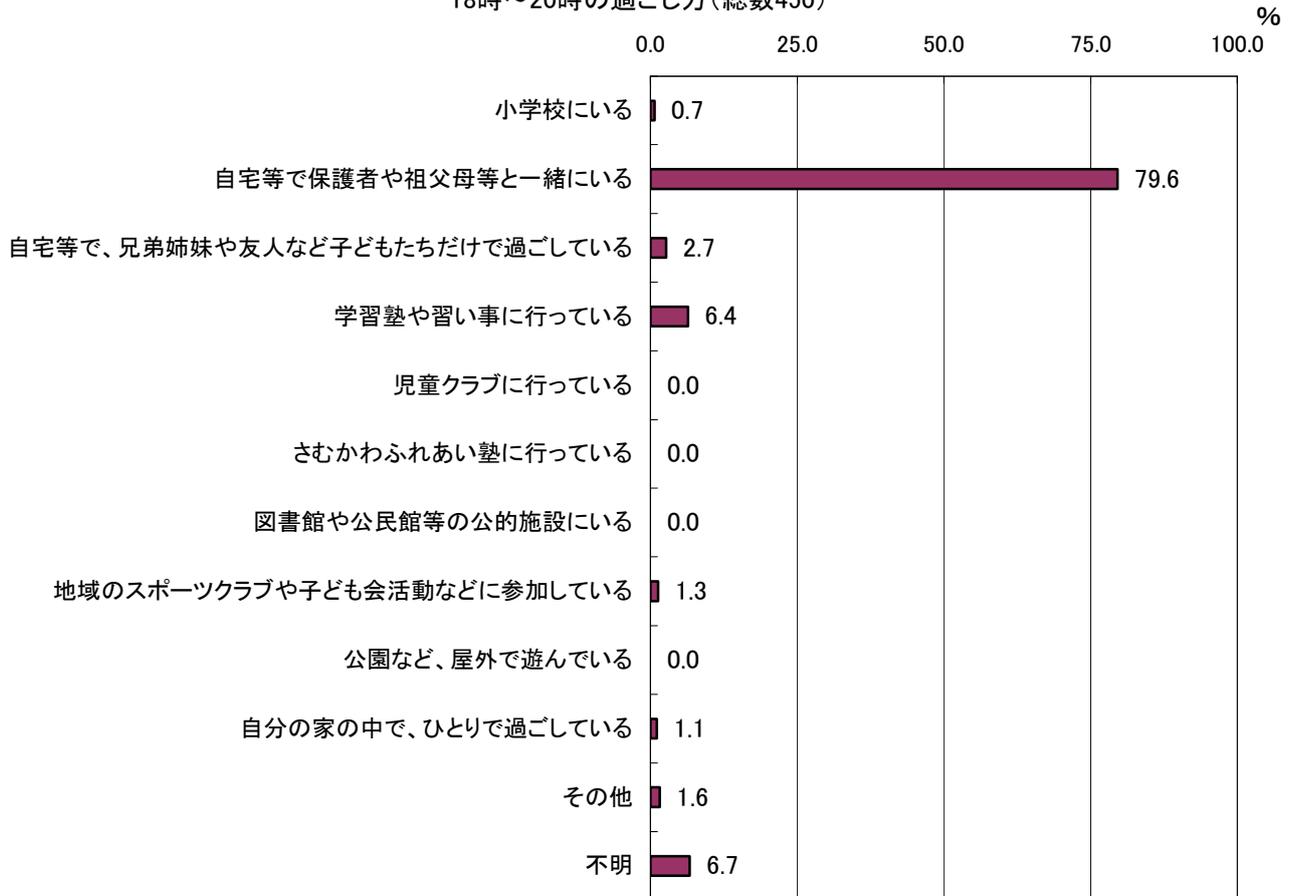
16時～18時の過ごし方(総数450)



問 18-③ 18時～20時の過ごし方(単回答)

	人数	割合 (%)
小学校にいる	3	0.7
自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる	358	79.6
自宅等で、兄弟姉妹や友人など子どもたちだけで過ごしている	12	2.7
学習塾や習い事に行っている	29	6.4
児童クラブに行っている	0	0.0
さむかわふれあい塾に行っている	0	0.0
図書館や公民館等の公的施設にいる	0	0.0
地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している	6	1.3
公園など、屋外で遊んでいる	0	0.0
自分の家の中で、ひとりで過ごしている	5	1.1
その他	7	1.6
不明	30	6.7
合計	450	100.0

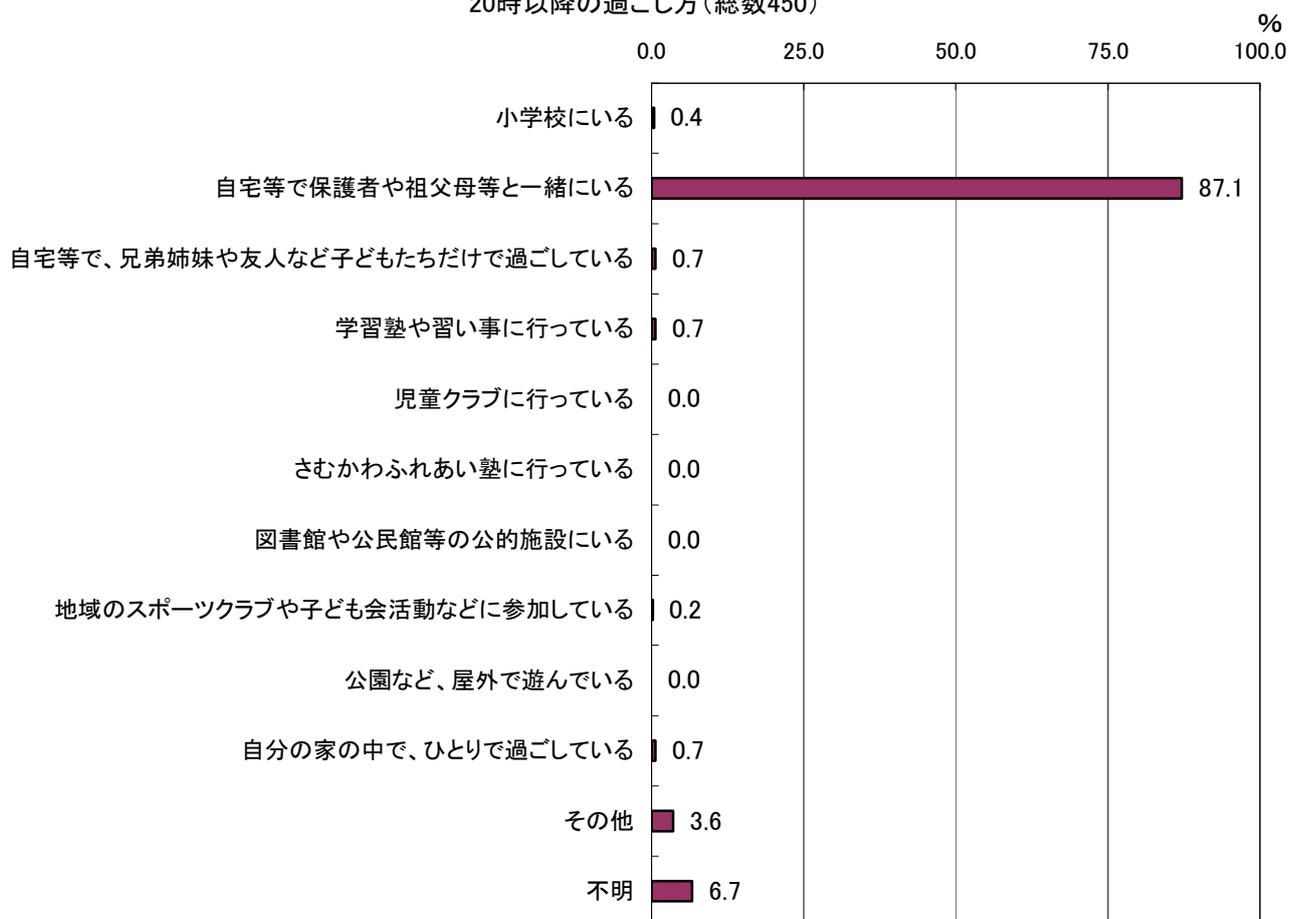
18時～20時の過ごし方(総数450)



問 18-④ 20時以降の過ごし方(単回答)

	人数	割合 (%)
小学校にいる	2	0.4
自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる	392	87.1
自宅等で、兄弟姉妹や友人など子どもたちだけで過ごしている	3	0.7
学習塾や習い事に行っている	3	0.7
児童クラブに行っている	0	0.0
さむかわふれあい塾に行っている	0	0.0
図書館や公民館等の公的施設にいる	0	0.0
地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している	1	0.2
公園など、屋外で遊んでいる	0	0.0
自分の家の中で、ひとりで過ごしている	3	0.7
その他	16	3.6
不明	30	6.7
合計	450	100.0

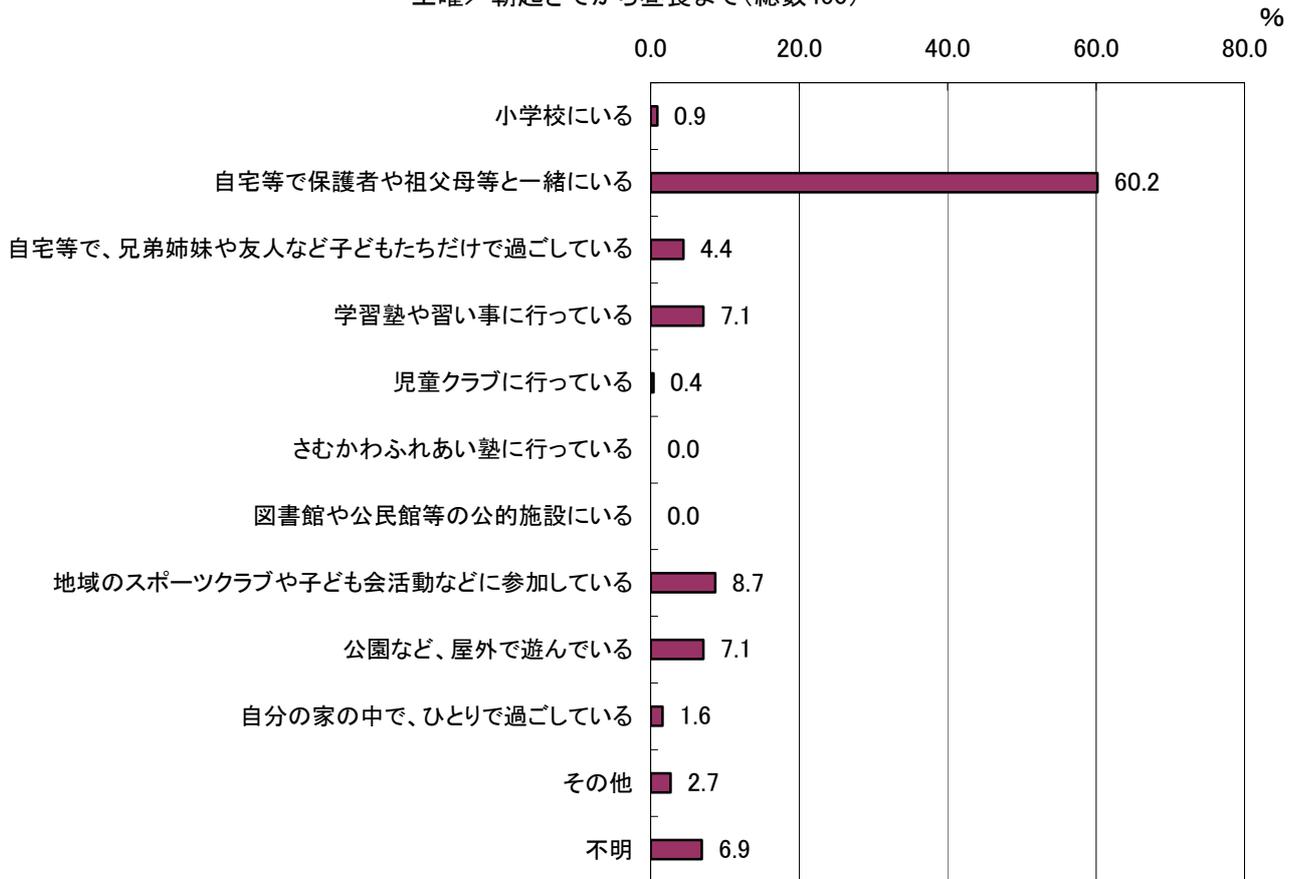
20時以降の過ごし方(総数450)



問 19-① 土曜／朝起きてから昼食まで(単回答)

	人数	割合(%)
小学校にいる	4	0.9
自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる	271	60.2
自宅等で、兄弟姉妹や友人など子どもたちだけで過ごしている	20	4.4
学習塾や習い事に行っている	32	7.1
児童クラブに行っている	2	0.4
さむかわふれあい塾に行っている	0	0.0
図書館や公民館等の公的施設にいる	0	0.0
地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している	39	8.7
公園など、屋外で遊んでいる	32	7.1
自分の家の中で、ひとりで過ごしている	7	1.6
その他	12	2.7
不明	31	6.9
合計	450	100.0

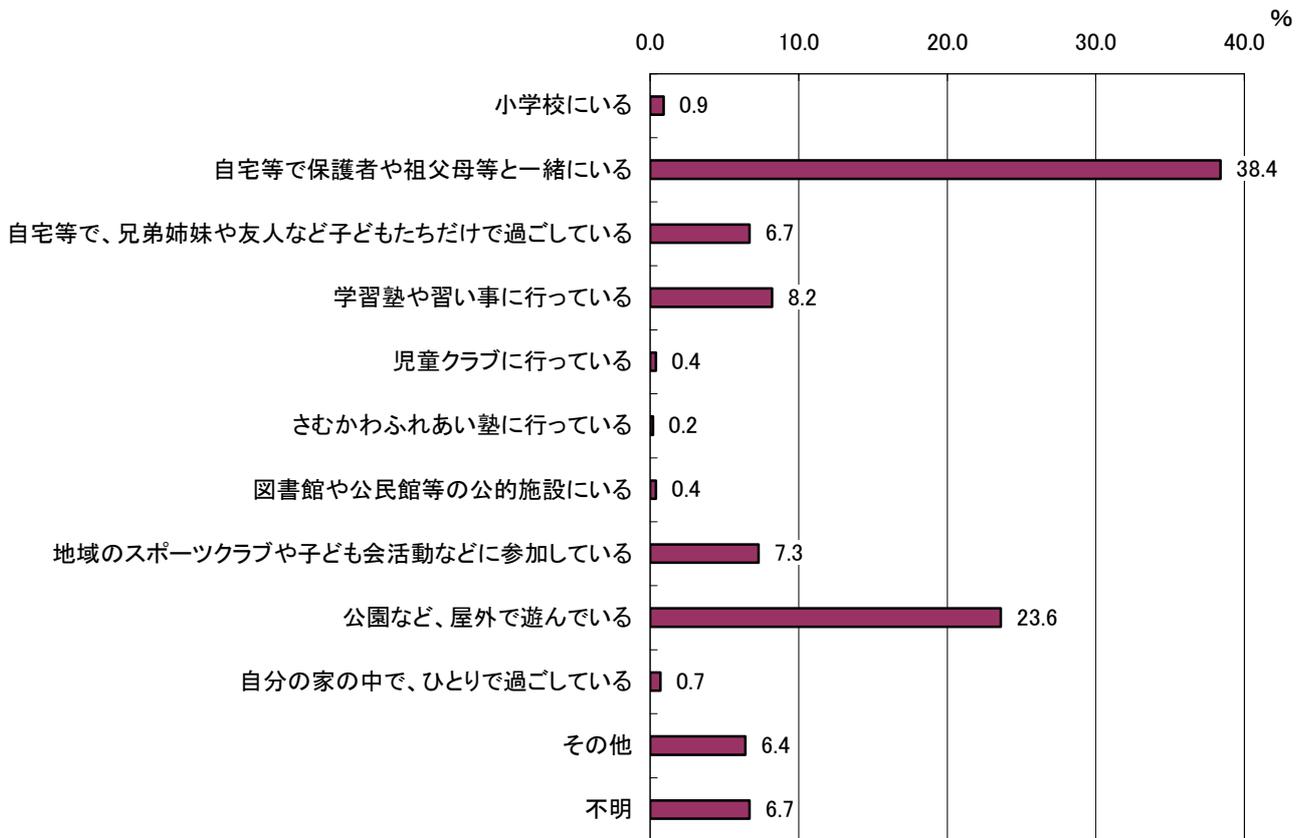
土曜／朝起きてから昼食まで(総数450)



問 19-② 土曜／昼食後、夕食まで(単回答)

	人数	割合 (%)
小学校にいる	4	0.9
自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる	173	38.4
自宅等で、兄弟姉妹や友人など子どもたちだけで過ごしている	30	6.7
学習塾や習い事に行っている	37	8.2
児童クラブに行っている	2	0.4
さむかわふれあい塾に行っている	1	0.2
図書館や公民館等の公的施設にいる	2	0.4
地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している	33	7.3
公園など、屋外で遊んでいる	106	23.6
自分の家の中で、ひとりで過ごしている	3	0.7
その他	29	6.4
不明	30	6.7
合計	450	100.0

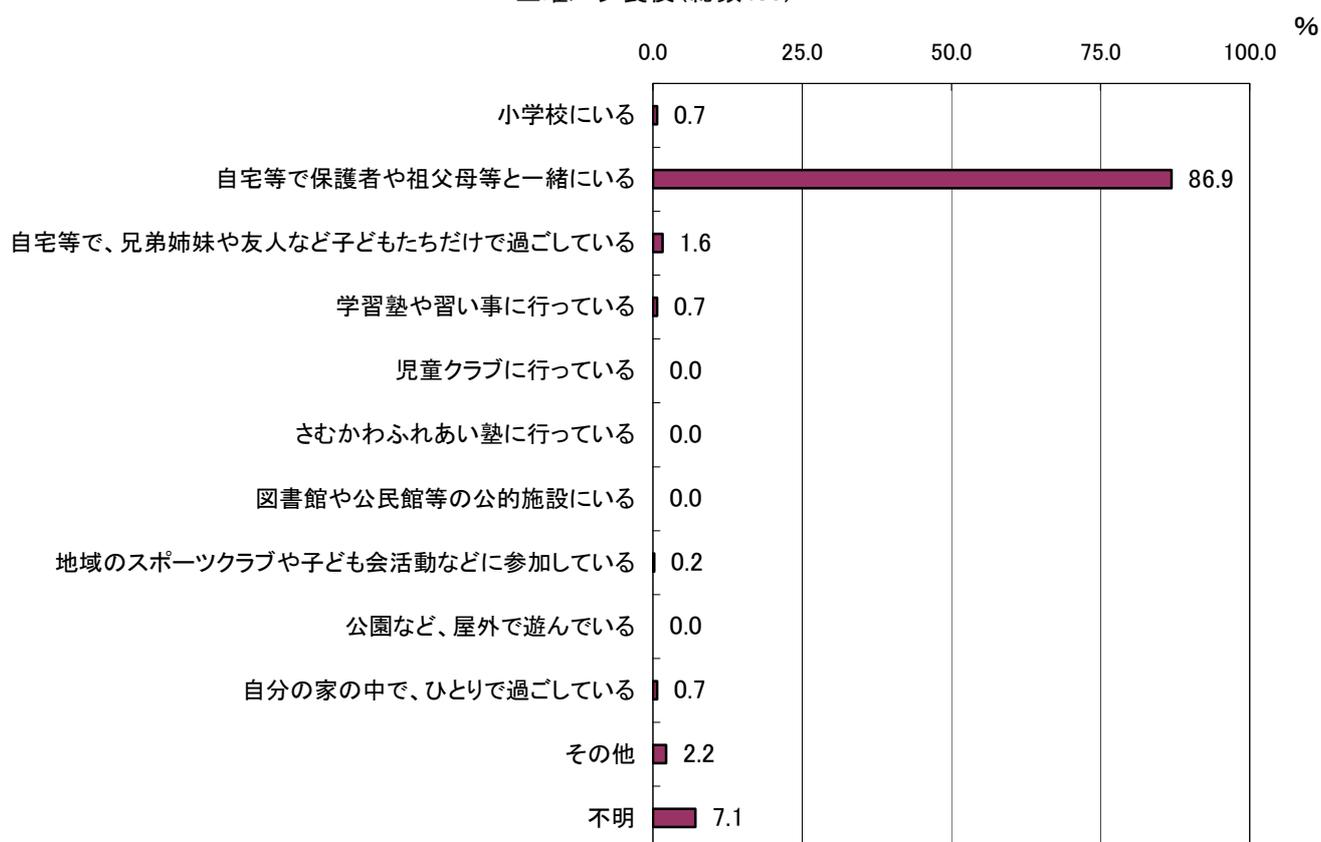
土曜／昼食後、夕食まで(総数450)



問 19-③ 土曜／夕食後(単回答)

	人数	割合 (%)
小学校にいる	3	0.7
自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる	391	86.9
自宅等で、兄弟姉妹や友人など子どもたちだけで過ごしている	7	1.6
学習塾や習い事に行っている	3	0.7
児童クラブに行っている	0	0.0
さむかわふれあい塾に行っている	0	0.0
図書館や公民館等の公的施設にいる	0	0.0
地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している	1	0.2
公園など、屋外で遊んでいる	0	0.0
自分の家の中で、ひとりで過ごしている	3	0.7
その他	10	2.2
不明	32	7.1
合計	450	100.0

土曜／夕食後(総数450)

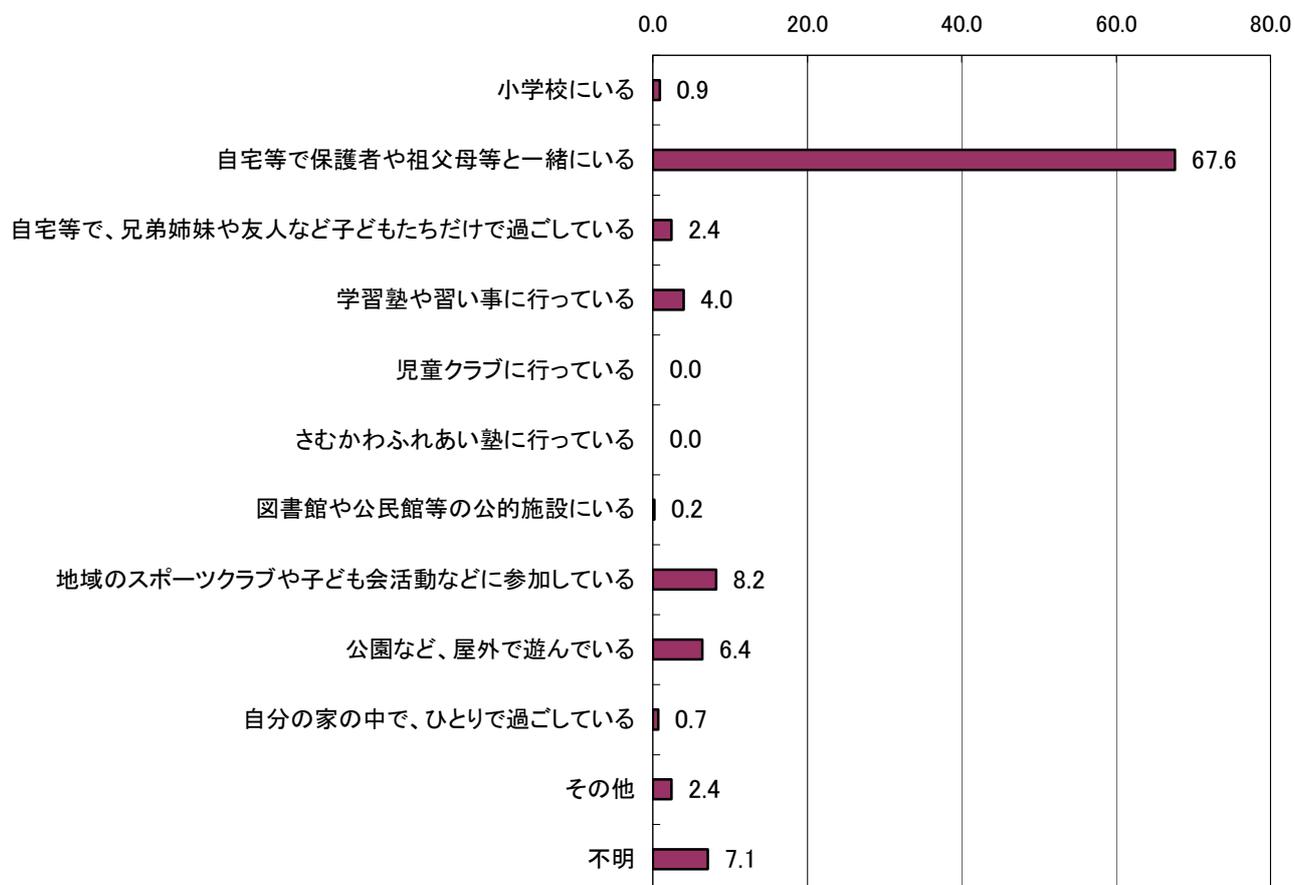


問 19-④ 休日／朝起きてから昼食まで(単回答)

	人数	割合 (%)
小学校にいる	4	0.9
自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる	304	67.6
自宅等で、兄弟姉妹や友人など子どもたちだけで過ごしている	11	2.4
学習塾や習い事に行っている	18	4.0
児童クラブに行っている	0	0.0
さむかわふれあい塾に行っている	0	0.0
図書館や公民館等の公的施設にいる	1	0.2
地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している	37	8.2
公園など、屋外で遊んでいる	29	6.4
自分の家の中で、ひとりで過ごしている	3	0.7
その他	11	2.4
不明	32	7.1
合計	450	100.0

休日／朝起きてから昼食まで(総数450)

%

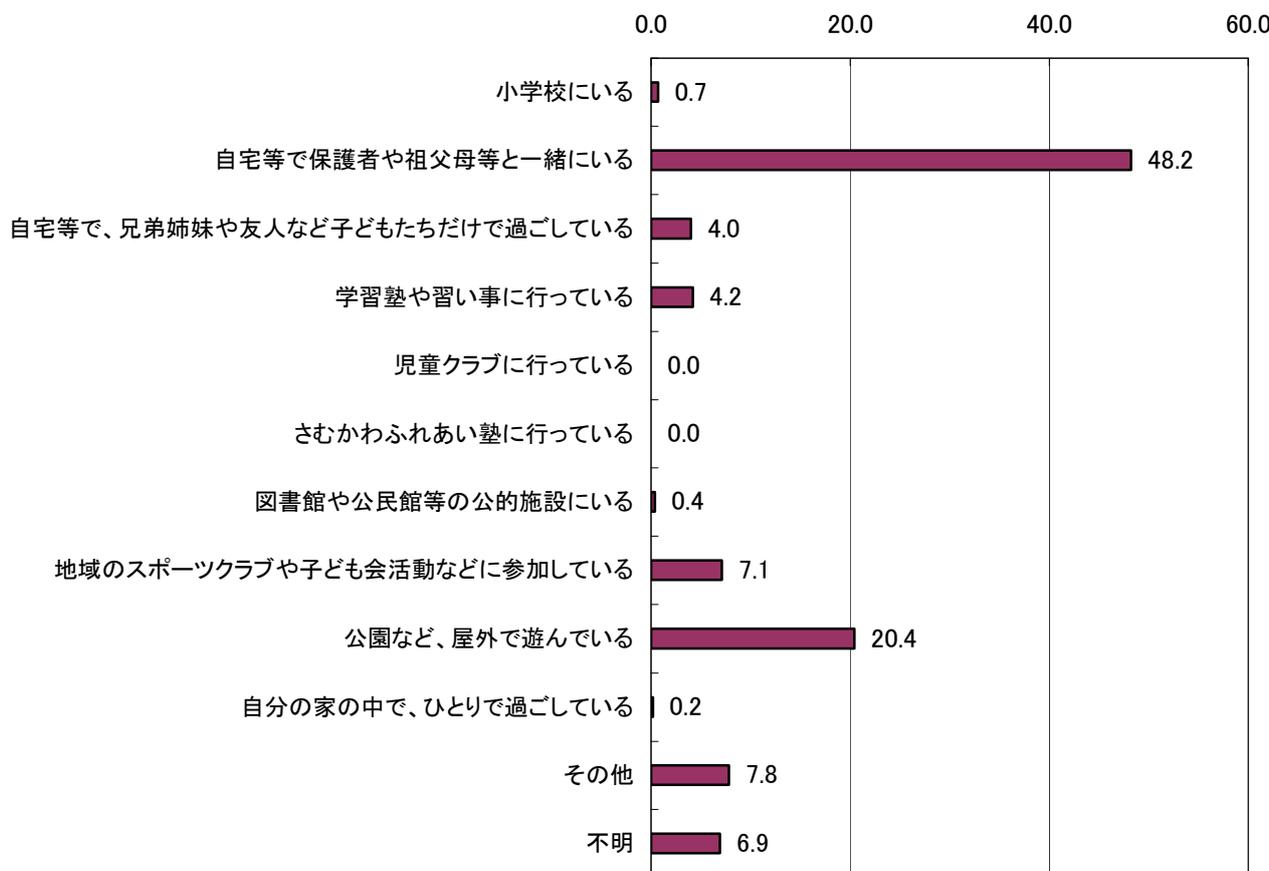


問 19-⑤ 休日／昼食後、夕食まで(単回答)

	人数	割合 (%)
小学校にいる	3	0.7
自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる	217	48.2
自宅等で、兄弟姉妹や友人など子どもたちだけで過ごしている	18	4.0
学習塾や習い事に行っている	19	4.2
児童クラブに行っている	0	0.0
さむかわふれあい塾に行っている	0	0.0
図書館や公民館等の公的施設にいる	2	0.4
地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している	32	7.1
公園など、屋外で遊んでいる	92	20.4
自分の家の中で、ひとりで過ごしている	1	0.2
その他	35	7.8
不明	31	6.9
合計	450	100.0

休日／昼食後、夕食まで(総数450)

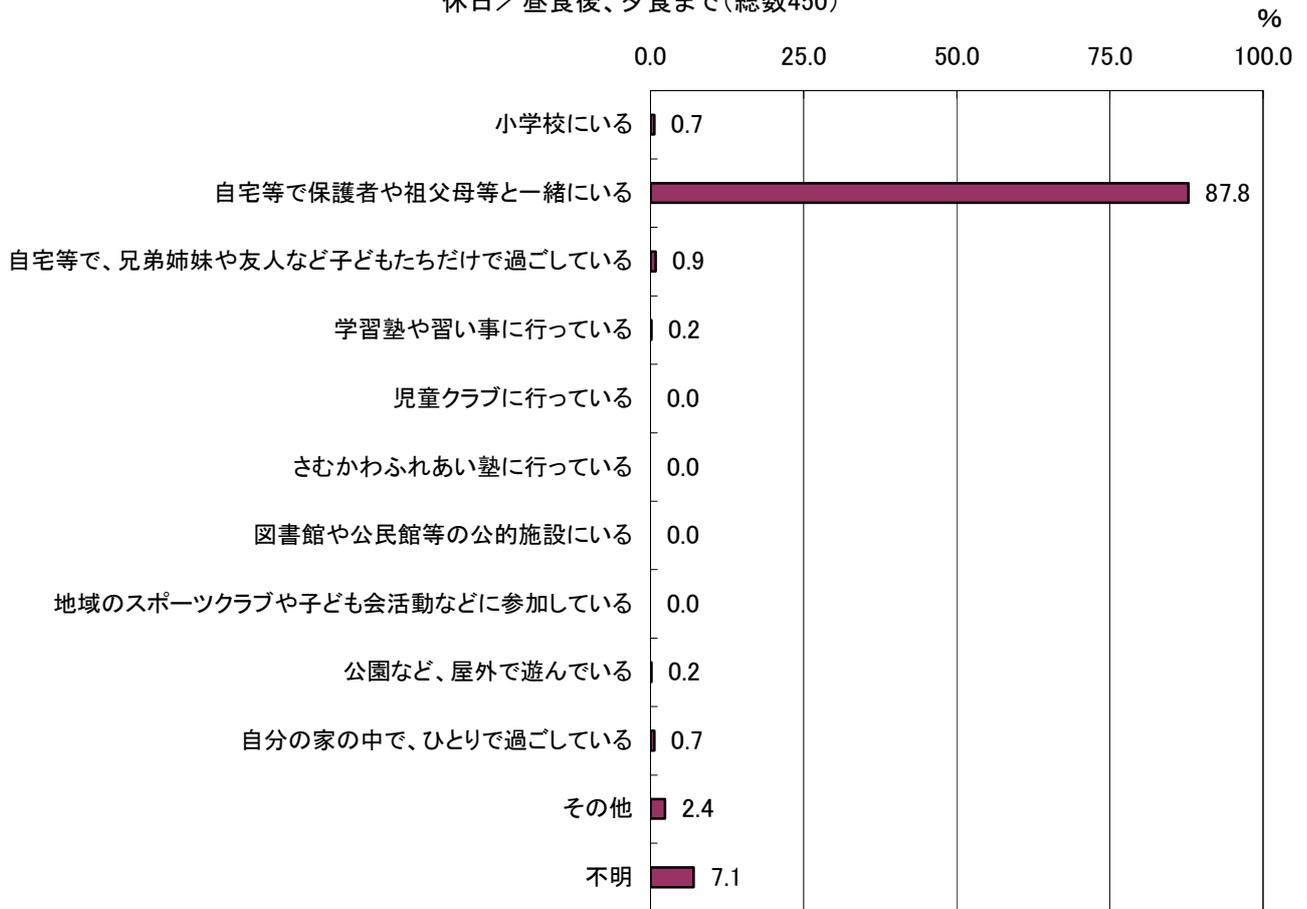
%



問 19-⑥ 休日／夕食後(単回答)

	人数	割合 (%)
小学校にいる	3	0.7
自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる	395	87.8
自宅等で、兄弟姉妹や友人など子どもたちだけで過ごしている	4	0.9
学習塾や習い事に行っている	1	0.2
児童クラブに行っている	0	0.0
さむかわふれあい塾に行っている	0	0.0
図書館や公民館等の公的施設にいる	0	0.0
地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している	0	0.0
公園など、屋外で遊んでいる	1	0.2
自分の家の中で、ひとりで過ごしている	3	0.7
その他	11	2.4
不明	32	7.1
合計	450	100.0

休日／昼食後、夕食まで(総数450)



(20) 児童クラブや各種育児支援サービスの利用について

児童クラブの利用率は約7%で、週5日の利用が多くなっています。なお、土日の利用は約16%となっています。

サービス利用の理由は、就労のためが約66%と最も多くなっています。なお、利用しない理由としては、保護者や祖父母が昼間家にいるので必要ないというものが約65%で最も多く、短時間なら子どもだけで大丈夫という考えの人も約10%で少なくありません。

児童クラブの今後の利用意向は約10%で、現状の利用率をわずかに上回っており、週2～3日の利用といった利用の仕方、土日の利用（約42%の希望率）を中心に、サービス利用の潜在的なニーズがあることがわかります。

今後、児童クラブを利用したい理由としては、子どもの世話をする人が現在就労しているためが約37%、就労予定が約26%となり、就労に関する理由があわせて約63%となっています。

地域の協力のもと、勉強やスポーツ活動等を行うなど、安全・安心な子どもの居場所を提供する「さむかわ ふれあい塾」については、約60%という高い利用希望があり、週1～2日程度の利用を望む人が多くなっています。

小学4年生以降の放課後の過ごし方の希望については、クラブ活動や習い事が約42%で最も多く、「さむかわ ふれあい塾」の利用が約20%で、児童クラブの利用希望は約3%

と少なくなっています。また、サービスを利用する気がない人も約21%と少なくありません。

この一年間に子どもの病気やけがで学校を休んだことについては、約57%の人が経験ありとしており、対処方法として、母親が仕事を休んだ例が87例で最も多く、就労していない保護者が面倒をみた例が90例、同居者を含む家族や親族に預けた例が41例、子どもだけで留守番させた例が23例、父親が仕事を休んだ例が9例、その他が7例などで、病児・病後時保育、ベビーシッター、ファミリーサポートセンターなどを利用した例はみられません。いずれの対処方法についても、1～2日程度が多くなっています。

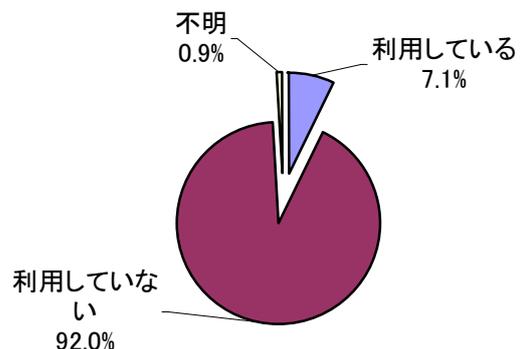
なお、ベビーシッターの利用経験は1%で、祖父母や近所の人など預かってもらう人がいない時や緊急時の利用で、3～4時間程度預かってもらうというもので、月4日利用したという例もあります。

ファミリーサポートセンターの利用経験は約1%で、子どもを預かってもらえないからというような理由ではなく、その他の目的（子どもの教育等）のために、1時間程度、月1日や8日（平均週2日）利用する例がみられます。ファミリーサポートセンターを利用しない理由としては、必要性がないという意見が約64%を占めています。総じて、ファミリーサポートセンターを子どもを預ける保育サービスという見方をしていない人が多いことがわかります。

問 20-1 児童クラブの利用度(単回答)

	人数	割合(%)
利用している	32	7.1
利用していない	414	92.0
不明	4	0.9
合計	450	100.0

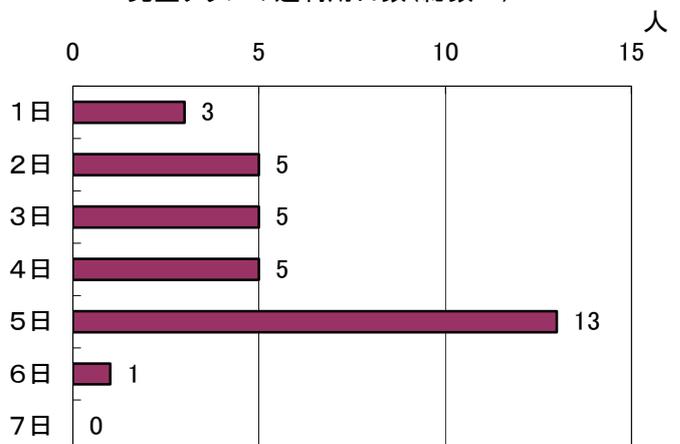
児童クラブの利用度(総数450)



問 20-2 児童クラブの週利用日数

	人数	割合(%)
1日	3	9.4
2日	5	15.6
3日	5	15.6
4日	5	15.6
5日	13	40.6
6日	1	3.1
7日	0	0.0
合計	32	100.0

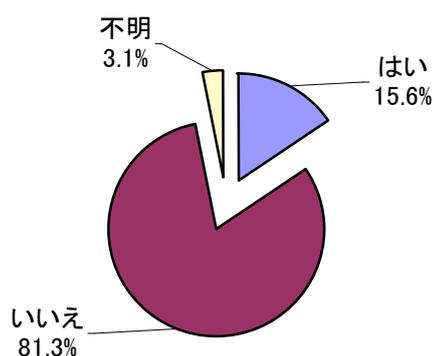
児童クラブの週利用日数(総数32)



問 20-2-② 児童クラブの土日の利用

	人数	割合(%)
はい	5	15.6
いいえ	26	81.3
不明	1	3.1
合計	32	100.0

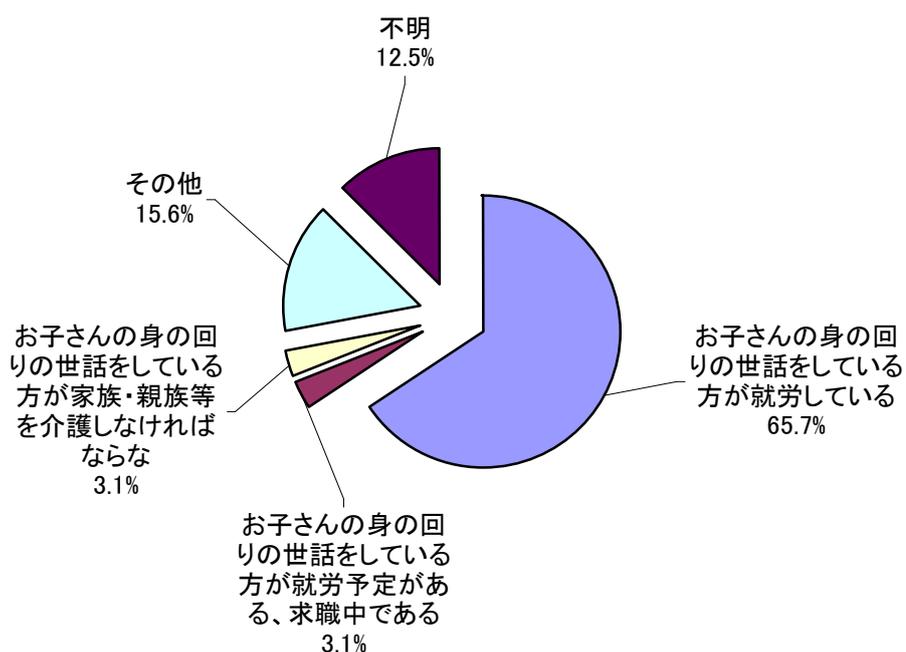
児童クラブの土日の利用(総数32)



問 20-2-③ 児童クラブ利用の理由(単回答)

	人数	割合(%)
お子さんの身の回りの世話をしている方が就労している	21	65.6
お子さんの身の回りの世話をしている方が就労予定がある、求職中である	1	3.1
お子さんの身の回りの世話をしている方が家族・親族等を介護しなければならない	1	3.1
お子さんの身の回りの世話をしている方が病気や障害をもっている	0	0.0
お子さんの身の回りの世話をしている方が学生である	0	0.0
あて名のお子さんの兄弟姉妹の都合(病気等や学校行事など)のため	0	0.0
その他	5	15.6
不明	4	12.5
合計	32	100.0

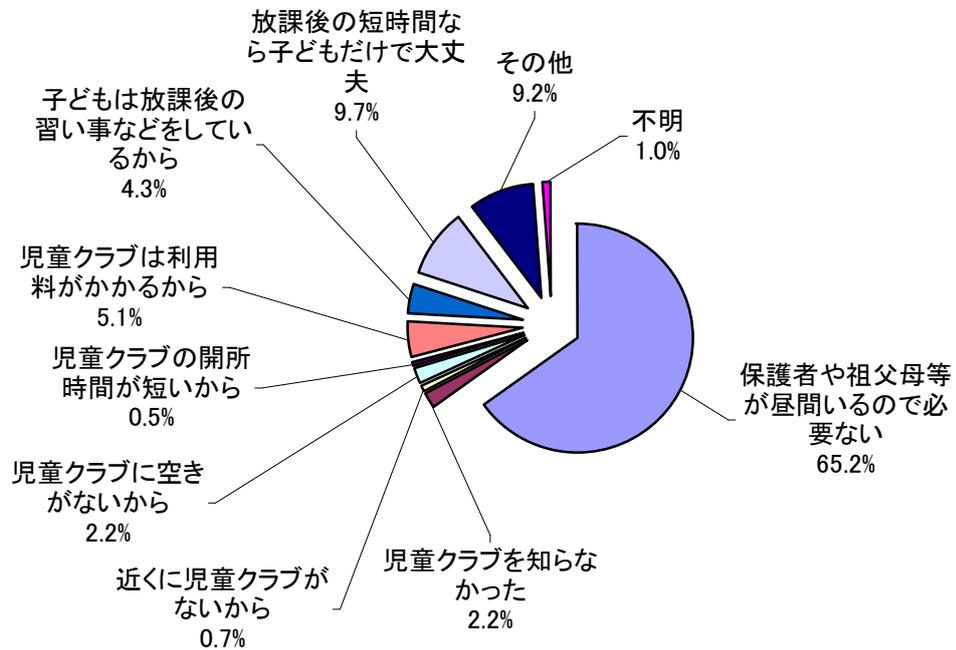
児童クラブ利用の理由(総数32)



問 20-3 児童クラブを利用しない理由(単回答)

	人数	割合(%)
保護者や祖父母等が昼間いるので必要ない	270	65.2
児童クラブを知らなかった	9	2.2
近くに児童クラブがないから	3	0.7
児童クラブに空きがないから	9	2.2
児童クラブの開所時間が短いから	2	0.5
児童クラブは利用料がかかるから	21	5.1
子どもは放課後の習い事などをしているから	18	4.3
放課後の短時間なら子どもだけで大丈夫	40	9.7
他の施設に預けているから	0	0.0
その他	38	9.2
不明	4	1.0
合計	414	100.0

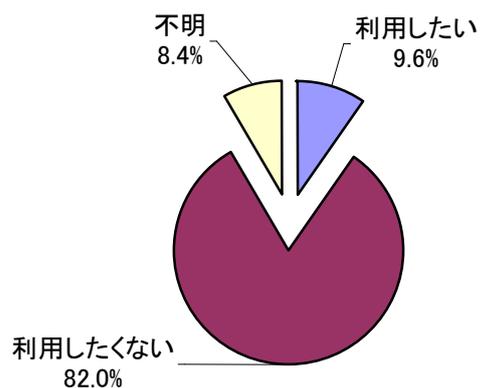
児童クラブを利用しない理由(総数141)



問 20-3-② 児童クラブの今後の利用意向(単回答)

	人数	割合(%)
利用したい	43	9.6
利用したくない	369	82.0
不明	38	8.4
合計	450	100.0

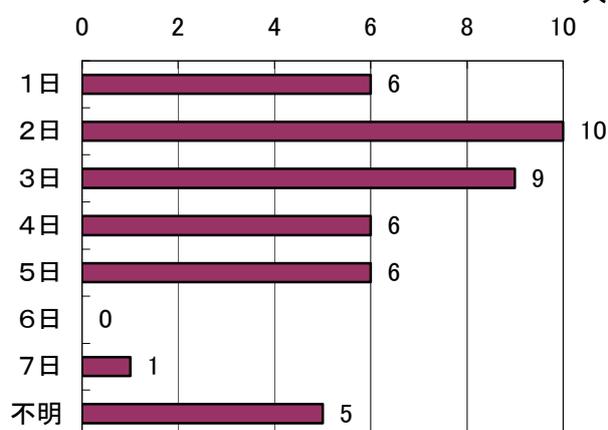
児童クラブの今後の利用意向(総数450)



問 20-3-③ 児童クラブ利用希望週あたり日数

	人数	割合(%)
1日	6	14.0
2日	10	23.3
3日	9	20.9
4日	6	14.0
5日	6	14.0
6日	0	0.0
7日	1	2.3
不明	5	11.6
合計	43	100.0

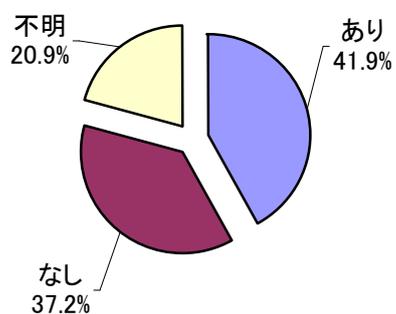
児童クラブ利用希望週あたり日数(総数43) 人



問 20-3-④ 土・日の利用希望(単回答)

	人数	割合(%)
あり	18	41.9
なし	16	37.2
不明	9	20.9
合計	43	100.0

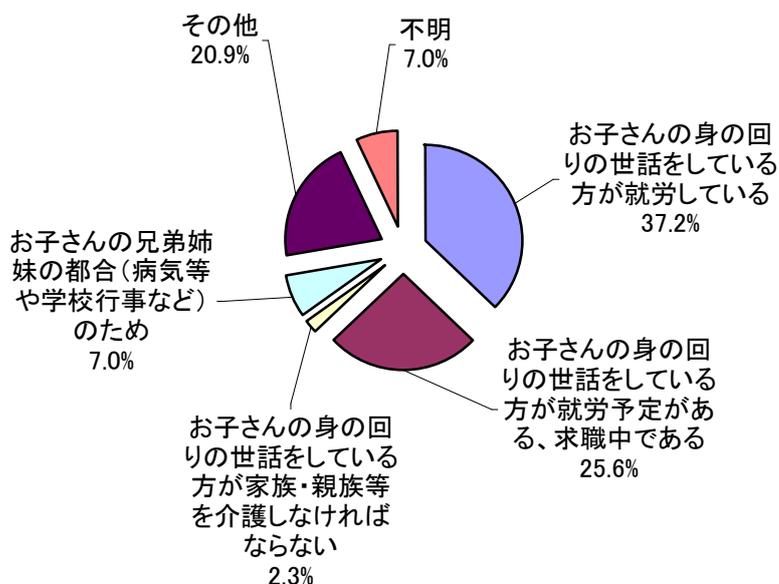
土・日の利用希望(総数43)



問 20-3-⑤ 今後、児童クラブを利用したい理由(単回答)

	人数	割合(%)
お子さんの身の回りの世話をしている方が就労している	16	37.2
お子さんの身の回りの世話をしている方が就労予定がある、求職中である	11	25.6
お子さんの身の回りの世話をしている方が家族・親族等を介護しなければならない	1	2.3
お子さんの身の回りの世話をしている方が病気や障害をもっている	0	0.0
お子さんの身の回りの世話をしている方が学生である	0	0.0
お子さんの兄弟姉妹の都合(病気等や学校行事など)のため	3	7.0
その他	9	20.9
不明	3	7.0
合計	43	100.0

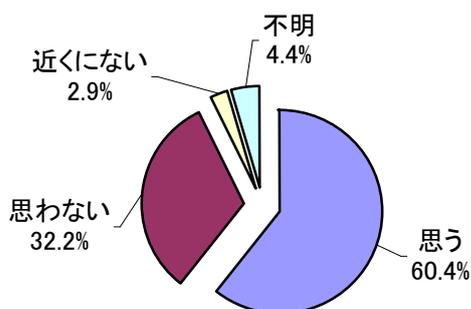
今後、児童クラブを利用したい理由(総数43)



問 20-4 さむかわふれあい塾を利用したいか(単回答)

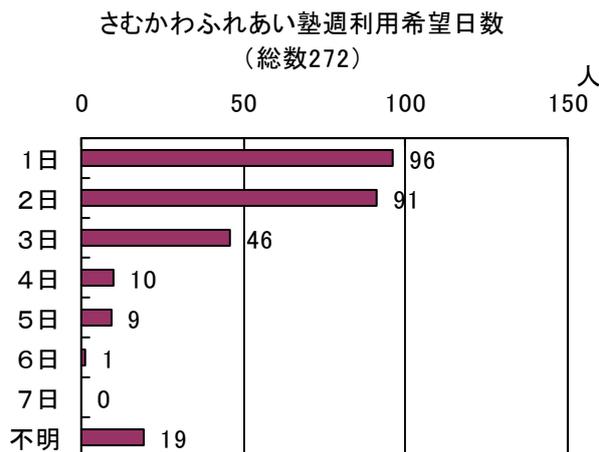
	人数	割合(%)
思う	272	60.4
思わない	145	32.2
近くにない	13	2.9
不明	20	4.4
合計	450	100.0

さむかわふれあい塾を利用したいか(総数450)



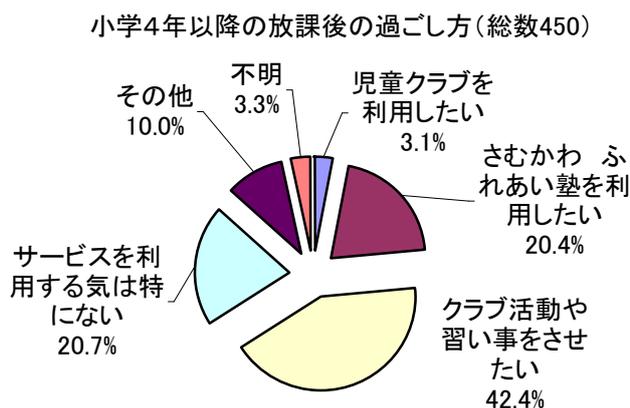
問 20-4-② さむかわふれあい塾週利用希望日数

	人数	割合(%)
1日	96	35.3
2日	91	33.5
3日	46	16.9
4日	10	3.7
5日	9	3.3
6日	1	0.4
7日	0	0.0
不明	19	7.0
合計	272	100.0



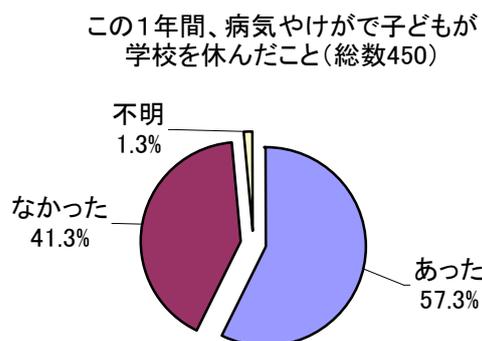
問 20-5 小学4年以降の放課後の過ごし方(単回答)

	人数	割合(%)
児童クラブを利用したい	14	3.1
さむかわふれあい塾を利用したい	92	20.4
クラブ活動や習い事をさせたい	191	42.4
サービスを利用する気は特にない	93	20.7
その他	45	10.0
不明	15	3.3
合計	450	100.0



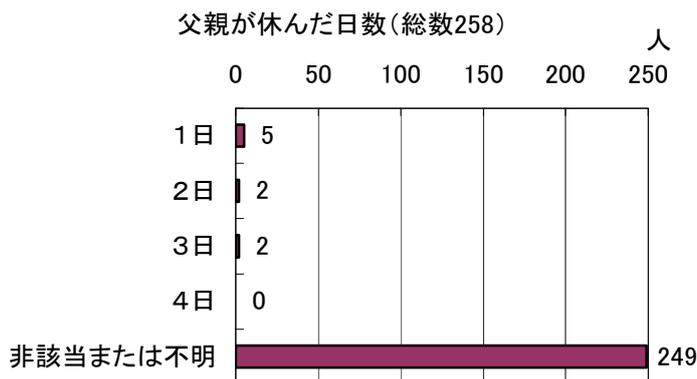
問 20-6 この1年間、病気やけがで子どもが学校を休んだこと(単回答)

	人数	割合(%)
あった	258	57.3
なかった	186	41.3
不明	6	1.3
合計	450	100.0



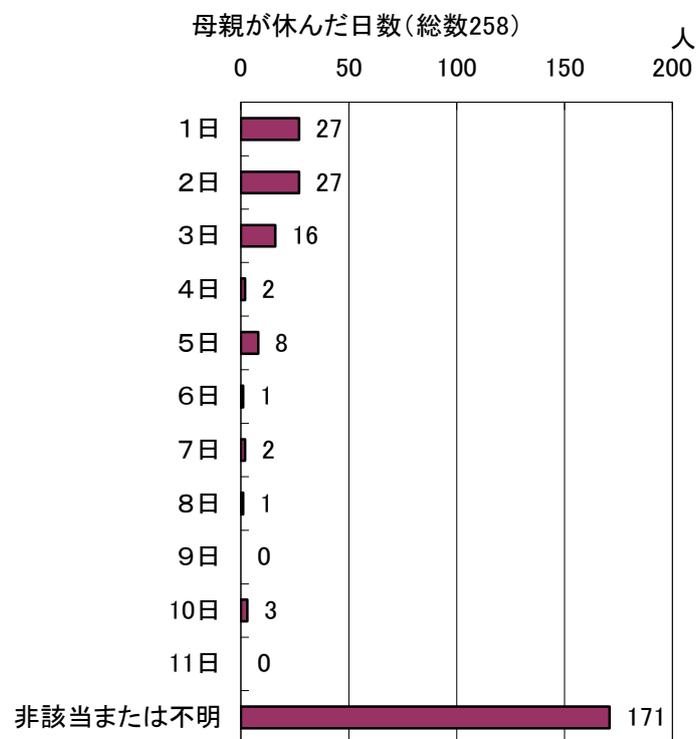
問 20-6-① 父親が休んだ日数

	人数	割合(%)
1日	5	1.9
2日	2	0.8
3日	2	0.8
4日	0	0.0
非該当または不明	249	96.5
合計	258	100.0



問 20-6-② 母親が休んだ日数

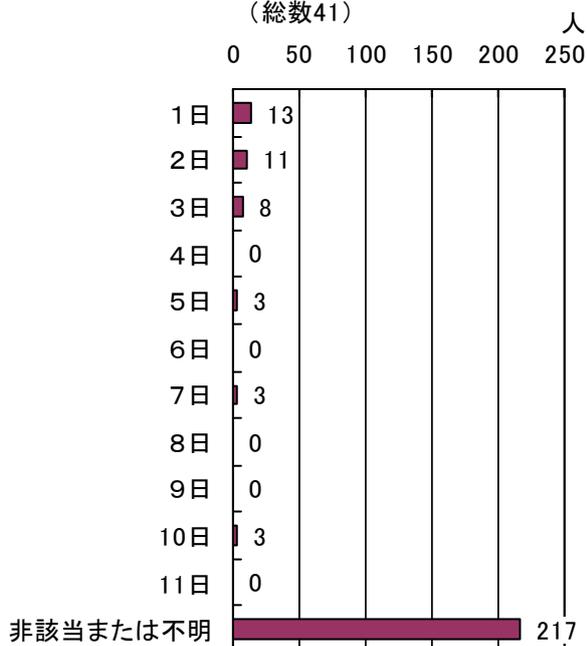
	人数	割合(%)
1日	27	10.5
2日	27	10.5
3日	16	6.2
4日	2	0.8
5日	8	3.1
6日	1	0.4
7日	2	0.8
8日	1	0.4
9日	0	0.0
10日	3	1.2
11日	0	0.0
非該当または不明	171	66.3
合計	258	100.0



問 20-6-③ 同居者を含む親族・家族に
預けた日数

	人数	割合(%)
1日	13	5.0
2日	11	4.3
3日	8	3.1
4日	0	0.0
5日	3	1.2
6日	0	0.0
7日	3	1.2
8日	0	0.0
9日	0	0.0
10日	3	1.2
11日	0	0.0
非該当または不明	217	84.1
合計	258	100.0

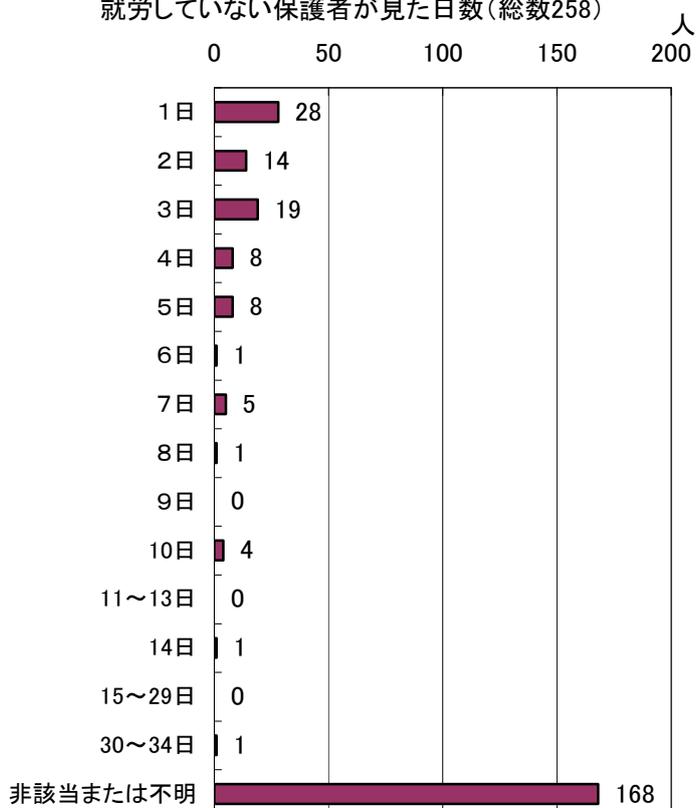
同居者を含む親族・家族に預けた日数
(総数41)



問 20-6-④ 就労していない保護者が見
た日数

	人数	割合(%)
1日	28	10.9
2日	14	5.4
3日	19	7.4
4日	8	3.1
5日	8	3.1
6日	1	0.4
7日	5	1.9
8日	1	0.4
9日	0	0.0
10日	4	1.6
11~13日	0	0.0
14日	1	0.4
15~29日	0	0.0
30~34日	1	0.4
非該当または不明	168	65.1
合計	258	100.0

就労していない保護者が見た日数(総数258)



問 20-6-⑤ 病児・病後児の保育サービスを利用した日数

	人数	割合(%)
1日以上	0	0.0
非該当または不明	258	100.0
合計	258	100.0

問 20-6-⑥ ベビーシッターを頼んだ日数

	人数	割合(%)
1日以上	0	0.0
非該当または不明	258	100.0
合計	258	100.0

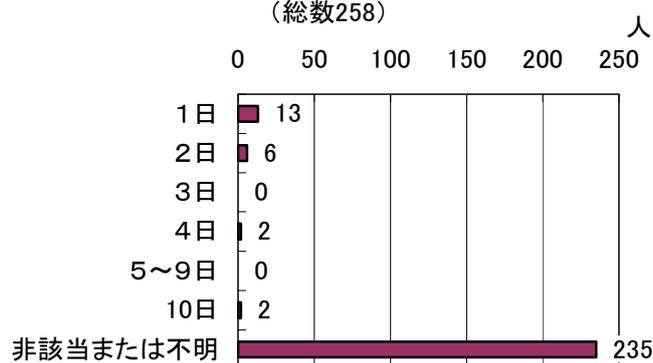
問 20-6-⑦ ファミリーサポートセンターに頼んだ日数

	人数	割合(%)
1日以上	0	0.0
非該当または不明	258	100.0
合計	258	100.0

問 20-6-⑧ 仕方なく子どもだけで留守番させた日数

	人数	割合(%)
1日	13	5.0
2日	6	2.3
3日	0	0.0
4日	2	0.8
5~9日	0	0.0
10日	2	0.8
非該当または不明	235	91.1
合計	258	100.0

仕方なく子どもだけで留守番させた日数
(総数258)



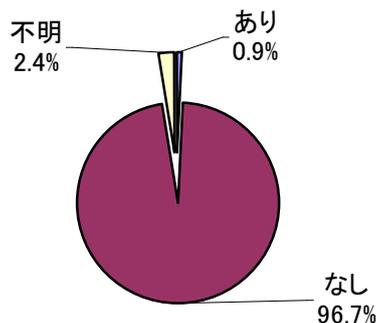
問 20-6-⑨ その他の日数

	人数	割合(%)
1日	3	1.2
2日	2	0.8
3日	1	0.4
4~8日	0	0.0
9日	1	0.4
10日	0	0.0
非該当または不明	251	97.3
合計	258	100.0

問 20-7 ベビーシッター利用の有無(単
回答)

	人数	割合(%)
あり	4	0.9
なし	435	96.7
不明	11	2.4
合計	450	100.0

ベビーシッター利用の有無(総数450)



問 20-7-② ベビーシッター月利用日数

	人数	割合(%)
1日	1	25.0
2日	0	0.0
3日	0	0.0
4日	1	25.0
5日	0	0.0
不明	2	50.0
合計	4	100.0

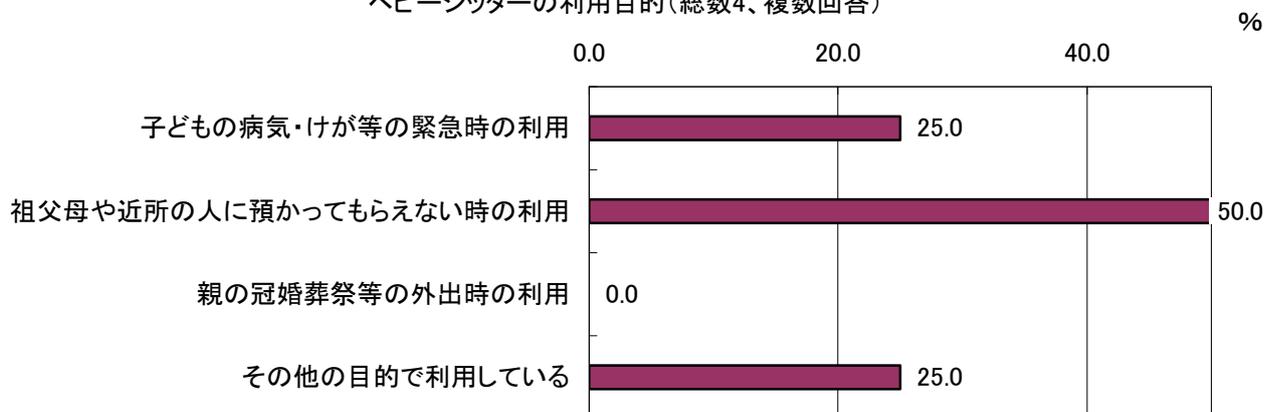
問 20-7-③ ベビーシッター1回当たり利
用時間

	人数	割合(%)
1時間	0	0.0
2時間	0	0.0
3時間	1	25.0
4時間	1	25.0
5時間	0	0.0
6時間	1	25.0
不明	1	25.0
合計	4	100.0

問 20-7-④ ベビーシッターの利用目的(複数回答)

	人数	割合(%)
子どもの病気・けが等の緊急時の利用	1	25.0
祖父母や近所の人に預かってもらえない時の利用	2	50.0
親の冠婚葬祭等の外出時の利用	0	0.0
その他の目的で利用している	1	25.0
合計	4	100.0

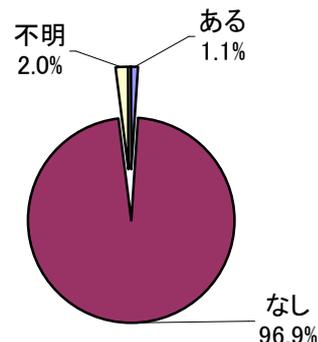
ベビーシッターの利用目的(総数4、複数回答)



問 20-8 ファミリーサポートセンター利用の有無(単回答)

	人数	割合(%)
ある	5	1.1
なし	436	96.9
不明	9	2.0
合計	450	100.0

ファミリーサポートセンター利用の有無(総数450)



問 20-8-② ファミリーサポートセンター月利用日数

	人数	割合(%)
1日	2	40.0
2~7日	0	0.0
8日	2	40.0
9日	0	0.0
不明	1	20.0
合計	5	100.0

問 20-8-③ ファミリーサポートセンター1回当たり利用時間

	人数	割合(%)
1時間	2	40.0
2時間	1	20.0
3時間	0	0.0
4時間	1	20.0
5時間	0	0.0
不明	1	20.0
合計	5	100.0

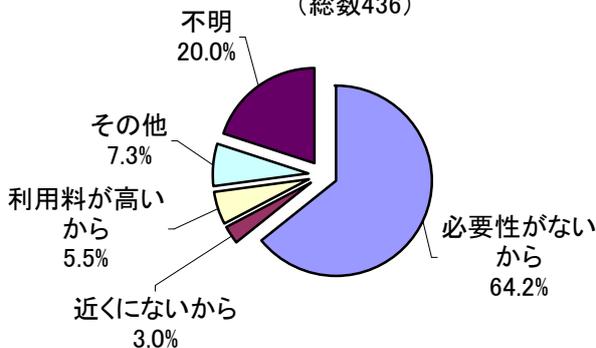
問 20-8-④ ファミリーサポートセンターの利用目的(複数回答)

	人数	割合(%)
子どもの病気・けが等の緊急時の利用	0	0.0
祖父母や近所の人に預かってもらえない時の利用	0	0.0
親の冠婚葬祭等の外出時の利用	0	0.0
その他の目的で利用している	5	100.0
合計	5	100.0

問 20-8-⑤ ファミリーサポートセンターを利用していない理由(単回答)

	人数	割合(%)
必要性がないから	280	64.2
近くにないから	13	3.0
利用料が高いから	24	5.5
その他	32	7.3
不明	87	20.0
合計	436	100.0

ファミリーサポートセンターを利用していない理由(総数436)



(21) 子どもの安全確保のために重要なこと

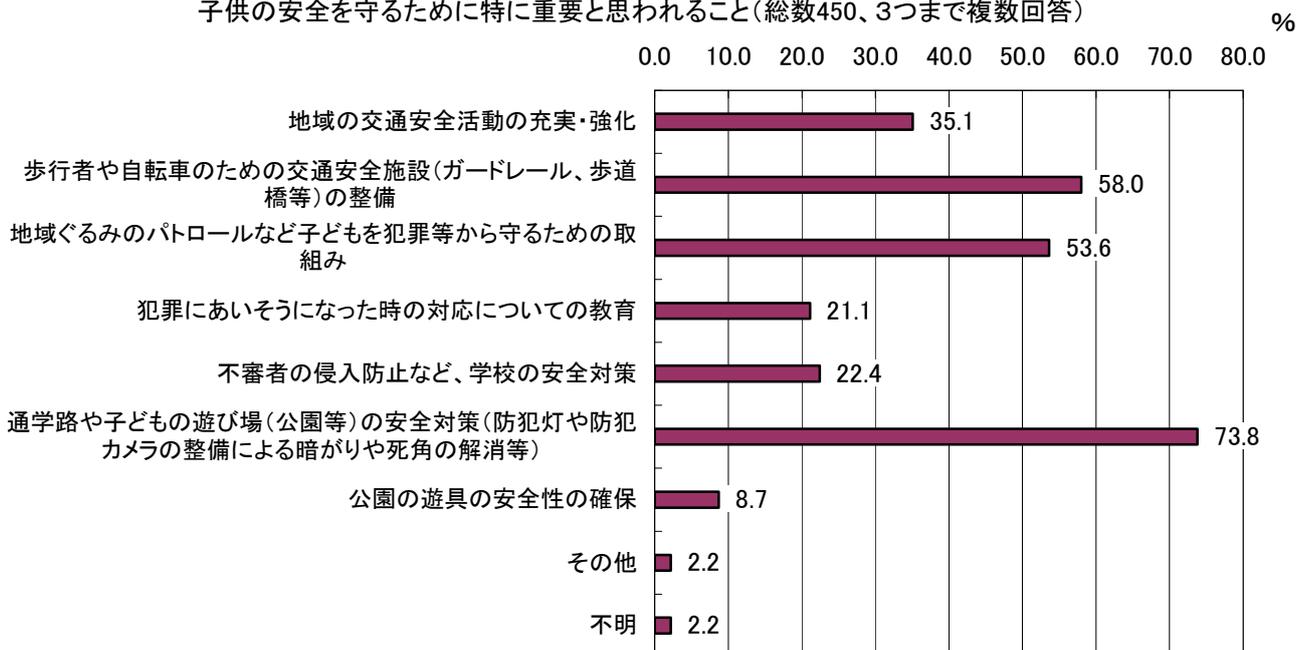
全国的にも子どもの安全に対する関心が高まるなか、安全確保のために重要だと思われることについて、通学路や遊び場の安全対策に対する要望が約74%と多くなっています。このほか、歩道など施設面での交通安全対策、地域ぐるみパトロールなど犯罪から守るための仕組みなどに対する取り組みの重要性を指摘しています。

また、子どもが犯罪被害にあった経験については、約1%の被害率となっており、未遂も含めると6%（28例）にもなることから、子どもの犯罪被害が決して人ごとではないという意識をもっていることが推測されます。

問 21-1 子供の安全を守るために特に重要と思われること(3つまで複数回答)

	人数	割合(%)
地域の交通安全活動の充実・強化	158	35.1
歩行者や自転車のための交通安全施設(ガードレール、歩道橋等)の整備	261	58.0
地域ぐるみのパトロールなど子どもを犯罪等から守るための取り組み	241	53.6
犯罪にあいそようになった時の対応についての教育	95	21.1
不審者の侵入防止など、学校の安全対策	101	22.4
通学路や子どもの遊び場(公園等)の安全対策(防犯灯や防犯カメラの整備による暗がりや死角の解消等)	332	73.8
公園の遊具の安全性の確保	39	8.7
その他	10	2.2
不明	10	2.2
合計	450	100.0

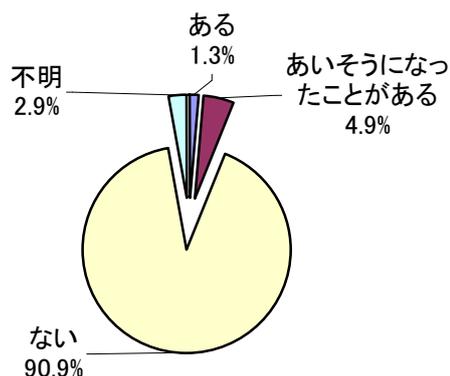
子供の安全を守るために特に重要と思われること(総数450、3つまで複数回答)



問 21-2 お子さんが犯罪の被害にあったこと(単回答)

	人数	割合(%)
ある	6	1.3
あいそうになったことがある	22	4.9
ない	409	90.9
不明	13	2.9
合計	450	100.0

お子さんが犯罪の被害にあったこと(総数450)



(22) 父親の子育て参加について

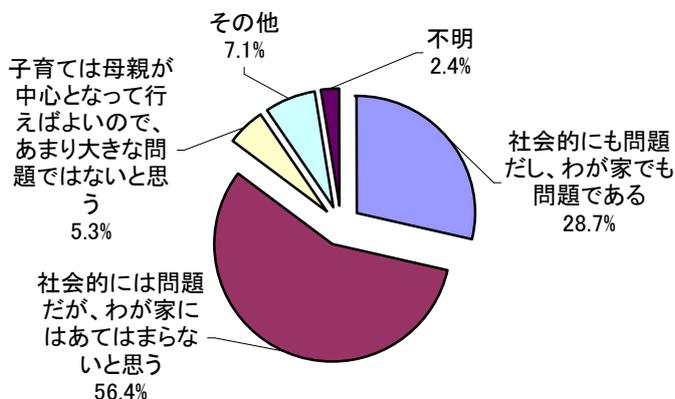
子育てにおける父親不在について、社会的には問題だが、わが家にはあてはまらないとする人が約56%となっていますが、社会的にも問題だし、わが家でも問題であるとする人も約29%と少なくない状況です。ただ、わが家でも問題であるという意識は、就学前児童の場合よりは少なくなっています。

父親が子育てに関わりづらい理由としては、仕事を優先せざるをえないという声が約77%と非常に多く、職場の理解を得にくいことも含めて、父親の仕事と子育てのバランスが大きな課題であることがわかります。このほか、父親として何をすべきかよくわからないという声も少なくなく、就学前児童の場合と同様に、父親の子育て学習が必要であるといえます。

問 22-1 子育てにおける父親不在について(単回答)

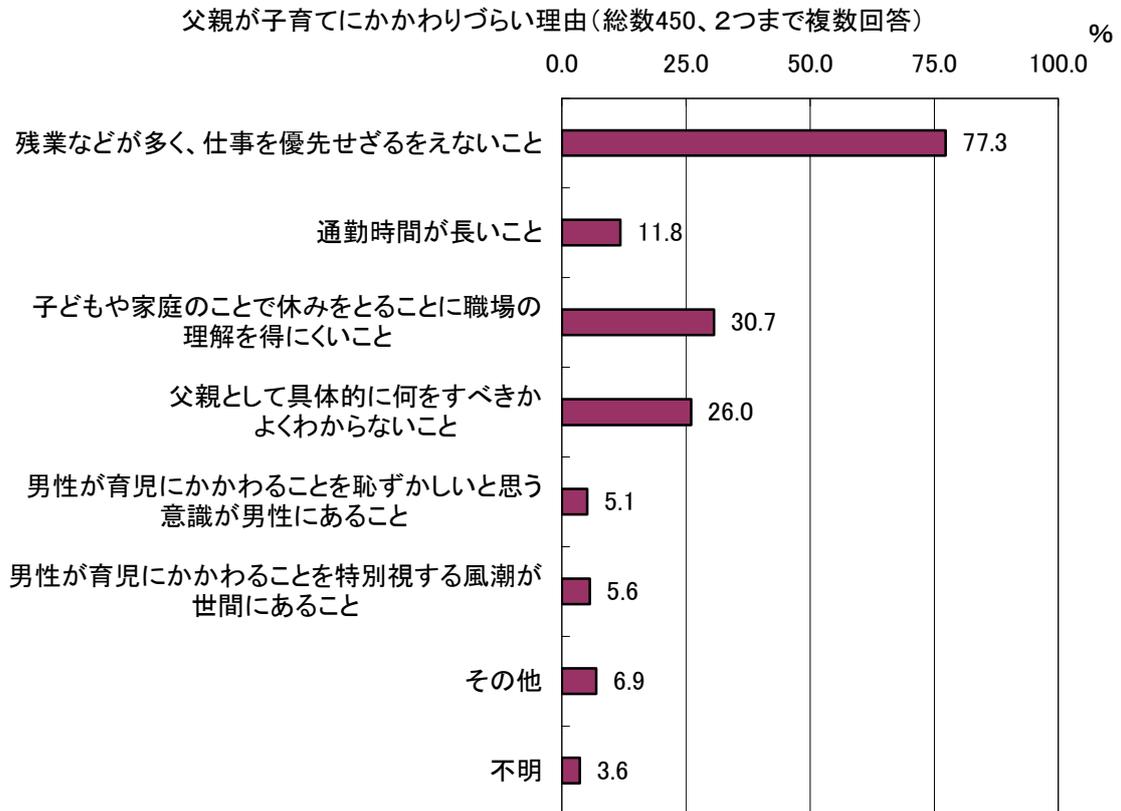
	人数	割合(%)
社会的にも問題だし、わが家でも問題である	129	28.7
社会的には問題だが、わが家にはあてはまらないと思う	254	56.4
子育ては母親が中心となればよいので、あまり大きな問題ではないと思う	24	5.3
その他	32	7.1
不明	11	2.4
合計	450	100.0

子育てにおける父親不在について(総数450)



問 22-2 父親が子育てにかかわりづらい理由(2つまで複数回答)

	人数	割合(%)
残業などが多く、仕事を優先せざるをえないこと	348	77.3
通勤時間が長いこと	53	11.8
子どもや家庭のことで休みをとることに職場の理解を得にくいこと	138	30.7
父親として具体的に何をすべきかよくわからないこと	117	26.0
男性が育児にかかわることを恥ずかしいと思う意識が男性にあること	23	5.1
男性が育児にかかわることを特別視する風潮が世間にあること	25	5.6
その他	31	6.9
不明	16	3.6
合計	450	100.0

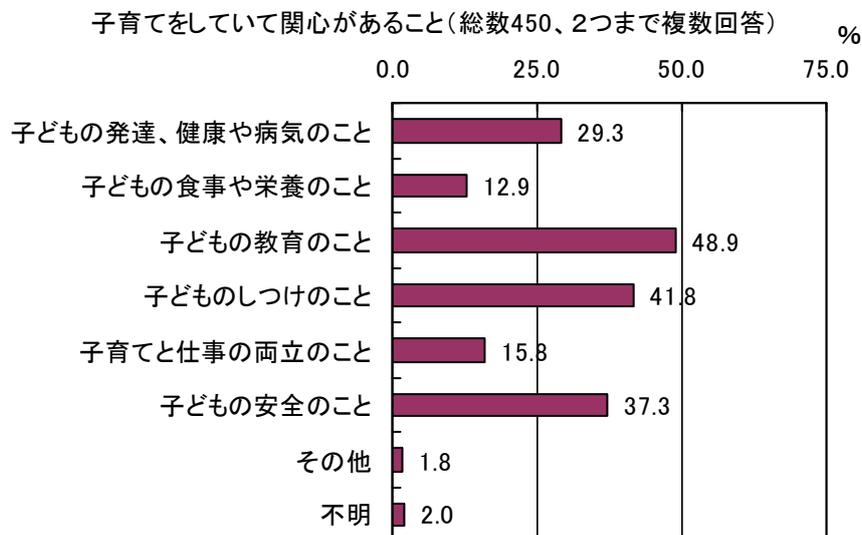


(23) 子育てをしていて関心があること

子どもの教育や子どものしつけに対する関心が高いほか、子どもの安全に対する関心が高く、子どもの発達、健康や病気については、就学前児童の場合ほど高くないといえます。

問 23 子育てをしていて関心があること(2つまで複数回答)

	人数	割合(%)
子どもの発達、健康や病気のこと	132	29.3
子どもの食事や栄養のこと	58	12.9
子どもの教育のこと	220	48.9
子どものしつけのこと	188	41.8
子育てと仕事の両立のこと	71	15.8
子どもの安全のこと	168	37.3
その他	8	1.8
不明	9	2.0
合計	450	100.0



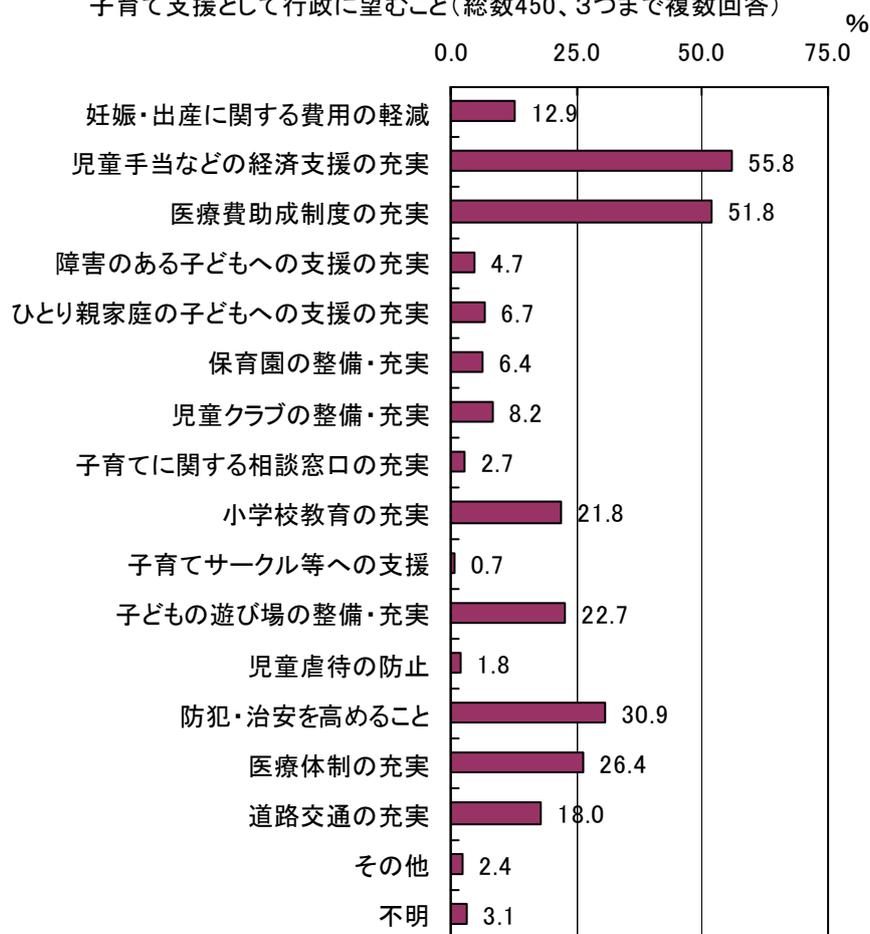
(24) 行政の子育て支援への要望

行政に望む子育て支援策については、児童手当などの経済支援の充実、医療費助成制度の充実が特に多くなっており、就学前児童の場合と同様に、経済的な支援が第一であることがわかります。

問 24 子育て支援として行政に望むこと(3つまで複数回答)

	人数	割合(%)
妊娠・出産に関する費用の軽減	58	12.9
児童手当などの経済支援の充実	251	55.8
医療費助成制度の充実	233	51.8
障害のある子どもへの支援の充実	21	4.7
ひとり親家庭の子どもへの支援の充実	30	6.7
保育園の整備・充実	29	6.4
児童クラブの整備・充実	37	8.2
子育てに関する相談窓口の充実	12	2.7
小学校教育の充実	98	21.8
子育てサークル等への支援	3	0.7
子どもの遊び場の整備・充実	102	22.7
児童虐待の防止	8	1.8
防犯・治安を高めること	139	30.9
医療体制の充実	119	26.4
道路交通の充実	81	18.0
その他	11	2.4
不明	14	3.1
合計	450	100.0

子育て支援として行政に望むこと(総数450、3つまで複数回答)

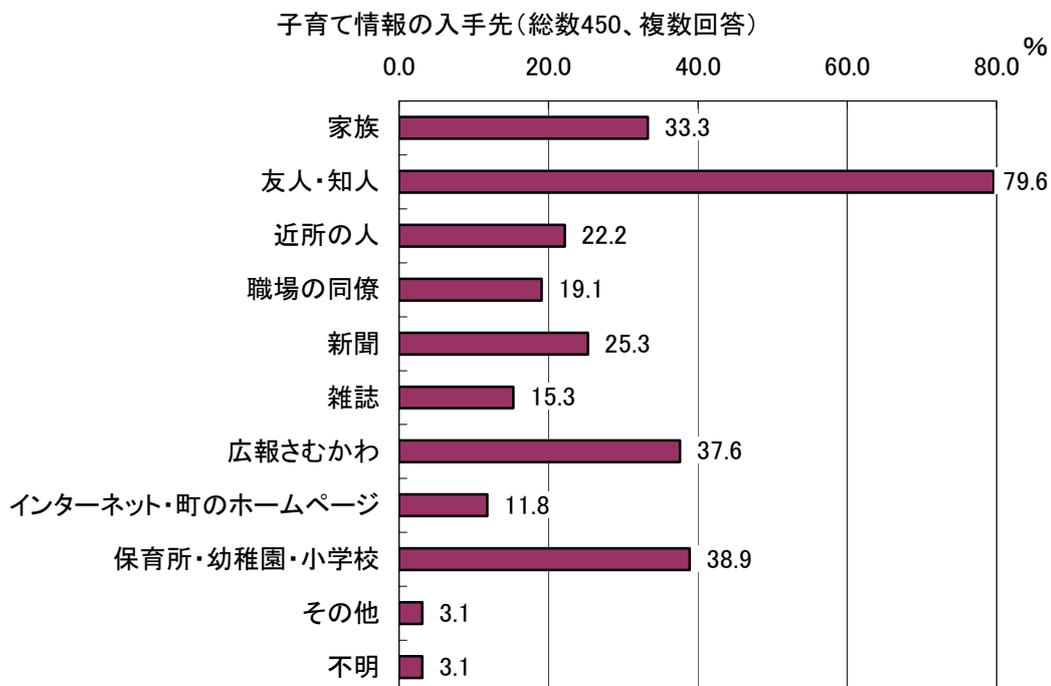


(25) 子育てに関する情報の入手先

子育て関連情報の入手先は、友人・知人が圧倒的であり口コミが重要な役割を果たしています。このほか、保育所・幼稚園・小学校、広報、家族などが主な情報源となっており、ほぼ就学前児童の場合と同様の結果となっています。

問 25 子育て情報の入手先(複数回答)

	人数	割合(%)
家族	150	33.3
友人・知人	358	79.6
近所の人	100	22.2
職場の同僚	86	19.1
新聞	114	25.3
雑誌	69	15.3
広報さむかわ	169	37.6
インターネット・町のホームページ	53	11.8
保育所・幼稚園・小学校	175	38.9
その他	14	3.1
不明	14	3.1
合計	450	100.0



(26) 子育てしやすい町か

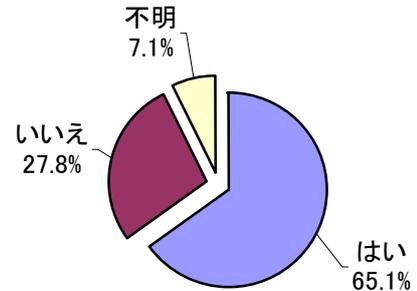
寒川町が子育てしやすい町かどうかについては、肯定的な声が約65%となり、就学前児童の場合と同様に評価は高いといえます。

なお、理由については以下に整理します。

問 26 寒川町は子育てしやすい町か(単回答)

	人数	割合(%)
はい	293	65.1
いいえ	125	27.8
不明	32	7.1
合計	450	100.0

寒川町は子育てしやすい町か(総数450)



問26 寒川町は子育てしやすい町か否かの理由

(1) 肯定的な理由

①学校、幼稚園、保育施設、保育・子育て支援サービスについて	31
○放課後児童クラブが利用できる	3
○子育て支援サービス等が充実している	22
○子育て支援に前向き	1
○障害児支援が充実している	1
○総じて子育てしやすい	4
②相談・情報提供について	13
○役場の対応がよい、相談しやすい、親身になってくれるなど	10
○情報提供がありがたい	3
③保健・医療について	13
○医療費の助成が助かる	5
○保健・医療サービスが整っている	8
④経済的支援について	4
○児童手当など経済的支援が助かる	4
⑤社会基盤、生活環境について	93
○中央公園が整備されている	11
○公園・遊び場が整備されている	21
○図書館などが整っている	6
○交通の利便性	3
○商業施設等の利便性	3
○役場、学校など公共施設等の利便性	11
○自然が残されている、緑が多い、のどか、のんびりしている、田舎、空気がよい、静かな環境など	23
○交通量が少なく安全	3
○穏やか、平和など	1
○治安がよい、防犯性が高い	5
○子どもの行動が把握しやすい	1

○まちがコンパクト、まとまりがある雰囲気	4
○道が広い	1
⑥地域との関係について	36
○住みやすい、住み慣れている、自分が育ったところ	2
○地域の人々、近所の人々が親切、協力的、理解がある、安心など	19
○まわりに子どもが多い	6
○実家がある、親戚がいる	3
○友人・知人がいる	4
○町をあげたイベントがある	2
⑦その他	22
○他を知らない	5
○なんとなく、特に理由はない、よくわからない	2
○悪いとまではいけない、特に困ったことがない	9
○他市町村よりはいい	3
○食材、物価が安い、野菜が新鮮	2
○サークル活動が盛ん、利用しやすい	1
■計	212

(2) 否定的な理由・どちらともいえない等

①学校、幼稚園、保育施設、保育・子育て支援サービスについて	26
○学童保育不十分、料金が高いなど	15
○子育て支援センターが不満	2
○障害児への配慮足りない	2
○ひとり親世帯への支援が不足	1
○サービス利用の手続きが面倒	1
○子育て全般が充実していない	2
○学校教育の質、レベルが低い	3
②相談・情報提供について	2
○役場職員の対応に不満	1
○どこに相談していいかわからない	1
③保健・医療について	23
○出産費も含め医療費の助成が少ない	10
○医療機関が少ない、夜間・救急医療が不安	13
④経済的支援について	7
○税金が高い、手当てが少ない、中学校の給食未実施など経済的な負担が大きい	7
⑤社会基盤、生活環境について	56
○防犯面での安全性に不安、不審者がいる	4
○遊び場や公園、公共施設が遠い、少ない	19
○交通の利便性が低い、コミュニティバスを充実してほしい	7
○商業の利便性が低い	5
○歩道の整備など交通安全対策が不十分	16
○バリアフリー、学校の耐震化が遅れている	5
⑥地域との関係について	9
○親同士の交流が少ない	2
○子どもにやさしくない	1
○地域の付き合いが煩わしい、閉鎖的	1

○地域活動が少ない	1
○近所に子どもが少ない	2
○親子で参加できるイベントが少ない	2
⑦その他	10
○他市町村に比べてよくない	2
○特に理由はない	2
○よくわからない	2
○どちらともいえない	4
■計	133

(27) 定住意向

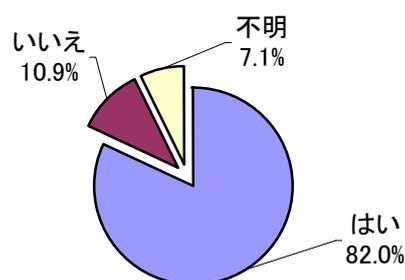
寒川町への定住意向については、住み続けたいとする人が就学前児童の場合と同様に82%と多くなっており、子育てのしやすさへの評価とともに、住みよい町としての高い評価を得ています。

なお、理由については以下に整理します。

問 27 これからも子育てしながら寒川町に住み続けたいか(単回答)

	人数	割合(%)
はい	369	82.0
いいえ	49	10.9
不明	32	7.1
合計	450	100.0

これからも子育てしながら寒川町に住み続けたいか(総数450)



問27 これからも寒川町に住み続けたいか否かの理由

(1) 肯定的な理由

①学校、幼稚園、保育施設、保育・子育て支援サービスについて	2
○行政を信頼している、子育てに配慮してくれている	2
②相談・情報提供について	0
③保健・医療について	7
○かかりつけ医がいる	2
○医療費制度が整っている	3
○医療施設が整っている	2
④経済的な問題について	0
⑤社会基盤、生活環境について	110
○田舎、自然や緑が豊か、静かな環境など	22
○持ち家があるから(予定も含めて)	52
○公共施設が整い、便利	10
○都心や他市に出かけやすい	5
○治安が良い	4

○総合的に子どもにはいい環境	8
○公園・遊び場が整っている	5
○総じて便利	4
⑥地域との関係について	96
○生まれた町、育った町、実家、親戚がいる、地元だから	39
○住み慣れている、住みやすい	20
○勤務先がある	8
○親の友人・知人がいる	14
○子どもの友達がいる	10
○地域、近所との人間関係が良好、安心	5
⑦その他	51
○住むしかない、住まなければならない	3
○特に不満がない	5
○他市町村よりいい	2
○好きだから	7
○なんとなく、特に理由はない	5
○これからいい町になるのを見届けたい、これから発展する	11
○物価が安い	3
○引っ越しが面倒	2
○子どもの環境を変えたくない、転校させたくない	7
○引っ越す必要がない、特に問題ない	5
○ほかに住みたいところがない	1
■計	266

(2) 否定的な理由・どちらともいえない等

①学校、幼稚園、保育施設、保育・子育て支援サービスについて	13
○より子育てにやさしいところへ行きたい	2
○学校教育が遅れている	4
○学童の保育料が高い	1
○子育て支援が少ない	1
○預かりサービスが整っていない、学童保育が不十分	5
②相談・情報提供について	0
③保健・医療について	1
○医療機関が不足	1
④経済的支援について	0
⑤社会基盤、生活環境について	19
○公共施設整備不足	1
○駅から遠く不便、通勤・通学が不便、交通の便が悪い	8
○防犯灯が少ない、夜道が暗い、防犯面で不安	1
○都会と田舎が中途半端	1
○商業の利便性が低い	1
○全てについて不便、便利なところに移動したい	2
○いずれ町外で家を持ちたい	1
○子どもの遊び場、公園が少ない、遠い	2
○道路環境の改善が必要	2
⑥地域との関係について	5
○住みにくくなっている	1

○地域になじめない、住みにくい	3
○働く場所が少ない	1
⑦その他	16
○いずれ町外の実家に行きたい	3
○町外出身なので	3
○仕事の関係で移動やむを得ない	3
○もっと良いところがあれば移りたい	1
○引っ越す予定がある	2
○愛着がない	1
○わからない	1
○どちらともいえない	2
■計	54

(28) 自由意見

①学校教育、保育・子育て支援サービスについて	40
○保育園の充実	8
○子育て支援の取り組みがまだ足りない、子育てしやすい町に	7
○学校教育の充実	7
○小学校の環境整備	2
○育児休業制度の充実、労働条件の改善促進	4
○病児保育、一時預かりなど保育サービスの充実	5
○放課後児童クラブの充実、環境整備	5
○障害児教育の充実	2
②相談・情報提供について	4
○相談体制の充実	4
③保健・医療について	56
○婦人科、小児科など医療機関を充実してほしい	24
○妊娠～出産～育児まで医療費助成を充実してほしい、予防接種の助成	32
④経済的支援について	36
○児童手当など経済的な支援の充実	26
○学童費用の軽減	7
○雇用対策の推進	2
○学校給食の実施	1
⑤社会基盤、生活環境について	32
○公園、遊び場が身近にほしい	5
○歩道、自転車道の整備、バリアフリーの推進	12
○交通利便性の向上、電車・バスの充実、コミュニティバスの充実	7
○通学路、公園等での子どもの安全の確保	8
⑥地域との関係について	8
○友人をつくりやすい環境	2
○地域の人々のあたたかい目、支援	6
⑦その他	11
○のびのび育てほしい	3
○その他	8
■計	187